

# 第3回大阪マラソン共同調査研究 —感動の大阪マラソンを求めて—



2014年3月27日

関西大学・読売新聞社



# 目 次

はじめに

調査の概要

## I. ランナー

1. あなた自身について
  2. 参加後の感想
  3. 大会運営について
  4. イベントや関連取り組みについて
  5. チャリティについて
  6. クロス分析
- 自由記述抜粋

## II. ボランティア

1. あなた自身について
  2. ボランティア活動について
  3. クロス分析
- 自由記述抜粋

## III. 観客

1. あなた自身について
  2. 大阪マラソンについて
  3. 大阪マラソンの応援について
  4. クロス分析
- 自由記述抜粋

## IV. 一般意識調査 2013

1. あなた自身について
  2. 大会運営について
  3. イベント企画について
  4. チャリティについて
  5. クロス分析
- 自由記述抜粋

資料：調査票及び新聞掲載記事

## はじめに

### 「感動の大阪マラソンを求めて」

杉本厚夫（関西大学）

毎回、私はフィニッシュ地点で、ゴールしてくる市民ランナーを迎えます。笑顔でゴールしてくる人、倒れそうになって苦しい表情でゴールしてくる人、友達と手をつないでゴールしてくる人、どの人を見ても、なぜか涙がこみ上げてきます。そこに、その人それぞれの 42.195 キロのドラマがあり、さらに大阪マラソンのスタート地点に立つまでのドラマがあります。それが、すべてゴールの表情に集約されているように思えて、感動するのです。



また、応援する人にもドラマがあります。沿道から見ず知らずの人に声をかける。現代の都市社会では考えられない行動が、この大阪マラソンではごく自然に行われるのです。「足が痛いのは気のせいです」「ゴールの後には冷たいビールが待っている」と大阪ならではのユーモアあふれる声援は、多くのランナーを感動させ、元気にさせるのです。そこには、大阪人ならではの「おもてなし」というよりも「おもいやり」の心が息づいています。

さらに、ボランティアの献身的な活動は、ランナーだけではなく見ている人すべてに感動を与えます。もちろん、ボランティア自身もランナーから「感謝」だけではなく、「感動」をもらいます。これがスポーツボランティアの特徴でもあるのですが、自分が役に立っているということ以上に、ランナーと楽しさを共有できる活動自体に感動があるのです。

このように、大阪マラソンは、そこに关わるすべての人々に感動を提供する舞台となっています。今回の報告書のテーマ「感動の大阪マラソンを求めて」を、本文から読み取っていただければ幸いです。

より多くの人に感動を与えるには、大阪マラソンはどうあったらいいのかということを考えるために、大阪マラソン組織委員会に企画専門部会が立ち上がり、これからの大阪マラソンの在り方について審議されました。今回実施しました「一般意識調査」は、この審議のための基礎的な資料として活用いただきました。これまでの報告書をもとに、さまざまな改善が行われたことは、この報告書からも読み取ってもらえると思います。このように、ランナー、ボランティア、観客の大阪マラソンに参加する多くの人々の声を謙虚に受け止め、大阪マラソンを市民と一緒に創っていかうとする組織委員会の真摯な姿勢に敬意を表したいと思います。

最後に、この調査研究にご協力いただいたランナーの方、ボランティアの方、観客の方、大阪マラソンファンの方にお礼申し上げますとともに、このような機会を与えていただいた大阪マラソン組織委員会に心より感謝申し上げます。

## 調査の概要

### <趣旨>

2013年10月27日に開催された「第3回大阪マラソン」は、3万人のランナー、9千人のボランティア、120万人の観客によって、盛会のうちに幕を閉じた。

これまで、第1回大阪マラソン、第2回大阪マラソンに参加したランナー、ボランティア、観客を対象に、大会前後の意識の変化、チャリティマラソンの社会的意義などを明らかにすること、ならびに大阪マラソンの今後の展開に活かすことを目的とするアンケート調査を実施してきた。その結果については、大阪マラソンのホームページで公開し、大会の運営改善に寄与してきた。

今回、3回目を迎えるにあたり、基礎的な項目において、これまでの経年変化を見ることだけでなくとどまらず、これからの大阪マラソンがどうあったらよいかというビジョンを探るため、これまで大阪マラソンに関心を持ってくださっているメールマガジン登録者に対して一般意識調査を実施した。このことによって、今後の大阪マラソンのよりよい大会運営のために役立つデータを提供できるものとする。

なお、本研究は大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、読売新聞大阪本社と関西大学の共同調査研究によって実施したものである。

### <調査概要>

第3回大阪マラソンの参加ランナー、ボランティア、観客、一般を対象に下記のとおりアンケート調査を行った。

#### ・参加ランナー調査

方法：Web調査、時期：2013年10月28日～11月7日

回答者数：9041人

#### ・ボランティア調査

方法：集合調査とファクスとWeb調査

時期：2013年10月27日～11月11日

回答者数：808人

#### ・観客調査

方法：面接調査法、時期：10月27日

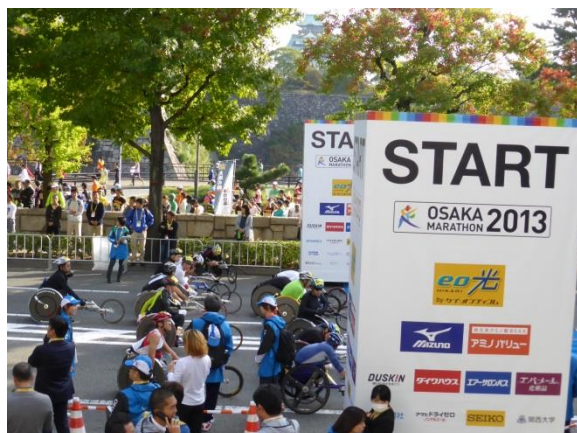
回答者数：702人

#### ・一般意識調査

方法：Web調査

時期：2013年10月22日～11月7日

回答者数：4173人





## ＜調査結果の概要＞

第3回大阪マラソン調査では、第1回・第2回大阪マラソン調査と同様に、回答率の高い調査となり、本調査の信頼性を担保することができた。さらに、自由記述も多くの方が記入してくださり、その関心の高さを知ることができた。

3回の経年的変化と、これからの大阪マラソンのミッション及びビジョンについて、以下に本調査で明らかになったことの概要について述べる。

### I、参加ランナーについて

フルマラソンに初めて挑戦する人は14.6%と7人に1人の割合である。1回～5回の経験者は35.3%で、初めての人と合わせると約5割、半数の人がフルマラソンの経験は少ないといえる。第2回大阪マラソンの調査と比べると、今回はフルマラソンの経験が21回以上のベテランランナーも18.9%と参加が増えていた。このことから大阪マラソンは、初心者からベテランまでもが挑戦したいと思えるようなフルマラソンになっている。

フルマラソンの完走タイムは、4時間から5時間未満が34.9%（第2回調査33%）で最も多く、5時間から6時間未満が28.6%（第1回調査24%）で次に多く、3時間から4時間未満は18.8%（第2回調査22%）と、第2回の大阪マラソンとほとんどその割合は変わっていない。これを見てもどのレベルでも参加できる大会になっていると言える。

滞在日程は、前日と当日が37.1%と最も多いパターンである。つまり、1泊2日の滞在である。ただ、遠隔地からの参加者だけで見ると、翌日も含めての2泊3日の滞在が約3割いた。大阪滞在中に、大阪マラソン以外にした活動は、大阪名物を飲食したという人が29.3%で、買い物をした人が22.1%、大阪市内観光をした人が19.7%となっている。さらに、約6割の人が旅行気分を味わえたとしていることから、大阪マラソンはスポーツツーリズムとして認識されていると言える。



今回大阪マラソンに参加するためにかかった費用は、5万円未満と答えた人が71.0%と全体の大半を占めており、5万円以上10万円未満と答えた人が23.9%で、10万円未満の人が94.9%とほとんどである。ただし、これも遠隔地からの参加者においては、交通費と宿泊費の関係から5割近くの人が5万円以上

10万円未満と答えている。大阪マラソンに満足をしたかと聞いたところ、97.0%の人が満足したと答えている。これは、第1回・第2回大会に続いて高い満足度であると言える。

参加後の感想では、「挑戦して良かった」が98.6%で最も多く、これは、第1回・第2回大会でもトップの感想である。また、「一般の観客の応援が励みになった」が98.3%と、ほとんどの人が観客に支えられて走っていることが分かる。これも、第1回・第2回大会と同じように高い割合であっ

た。さらに、「ボランティア等のサポート体制が充実していてよかった」とした人も 97.9%おり、ランナーの挑戦が、観客とボランティアに支えられていることがうかがえる。個人的な理由では、「普段走れないところを走れてよかった」(97.5%)、「大阪の観光地を走れてよかった」(94.7%)が高い割合を示しており、これは都市型の市民マラソンの特徴的な感想であると言える。「大阪を盛り上げることができてよかった」(96.0%)、「友人に勧めたいと思った」(95.2%)と大会運営に関わる感想を持った人も多かった。一方、「7色応援スタイルが良かった」に賛同した人は62.5%と他に比べて低く、この応援の仕方、楽しみ方が浸透していないと言える。

大会運営については、「救護」については97.8%の人が概ね満足しており、ランナーへのサポート体制が充実しているといえる。また、「大会公式ホームページや公式メルマガ、公式フェイスブックなど主催者からの情報発信」(97.9%)、「記念品」(94.5%)、「給水、給食」(88.9%)もほとんどの人が満足している。さらに、「トイレの設置」については、第2回大会で52%であったのに対して、今年度は71.2%の人が満足しており、前年度の課題を改善された成果であるといえる。

「チャリティの趣旨」(92.7%)、「チャリティカラーを設けていること」(87.7%)、「寄付先の目的や活動を明確にしていること」(93.3%)、「チャリティーアンバサダーを置くこと」(83.8%)などの項目について多くの人が賛同している。一方、「チャリティカラーのナンバーカードやオフィシャルループを身に付けて走ること」については、74.1%の人が「良い」としている反面、20.2%の人が「よく分からない」と答えている。また、「ジャストギビングを使って、チャリティに参加できること」についても、32.0%の人が「よく分からない」と答えており、これらについては周知を徹底させる必要があるといえる。

## Ⅱ、ボランティアについて

今回の大阪マラソンでボランティアをしようと思った理由については「地域や社会の役に立ちたいから」が24.9%と最も多かった。続いて「人に勧められたり、誘われたりしたから」が20.4%となった。「ボランティアの経験を深めたいから」(11.9%)、「楽しそうだから」(10.8%)と個人的理由を挙げている人もいる。一方、「いろいろな人に出会えるから」(3.7%)、「ランナーと触れ合いたいから」(8.0%)と交流を求めている人は少なかった。ただ、個人申し込みの人は、ボランティア経験の深化、人との出会い、ランナーとのふれあい、大阪の盛り上げを参加理由にあげている傾向にあった。



ボランティアをしてみたの満足度では、「満足した」という意見が9割前後であった。とりわけ個人申し込みの人は、ランナーとの関わり方や自己有用感において、満足度が高い傾向にあった。また、ボランティアの活動内容では、ランナーの受付やランナーへの給水・給食、スタート・フィニッシュ会場でのランナーへのサービスといったランナーとのふれあいが

ある活動で満足度が高い傾向にあった。ただ、やや不満が見られたのは「活動に関する事前の説明(オリエンテーション等)について」(14.1%)、「大会スタッフの対応について」(11.8%)で、ボランティア活動についての指導(教育)に関する項目であった。

最も感動したことについては、「一般ランナーの走り」が最も多く 47.1%、続いて「車いすランナーの走り」が 17.9%で、いずれもランナーの走りに感動している。また、「ボランティアの活動」が 14.1%で、ボランティア同士がお互いにその活動について感動しているということである。

来年も大阪マラソンに参加したいと思っている人は 9 割を超えていて、その中でも「ボランティアとして参加したい」と言う人の割合が 61.5%で、ボランティアのリピーター意識が高いことがわかる。また、「ランナーとして参加したい」という人は 24.9%で、ボランティアをすることで、ランナーとして参加したいという意識が芽生えたと言える。ボランティア活動の内容で見ると、ランナーの受付やスタート・フィニッシュ会場でのランナーへのサービスをした人は、来年もボランティアをしたいと思っている。また、ランナーへの給水・給食をした人に、来年はランナーとして参加したいと希望する人が目立ち、さらに、手荷物預かりをした人に、来年はスタッフを希望する人が目立つ傾向にある。

### Ⅲ、観客について

大阪マラソン応援の理由で最も多かったものは「応援を楽しみたいから」で、84.6%(第2回調査 84%)の人がそう思っており、ある程度、応援を楽しむ文化が大阪には根付いていると言える。また、「出場している知人を応援したいから」を応援の理由に挙げている人は、76.6%(第2回調査 74%)と家族や知人に応援をするのは一般的な傾向である。「ランナーから元気をもらいたいから」を応援理由に挙げている人は 74.1%(第2回調査 76%)であり、ボランティアと同じように観客もランナーから元気をもらいたいと思っている。さらに、66.5%の人が「大阪を盛り上げたい」を応援理由としてあげており、地域の祭りとして定着しつつあることがうかがえる。

観客を居住地別に見ると、コース付近(3.5%)、大阪市内(21.7%)、大阪府内(37.9%)と約6割が大阪在住であった。第2回調査では大阪在住が約7割を占めていたことから、他府県やまた海外から応援に駆けつけた人が増えていることがわかる。

大阪マラソンを知った経緯として、テレビ(32.3%)、家族(28.0%)、友人・知人(23.5%)からが多かった。第2回大会と比べると、知人・友人から知ったという項目が大きく増加しており、口コミで広がっていることが読み取れる。

応援の形態は、第2回大会と同様に、家族と応援すると答えた人が 50.3%と半数あった。家族の誰かを応援することで、家族の絆が強まるということが考えられる。また、一人で来ている人も 16.4%あり、とりわけコース付近、大阪市内に在住している人が多く、大阪人として





のホスピタリティの現れと見ることができる。

第1回・第2回大会への参加では、観客として参加した人が28.7%を占め、これは応援のリピーター率でもある。また、テレビで見ていた人が27.0%おり、今回は観客として実際に足を運んで応援する人に移行したことが見て取れる。

大阪の滞在については、52.3%の人が当日のみの滞りで、宿泊を伴う滞在は21.1%であった。

マラソン応援以外の活動では、大阪名物の飲食が15.1%で、買い物が17.0%で、市内観光が11.3%であった。

応援の場所を選んだ理由を聞いてみると、「来やすかったから」が23.7%で、応援場所はアクセスの良さが重要であることがうかがえる。また、「ランナーがよく見える場所だから」という回答は、20.9%で、見やすさは大きな要素となる。

応援の箇所では、1ヶ所で応援するという回答が33.1%であった。一方、2ヶ所が30.8%、3ヶ所が18.9%で、複数箇所で応援すると答えた人は約7割と多い。これは、大阪マラソンの特徴であり、地下鉄での移動の便利さが可能にしていると考えられる。

応援場所は、南港大橋からインテックス大阪のゴール付近が44.0%、スタート地点である大阪城が43.9%、ゴールであるインテックス大阪が39.5%とスタートとゴールに集中している。御堂筋(なんば～淀屋橋)が27.3%と多いのは、ランナーが往復するコースであり、さらにアクセスが良いので集中すると考えられる。

第4回大阪マラソンには、「観客として参加したい」が53.0%で、半数以上である。また、「マラソン・ランナーとして参加したい」(21.0%)、「チャレンジ・ランとして参加したい」(7.3%)と、ランナーとして走ってみたいという転移がみられる。さらに、「ボランティアとして参加したい」(4.4%)という人を含めると、85.7%の人が第4回大阪マラソンに何らかの形で、直接関わりたいと答えていることは特筆すべきことである。

#### IV、一般意識調査について

今回の大阪マラソンのスローガン「みんなでかける虹」について、「よく知っているし、趣旨も分かっている」という人が34.2%、「スローガンの言葉は知っている」という人が26.9%と、6割を超える人がスローガンを認識している。しかし、「何となく知っている」という人が22.8%、「まったく知らない」という人が16.2%と4割近くの人が大会の趣旨を理解していない。

大会運営については、「参加機会を拡大するために、連続して落選している人を優先するのが良い」という項目に83.6%の人が賛同している。とりわけ、競技志向の強い人ほど賛同する傾向にある。本調査の回答者のうち約6割程度の方は、ランナーとして大阪マラソンへの参加が未経験であり、出場機会に恵まれなかった人の意見が強く反映していると推察される。また、「チャリティランナーを増やすのが良い」という項目に対しては、約4割の人が支持した。ただ、「他の市民マラソンからの参加枠」や「ペア・グループの参加枠」の増加については、3割程度の賛成にとどまった。さらに、会員制による参加の特典では、8割の人が反対の意見を持っていた。



これからの大阪マラソンについては、「多くの市民ランナーが走れる大会をめざすのが良い」が 96.9%だった。とりわけ、4 時間～6 時間以内で走る人に賛同する人が多い。また、「皆でランナーを応援して楽しめるような工夫をするのが良い」(92.1%)と、市民ランナーのための大会づくりに対して多くの人が賛同しているようだ。さらに、「大阪らしい記念品を提供するのが良い」(84.4%)、「レース中に大阪らしいエイド(給食)を提供するのが良い」

(84.2%)など、大阪らしさをアピールする取り組みにも期待している。一方、「選考レースとしてトップアスリートが参加する大会」を目指すことについては、66.6%の人が否定的であった。

さらに、コースについては、「インテックスをスタートして、大阪城をゴールにするのが良い」が 57.4%の人に支持されており、過半数の人がコースの変更を望んでいる。とりわけ、30 代から 50 代にかけてその傾向が強い。

「一般市民も企画から関わる」ことについては、64.7%の人が、「大阪マラソンのボランティアを組織化する」ことについては、51.7%の人が賛同している。

宿泊については、「指定ホテルの斡旋」には 58.1%の人が賛同しているが、「ホームステイ」については 31.8%の人しか賛同していない。

イベント企画については、「商店街など地域の人によるイベントがあった方がよい」で、81.6%の人が支持しており、大阪マラソンに大阪の地域性を取り入れるのがよいとしている。また、「レースの前に、大会を盛り上げるイベントがあった方がよい」(72.8%)、「大阪マラソンを盛り上げる事前イベントをした方がよい」(72.8%)と、事前の盛り上げイベントを望んでいる。さらに、「ランナー同士の交流」(69.2%)、「ボランティアとの交流」(60.8%)、「チャリティ団体との交流」(53.0%)と、交流イベントも望まれている。とりわけ、年齢層が低くなるほど交流を望む人が多くなる傾向にある。

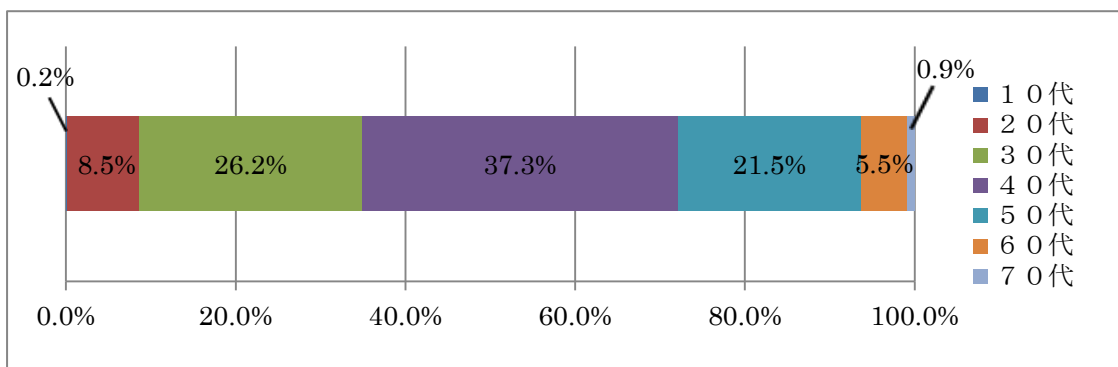
チャリティに多くの人が参加するためには、「寄付先団体の活動テーマや活動内容を明確にする」が 46.4%となっており、チャリティ先の活動をもっと知りたいという要望があるといえる。次に「チャリティグッズを販売する」が 32.7%であり、チャリティをしたことに対する何らかの証明が必要であるといえる。また「大阪マラソンのチャリティ寄付サイトの使い方をわかりやすくする」が 32.1%とチャリティ方法の簡便化を望んでいる。さらに、「寄付を募るイベントを増やす」(23.6%)、「チャリティマラソンのアピール」(23.6%)といった広報活動の必要性を示唆している。

# I. ランナー

回答者数:9041

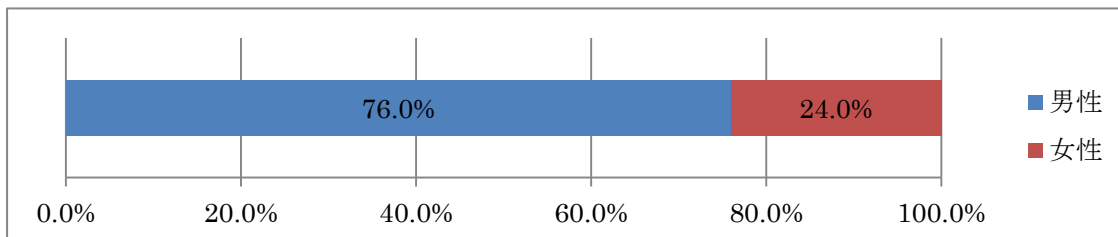
## 1. あなた自身について

### (1) 年齢(年代)



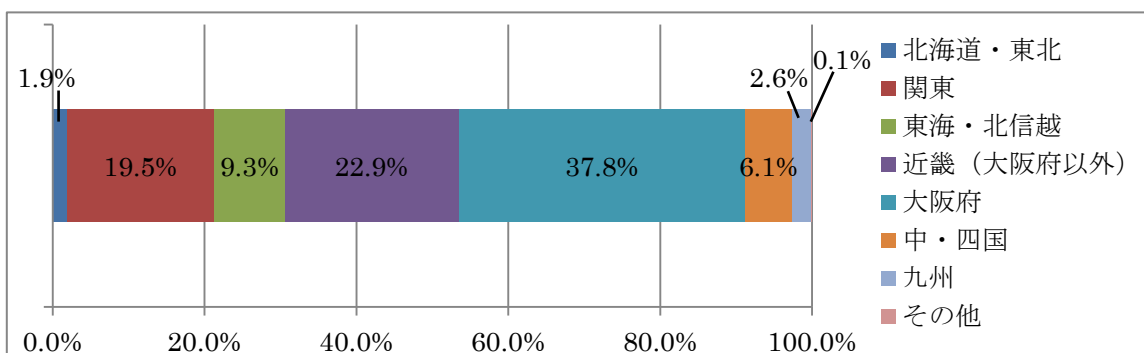
今回、調査に協力していただいた参加ランナーは、40代が37.3%で最も多く、次に30代が26.2%で、50代が21.5%と続いている。第1回・第2回大阪マラソンの調査でもほとんど同じ結果となっており、ランナー年齢層に大差はなかったとみられる。

### (2) 性別



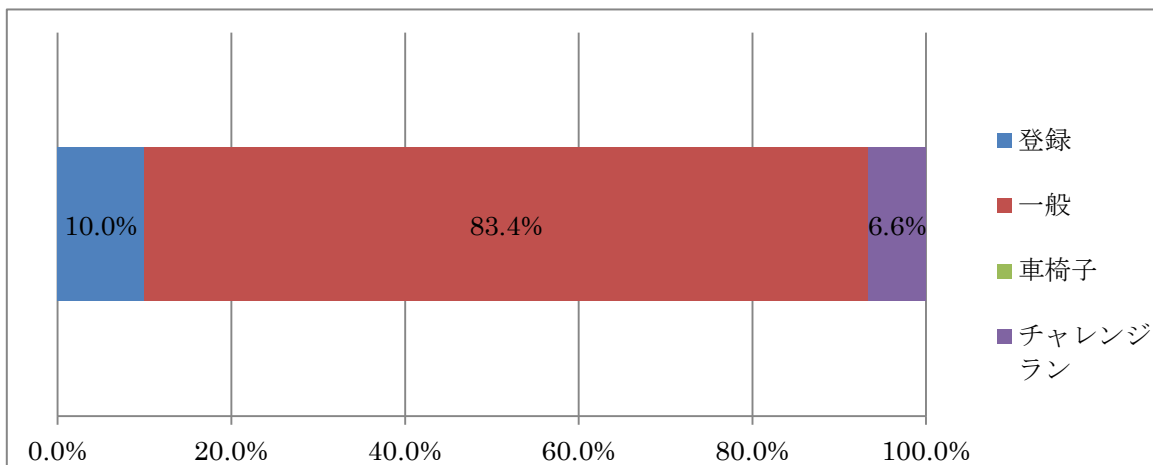
性別では、男性が76.0%と大半を占めている。第2回大阪マラソンの調査では、男性が74%だったため、女性ランナーが少し減っているが、第1回では男性が80.9%であることから、第1回と比較すると、第2回・第3回ともに、女性ランナー層は少し増えているといえる。

### (3) 居住地



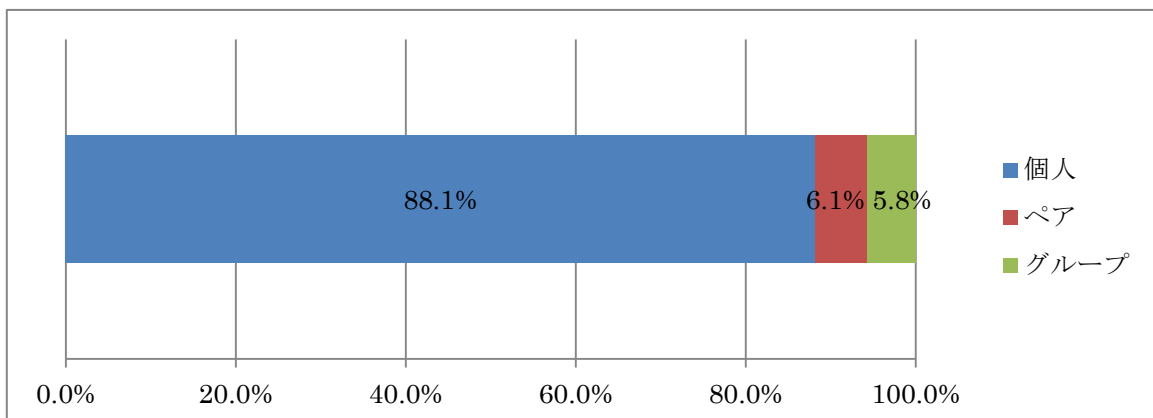
参加ランナーの居住地を尋ねたところ、大阪府の37.8%を加えると、近畿圏が6割を占めた。第1回・第2回大阪マラソンの調査と比較すると、関東地方の参加ランナーの割合が第1回25.8%、第2回21%、第3回19.5%であることから、年々減少しているといえる。

#### (4) 参加種目



参加ランナーの参加種目を尋ねたところ、一般が 83.4%で大半を占めている。登録ランナーは 10.0%で、チャレンジランは 6.6%であった。

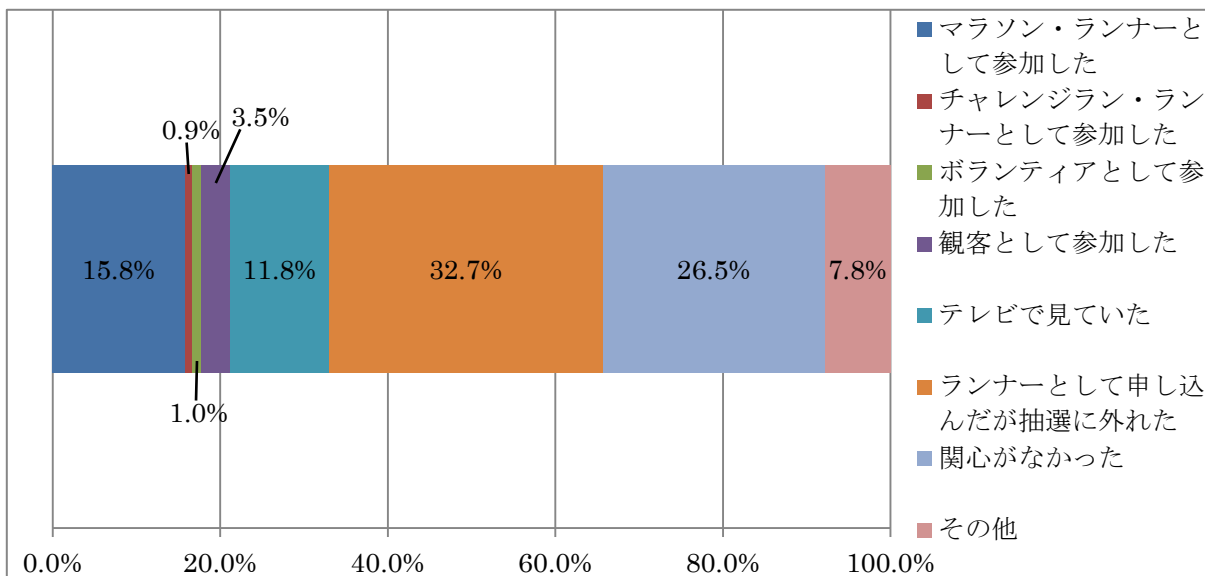
#### (5) 参加申し込み



参加の申し込みについて尋ねたところ、個人での参加が 88.1%で大半を占めている。ペアやグループでの参加申し込みは同じくらいの割合であることが読み取れる。

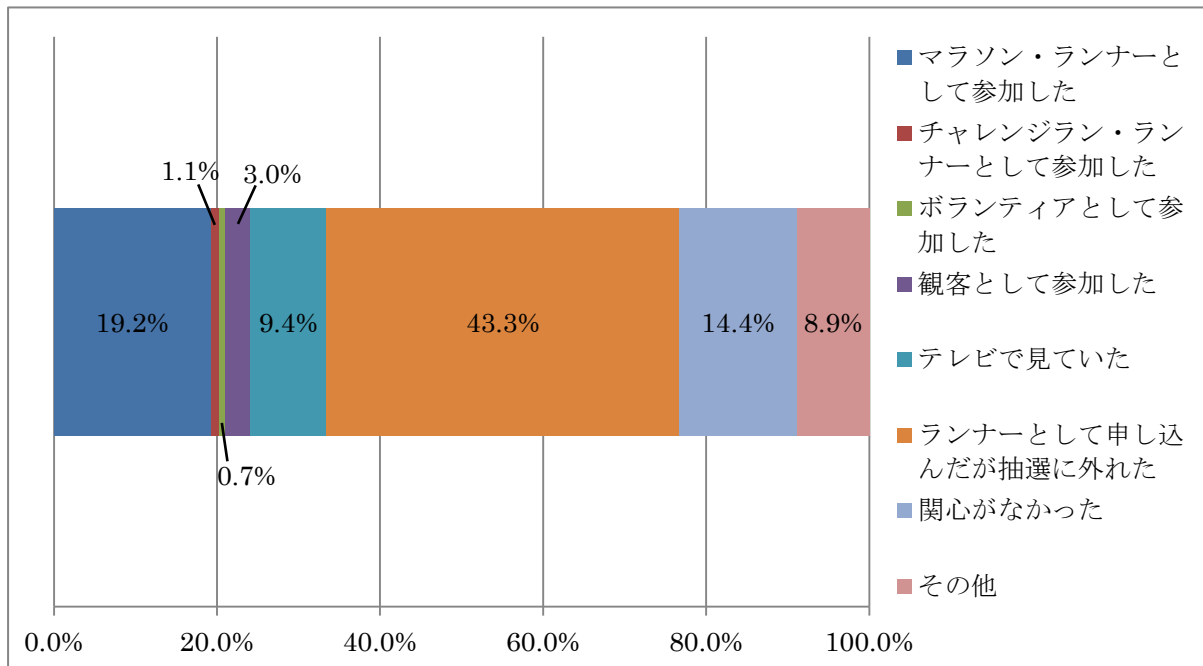


### (6) 第1回大阪マラソンへの参加



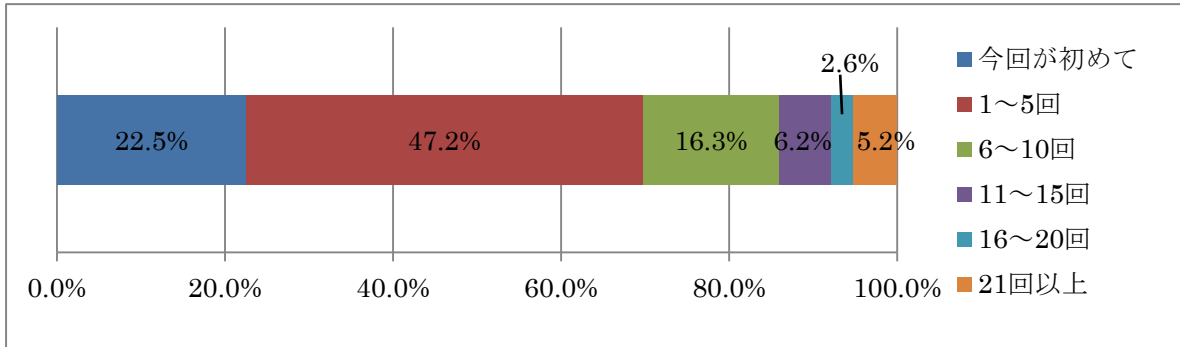
第1回大会の参加では、ランナーとして申し込んだが抽選に外れた人が32.7%と一番多く、次に関心がなかった人が26.5%で、2極化がみられた。また、ランナーとして参加した人が16.7%で、連続して参加することの困難さを示している。

### (7) 第2回大阪マラソンへの参加



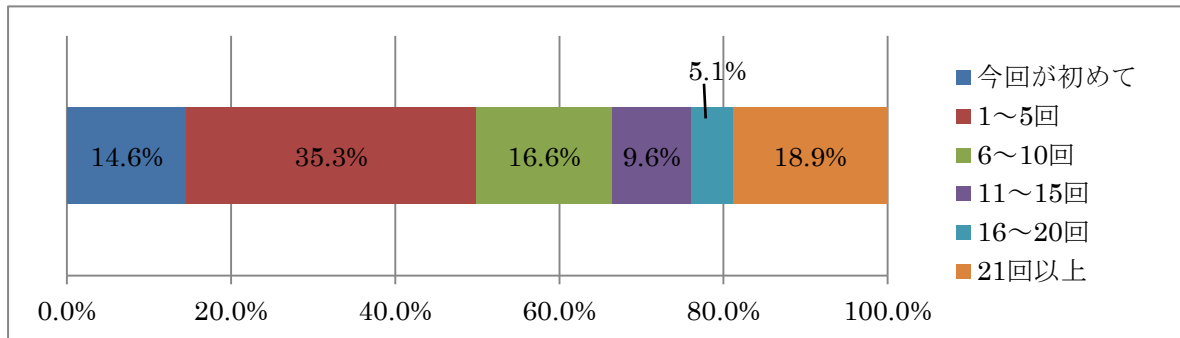
第2回大会の参加では、ランナーとして申し込んだが抽選に外れたという人が43.3%と第1回大会より増えており、逆に関心がなかった人が14.4%と減っており、大阪マラソンの人気があがっていることを物語っている。ランナーとして参加していた人が19.2%と連続して参加されている人は約2割程度であると言える。

### (8) 市民マラソン参加経験



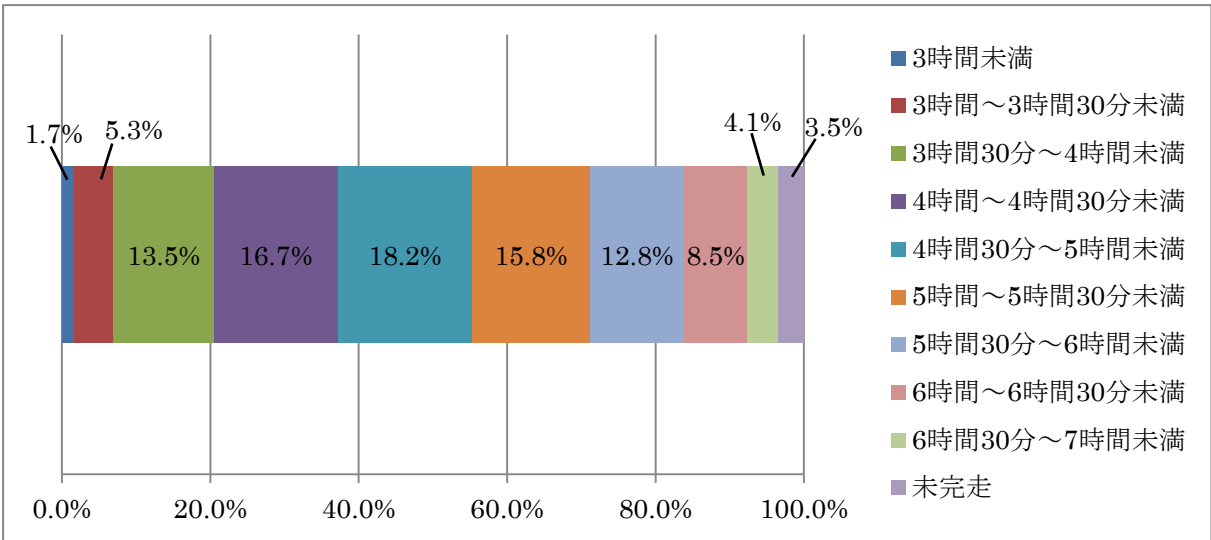
これまでの市民マラソンへの参加経験がなく、初めて参加する人が22.5%である。1回から5回市民マラソンを経験した人が47.2%、6回から15回市民マラソンを経験した人が16.3%、16回以上のベテランランナーが7.8%となり、第1回・第2回大会と異なっているところは、初めて参加する人と、1~5回の市民マラソンの初心者が増えると同時に、ベテランランナーが減っている傾向にある。その意味で、市民マラソン経験の浅い人のためのマラソン大会になりつつあると言えよう。

### (9) フルマラソン参加経験



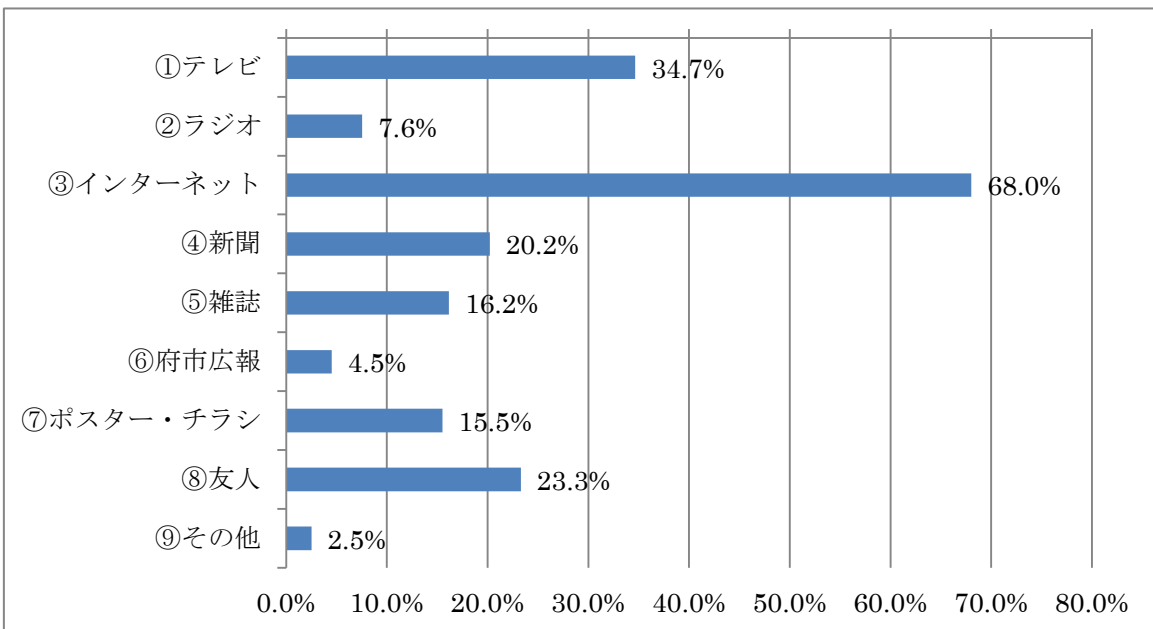
フルマラソンに初めて挑戦する人は14.6%と7人に1人の割合である。1回~5回の経験者は35.3%で、初めての人と合わせると約5割、半数の人がフルマラソンの経験は少ないといえる。第2回大阪マラソンの調査と比べると、今回はフルマラソンの経験が21回以上のベテランランナーも18.9%と参加が増えていた。このことから大阪マラソンは、初心者からベテランまでもが挑戦したいと思えるようなフルマラソンになっている。

(10) 今回のフルマラソンのタイム



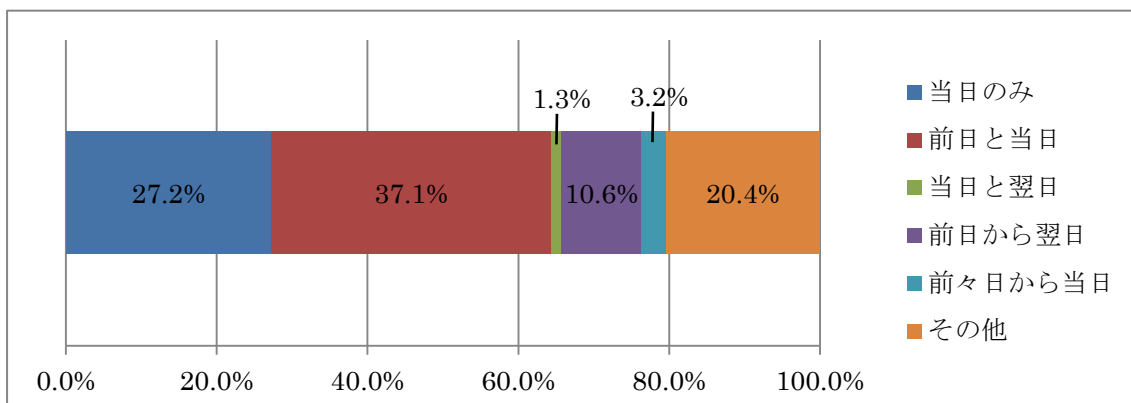
フルマラソンの完走タイムは、4時間から5時間未満が34.9%（第2回調査33%）で最も多く、5時間から6時間未満が28.6%（第1回調査24%）で次に多く、3時間から4時間未満は18.8%（第2回調査22%）と、第2回の大阪マラソンとほとんどその割合は変わっていない。これを見てもどのレベルでも参加できる大会になっていると言える。

(11) 大阪マラソンをどのようにして知りましたか？



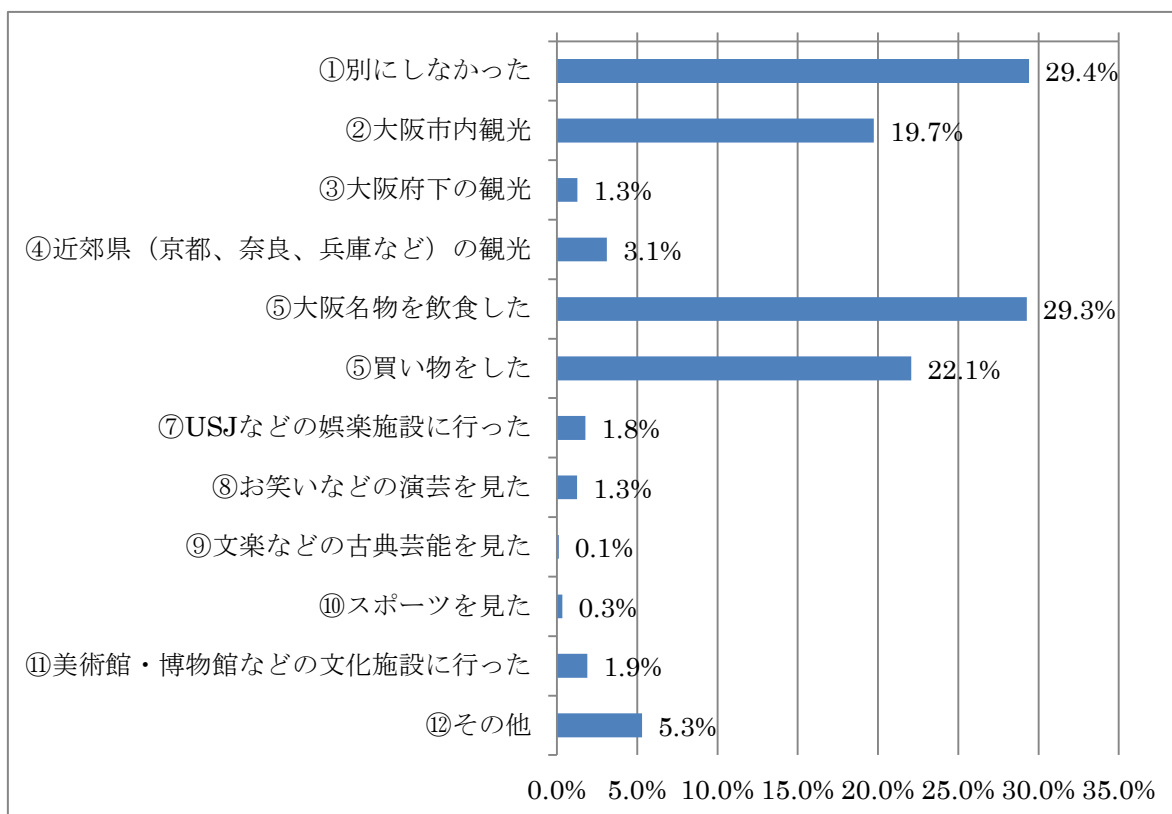
これまでと同様、インターネットが68.0%であることは、自ら市民マラソンの情報を求めている人にヒットしており、ネット社会を反映している。また、友人が23.3%となっており、口コミによる情報の有効性を示唆している。

(12) 大阪には何日滞在しましたか？(大阪府在住以外の方のみ)



滞在日程は、前日と当日が 37.1%と最も多いパターンである。つまり、1泊2日の滞在である。その次は当日のみで 27.2%であるが、受付が前日なので、2日にわたって日帰りしているということである。

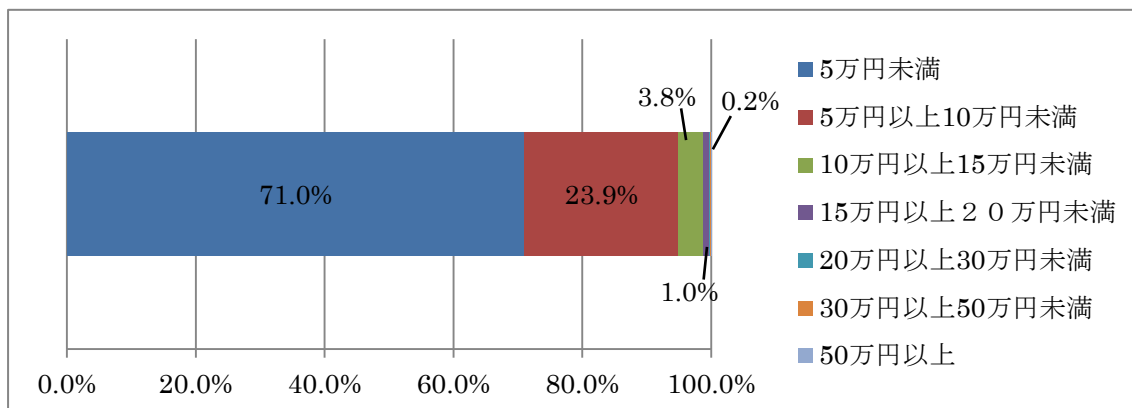
(13) 大阪滞在中に、大阪マラソン参加以外に何か活動をしましたか？(複数回答可)



大阪滞在中に、大阪マラソン参加以外にも何か活動したかについて、別にしなかったひとは 29.4%と日帰りの人とほぼ同じである。また、大阪名物を飲食したという人が 29.3%で、買い物をした人が 22.1%、大阪市内観光をした人が 19.7%となっており、スポーツツーリズムの傾向にあると言える。

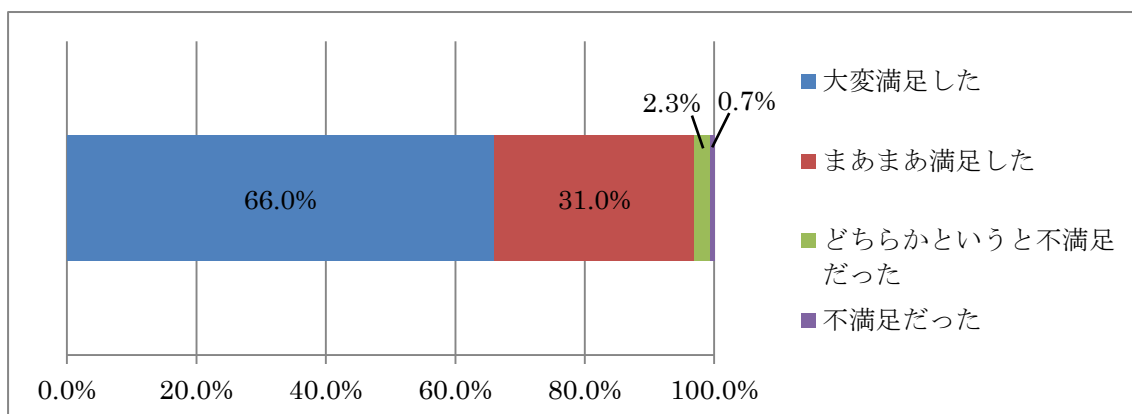


(14) あなたは、大阪マラソンのために概算でどれだけの経費を使いましたか？(ウェア、シューズの購入など事前準備費用、宿泊交通費、食費、お土産など滞在期間中の費用一切。参加料は除く)



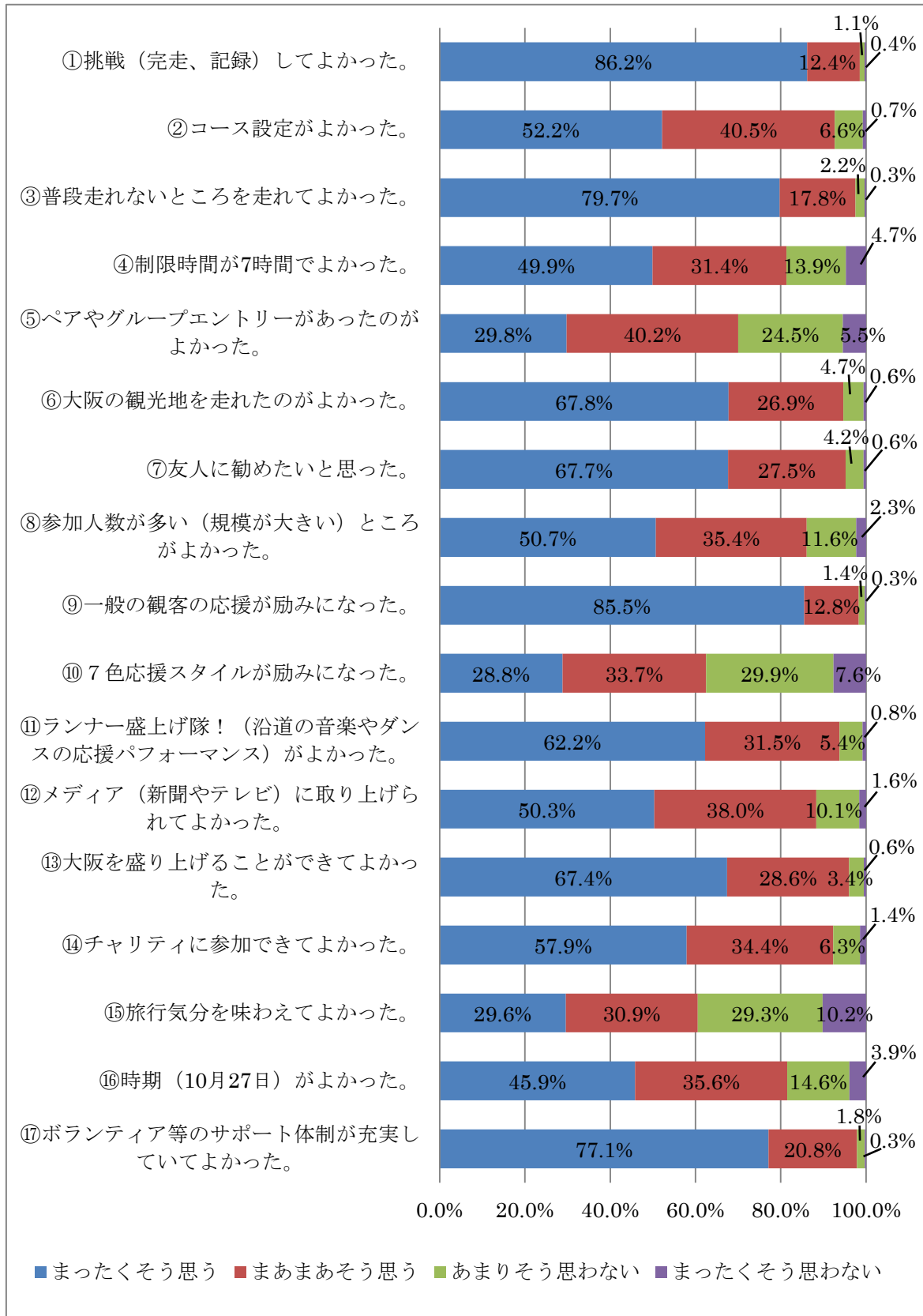
5万円未満と答えた人が71.0%と全体の大半を占めており、5万円以上10万円未満と答えた人が23.9%である。よって大阪マラソンのための経費は10万円未満の人が94.9%となり、他の県などから大阪マラソンに参加をする人がいるにも関わらず、経費はあまりかからないと言える。

(15) 第3回大阪マラソンに満足しましたか？



大阪マラソンに満足をしたかと聞いたところ、「大変満足をした」と回答した人が66.0%であり、「まあまあ満足した」という人が31.0%であり、97.0%の人が満足したと答えている。これは、第1回・第2回大会に続いて高い満足度であると言える。

## 2. 参加後の感想



参加後の感想を尋ねてみた。「まったくそう思う」「まあまあそう思う」という肯定的な回答で見ると、「挑戦して良かった」が 98.6%で最も多く、これは、第 1 回・第 2 回大会でも、トップの感想である。

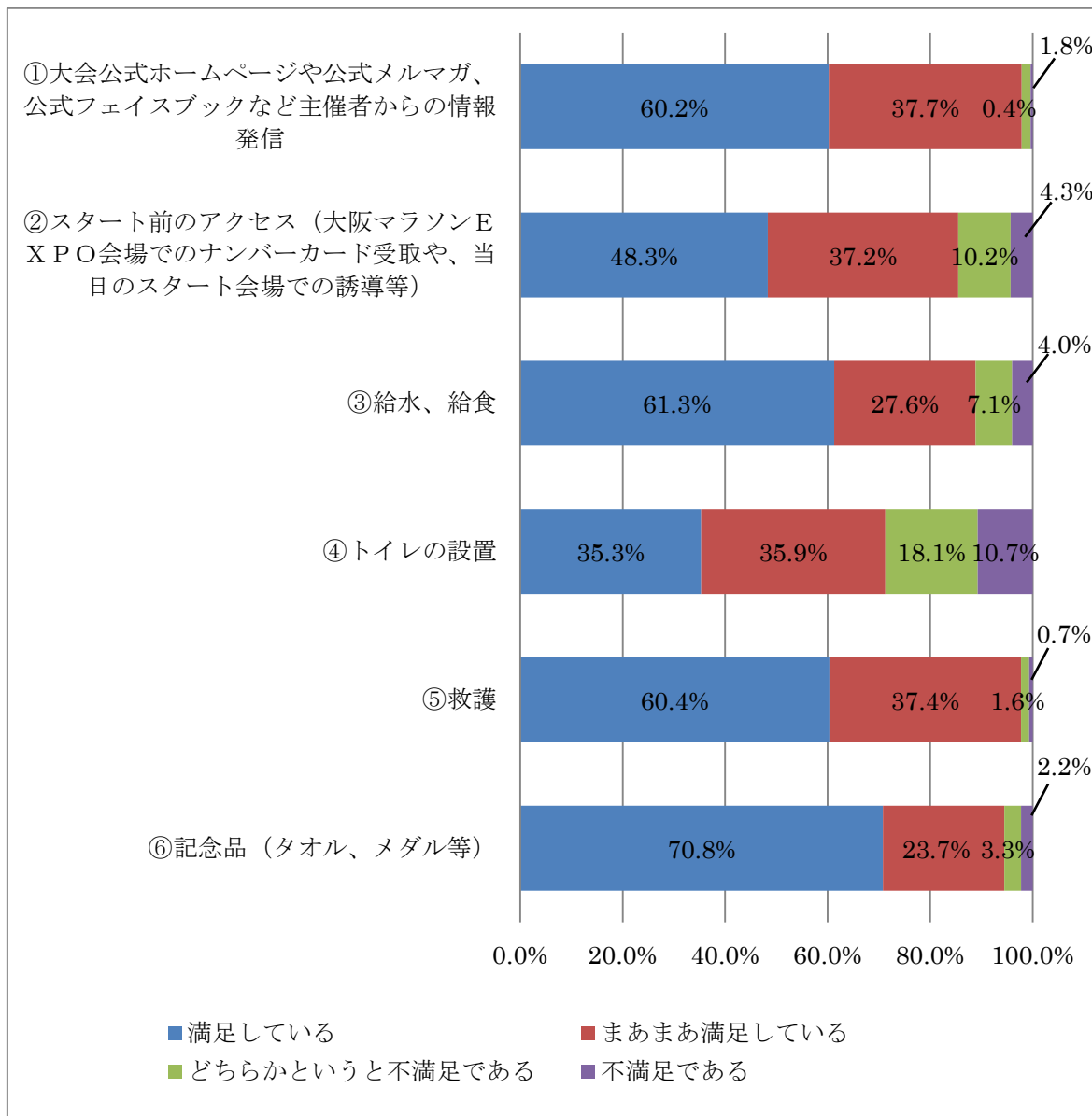
また、「一般の観客の応援が励みになった」が 98.3%と、ほとんどの人が観客に支えられて走っていることが分かる。これも、第 1 回・第 2 回大会と同じように高い割合であった。さらに、「ボランティア等のサポート体制が充実していたよかった」とした人も 97.9%おり、ランナーの挑戦が、観客とボランティアに支えられていることがうかがえる。

個人的な理由では、「普段走れないところを走れてよかった」(97.5%)、「大阪の観光地を走れてよかった」(94.7%)が高い割合を示しており、これは、都市型の市民マラソンの特徴的な感想であると言える。

「大阪を盛り上げることができてよかった」(96.0%)、「友人に勧めたいと思った」(95.2%)と大会運営側に立った感想を持った人も多かった。

一方、「7 色応援スタイルが良かった」に賛同した人は 62.5%と他に比べて低く、この応援の仕方、楽しみ方が浸透していないと言える。さらに、「旅行気分を味わえてよかった」という感想を持った人は 60.5%であるが、回答者は大阪府の人が 40%近くいるので、大阪府以外の人には旅行気分を味わったのではないかと考えられる。

### 3. 大会運営について

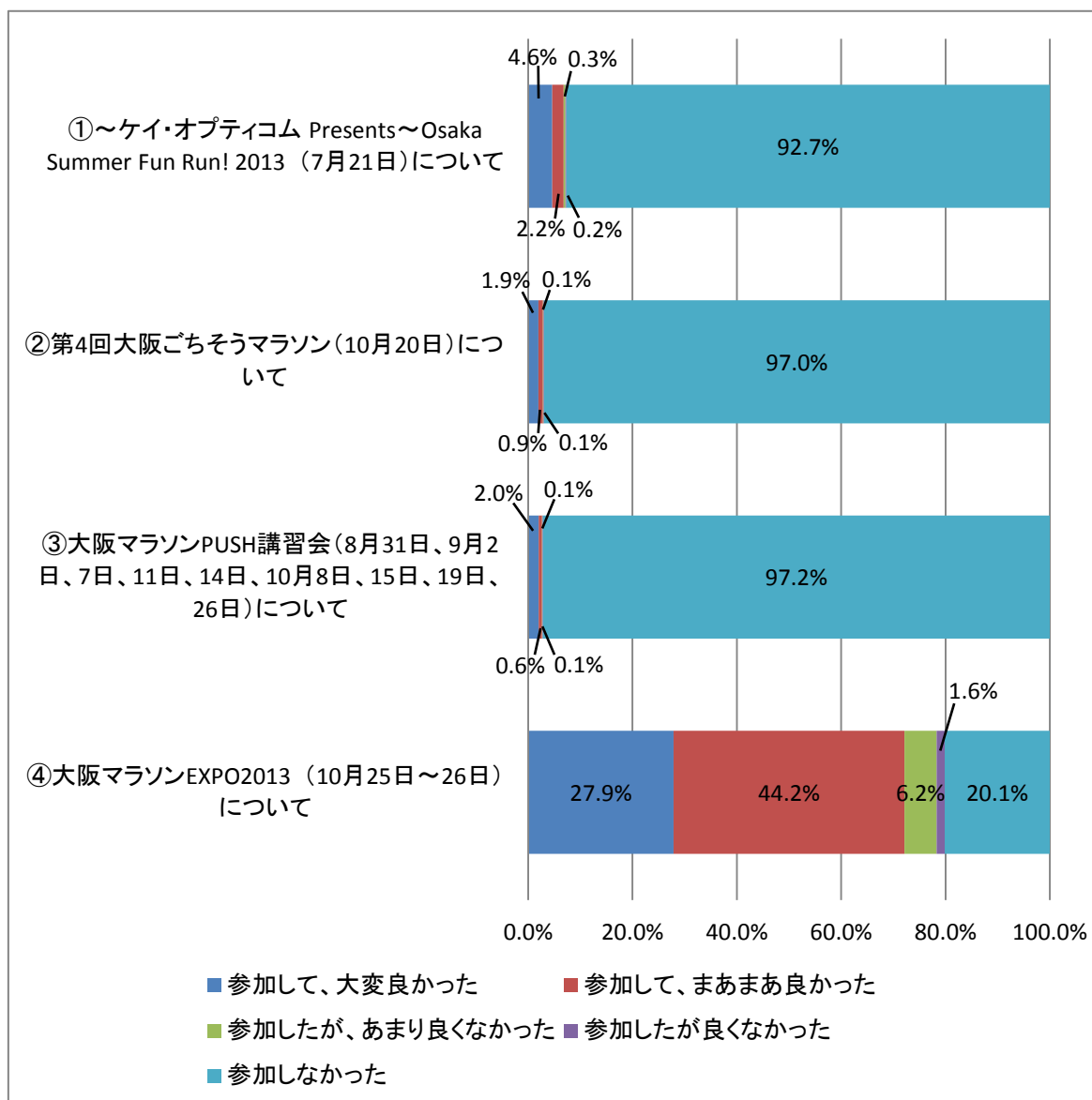


大会運営については、「救護」については「満足」(60.4%)、「まあまあ満足」(37.4%)を合わせると、97.8%の人が概ね満足しており、ランナーへのサポート体制が充実しているといえる。また、「大会公式ホームページや公式メルマガ、公式フェイスブックなど主催者からの情報発信」についても、97.9%の人が満足している。さらに、「記念品」については94.5%の人が満足しており、「給水、給食」についても88.9%の人が満足している。

さらに、「トイレの設置」については、第2回大会で52%であったのに対して、今年度は71.2%の人が満足しており、前年度の課題を改善された成果であるといえる。

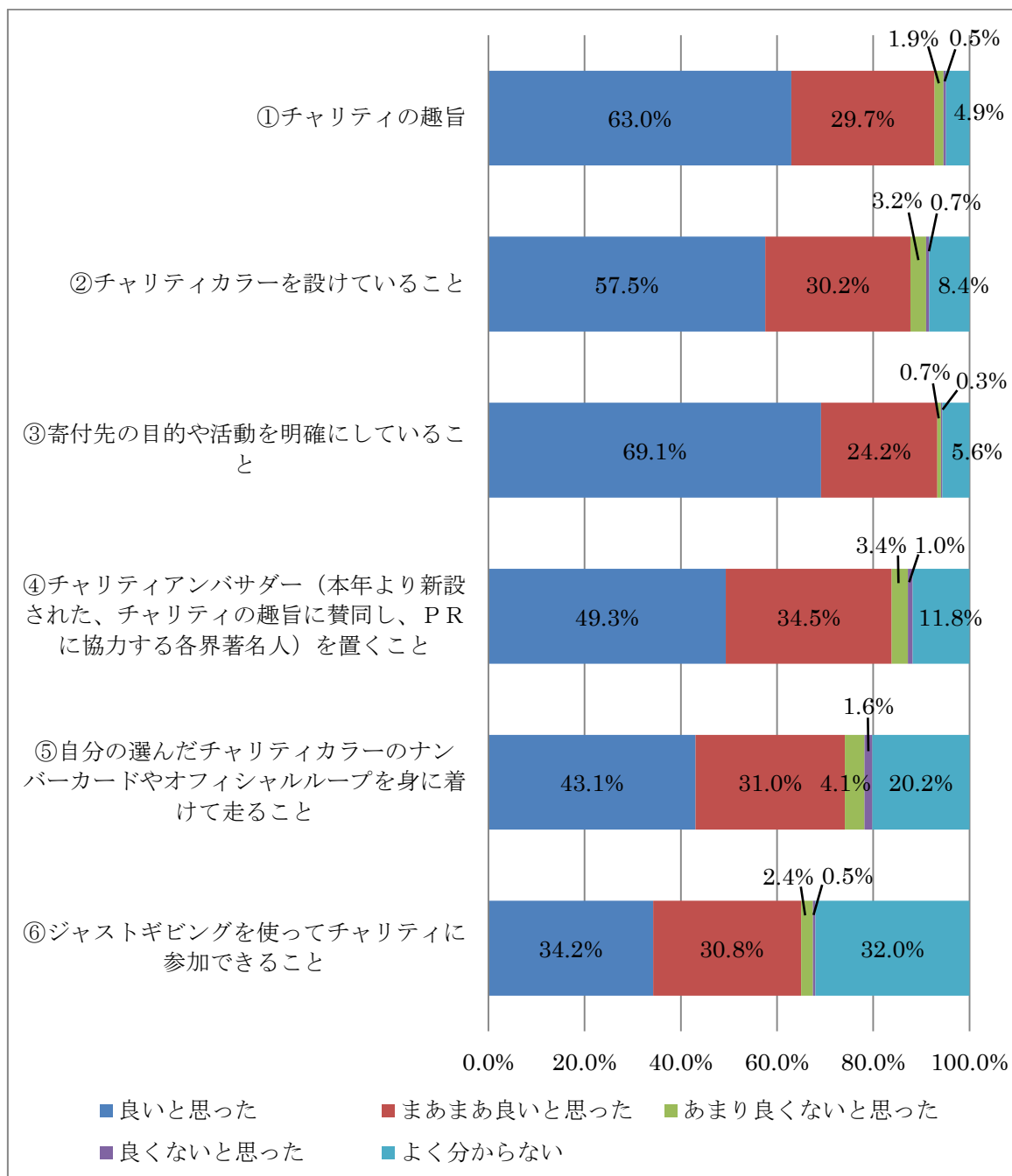


#### 4. イベントや関連取り組みについて



「大阪マラソン EXPO2013」に「参加してよかった」という人が 72.1%と、参加した人は満足している。しかし、その他のイベントについては、ほとんど参加者がおらず、第2回調査同様、評価できないという状況である。

## 5. チャリティについて

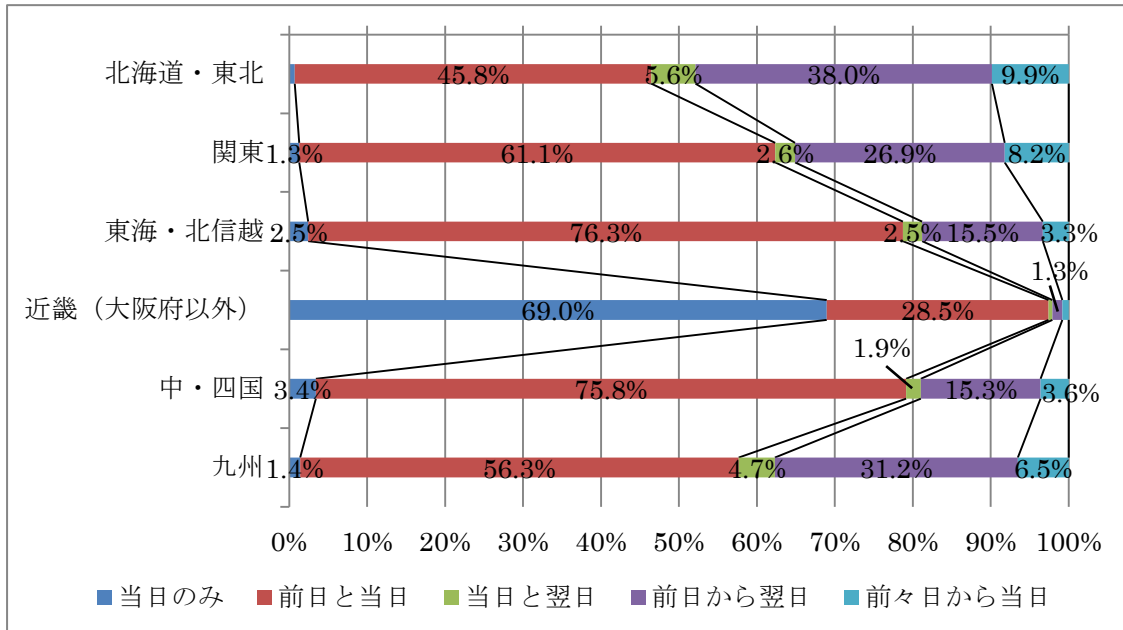


「チャリティの趣旨」については 92.7%の人が、「チャリティカラーを設けていること」については 87.7%の人が、「寄付先の目的や活動を明確にしていること」については 93.3%の人が、「チャリティアンバサダーを置くこと」については 83.8%の人が良いとしている。

一方、「チャリティカラーのナンバーカードやオフィシャルループを身に付けて走ること」については、74.1%の人が「良い」としている反面、20.2%の人が「よく分からない」と答えている。また、「ジャストギビングを使って、チャリティに参加できること」についても、32.0%の人が「よく分からない」と答えており、これらについては、周知を徹底させる必要があるといえる。

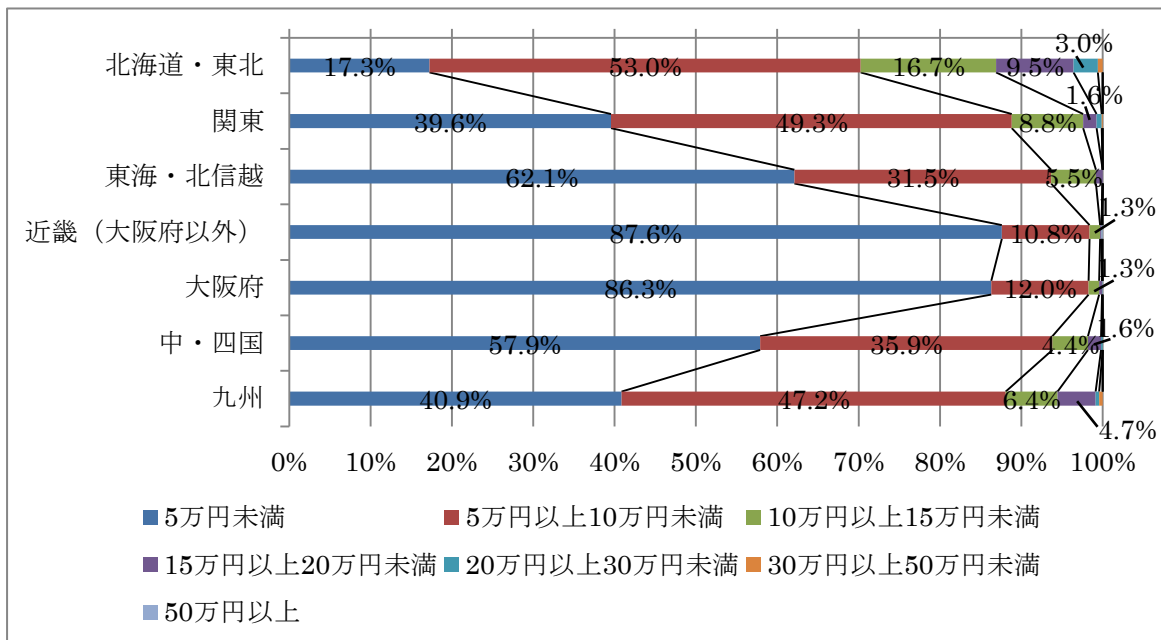
## 6. クロス分析

### (1) 居住地(大阪府を除く)と滞在日数



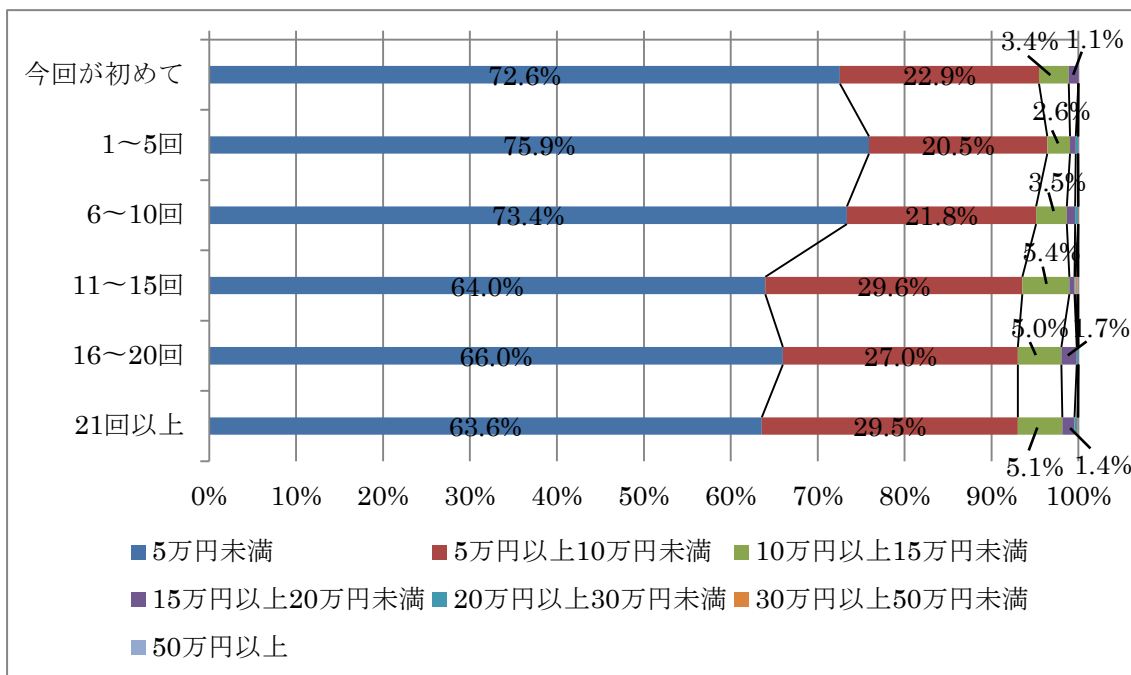
滞在日数は、当然のことではあるが、大阪から遠くなるほど、前日から翌日の2泊3日の割合が高くなる。それと同時に、前日と当日のパターンは少なくなる傾向にある。

### (2) 居住地と大阪マラソン参加のための経費



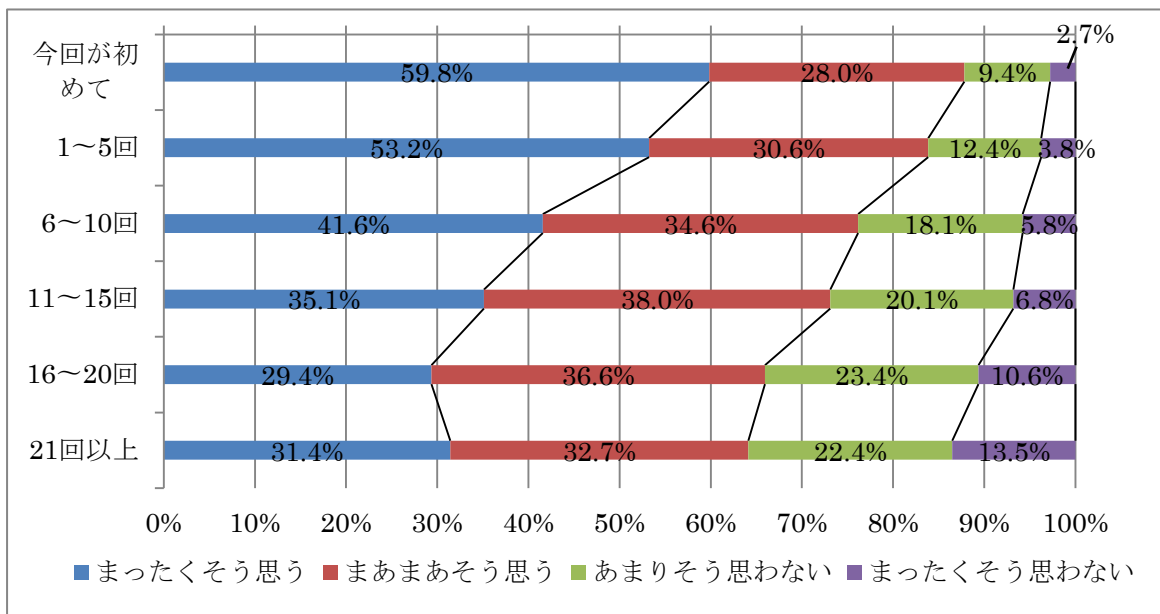
大阪マラソンにかかる経費については、当然のことではあるが、大阪から遠くなるほど高くなる。これは、交通費と宿泊費に経費がかかるからである。

### (3) 市民マラソン参加経験と大阪マラソン参加のための経費



市民マラソンへの参加経験が多いほど、経費をかけると考えられるが、大阪マラソンでは、11回以上の参加経験からマラソンにお金をかけるようになる傾向がみられた。

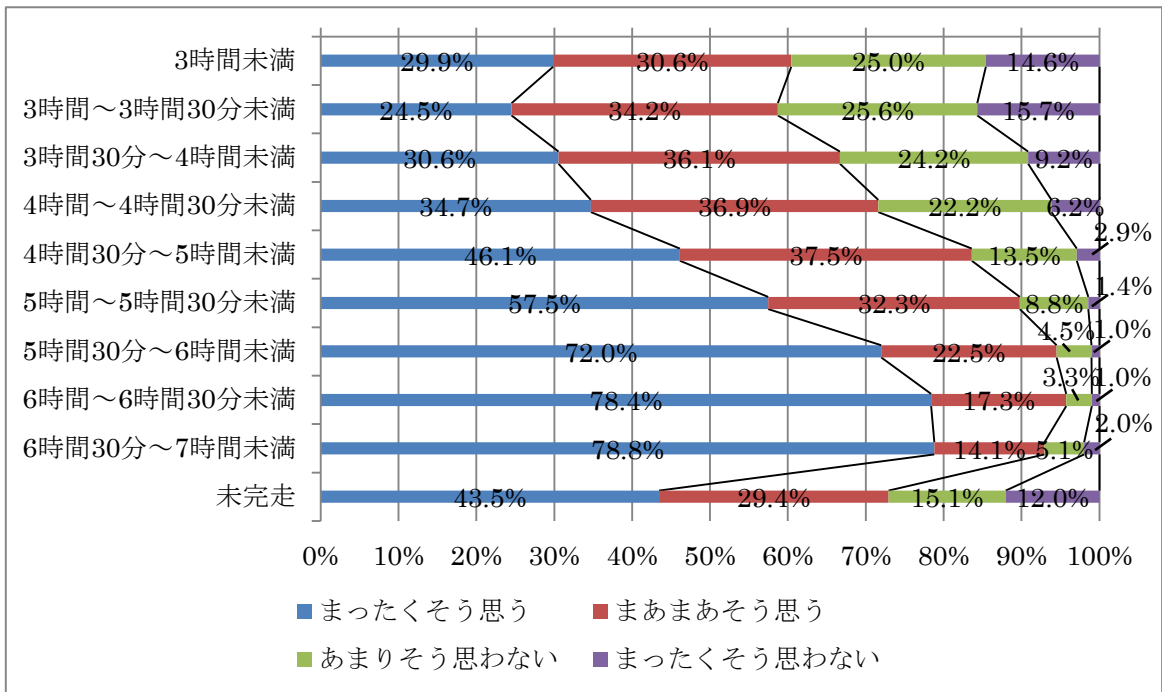
### (4) フルマラソン参加経験と7時間の制限時間が良かったかの評価



制限時間が7時間であることを評価しているのは、フルマラソンの経験が浅い人で、ベテランになると制限時間を気にせずには走れるようになっているからである。

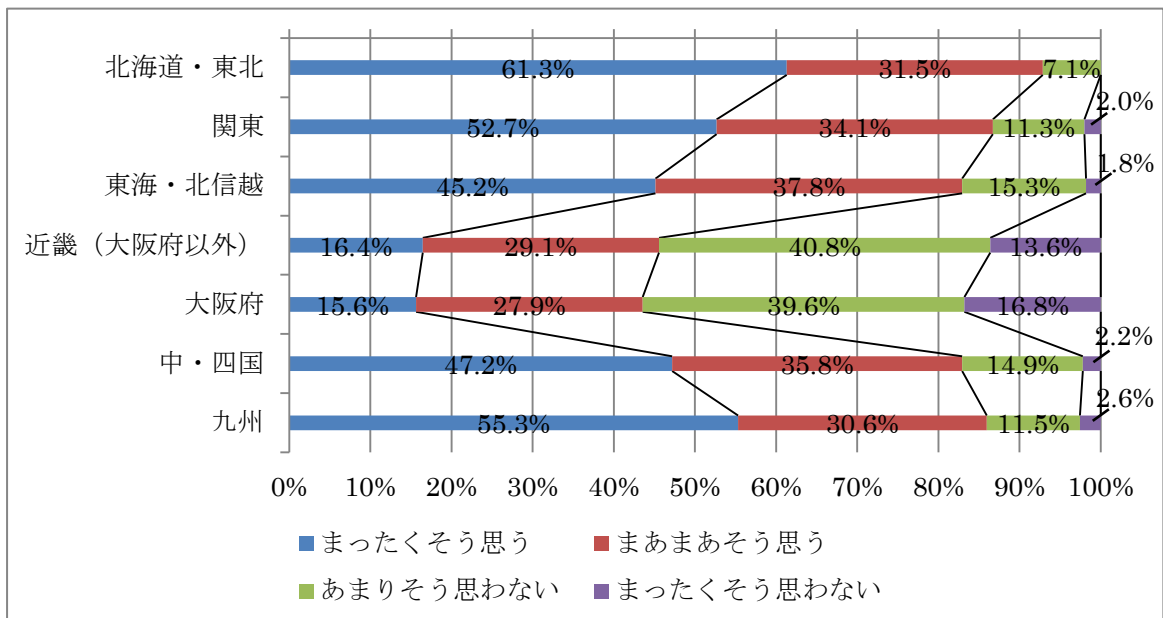


(5) 今回のフルマラソンのタイムと7時間の制限時間が良かったかの評価



今回の大阪マラソンで完走タイムが遅いほど、制限時間が7時間であることを評価している。7時間は初心者がフルマラソンに参加するきっかけになっているようである。

(6) 居住地(大阪府を除く)と旅行気分が味わえたかの評価



大阪マラソンで旅行気分を味わえた人は、やはり遠くから来ている人である。また、近畿および大阪府の人でも45%程度の人が旅行気分を味わっていることは特筆すべきである。

### 第3回大阪マラソン ランナー意識調査（自由記述：抜粋）

回答者数：4841

#### 1) ボランティア・観客・応援について

年代	性別	住居	意見
20代	女性	大阪府	ボランティアの方、応援の方の声援が力になり、完走できたことで自信につながりました。そのことでとても前向きになれました。
30代	男性	兵庫県	沿道のボランティアの皆さんだけでなく、一般の方も個人エイドを設けるなど、大阪の街が一体になって盛り上がった素晴らしい大会だったと思います。途中苦しいシーンもありましたが、沿道の皆さんの応援のお陰で最後まで諦めずに走り切ることができました。初の大阪マラソン、本当に楽しませて頂きました。来年もぜひ挑戦したいと思います。
40代	男性	神奈川県	東京マラソンも参加経験がありますが、規模は東京ほどではないにしても沿道の方の声援は東京以上に大きくあたたかいものでした。特に最もきつくなる住之江公園からゴールまでの声援は本当に励みになりました。
40代	女性	兵庫県	沿道の方が、「足が痛いのは気のせいです！」や、「ゴールの後には冷たいビールがまっている」といったユニークなメッセージボードをもって応援してくださったので、面白くて、走っていてとても楽しかったです♪
40代	男性	青森県	完走後のボランティアの方々の拍手や明るいお迎えに感動しました。また来たいです。
30代	男性	大阪府	沿道の方のハイタッチがすごく疲れているのに元気をもらえて、「こんな見ず知らずの人を一生懸命応援してくれる」と思うと涙が出そうになりました。沿道の方がいなかったらゴールできなかったです。
40代	男性	千葉県	地下鉄を使って応援しやすくて、家族が何回も応援してくれてよかった。

20代	男性	大阪府	今回初出場させていただき本当に走ってよかったと思いました。マラソン経験もなく、走るのが苦手でしたが、友人と共に挑戦。15km地点くらいから辛くなってきましたが、沿道の声援で頑張ることができました。26km関門でリタイヤになりましたが、ここまで走れたのも沿道の声援のおかげです。涙もでました。また参加します。
20代	女性	大阪府	八年前に精神的な病気にかかり、人を嫌い、憎み、人との関わりを控えた時期がありました。でも、家族や友人に支えてもらって、ようやく今は普通に働けるようになりました。今回、支えてくれた家族に感謝の気持ちと強くなったよ！っていう思いで走りました。でも、走っている私を励ましてくれたのは、家族友人や、応援のみなさんでした。私は、こんなにも人を大好きと思った事はなかったし、本当に感謝の気持ちで一杯でした。また、ランナーとしても、ボランティアとしても、貢献していきたいです。本当にいいいけけんをさせていただきました！ありがとうございました！来年も走りたいです！

## 2)大会運営評価

30代	男性	東京都	コースによっては観客との距離が離れ過ぎている場所があり、少し寂しく感じた。短い距離ではあるが、何か所か大通りではない幹線通りにコースが設定されており残念だった。
30代	女性	兵庫県	ふたを開けるとそうでもなかったけど、パンフレットとかでコスプレを禁止していたのが残念。参加して思ったのが、走っていると目立つ恰好の方が応援してもらいやすいからモチベーションが上がる。応援している方も声をかけやすいから、応援しやすいから、どっちにもいい面が多いんじゃないかなって感じました。それで時間内に走り切っている人がたくさんいらっしゃるんだし、周りを楽しませてくれたことを評価してもいいんじゃないかと思うくらい、コスプレして走っていらっしゃる方はすごいと思いました！

40代	男性	大阪府	フルマラソンには何回か（何大会か）参加していますが、大阪マラソンは規模その他の点で別格と思います。応援もすごいし、運営もしっかりしていると思います。事前のイベントなど含めて、「祭り」ですね。これからも継続していただきたく思います。
40代	男性	静岡県	スタッフもボランティアも沿道の応援してくれる人も、その人たちからのパワーを受けて完走出来ました。JR環状線の車掌が、大阪城公園駅到着前のアナウンスで「大阪マラソン参加の皆様、頑張ってください。応援しています」のアナウンスにも後押しされた気がして、街中が良いムードでした
40代	男性	兵庫県	最終ランナーが最後にパトカーに先導されている所を見た時、涙が出て感動しました。最終ランナーが最後のゴールをする時、応援の人達による歓声が凄くて感動しました。こういう映像を広報でも使用して欲しいと思いました。
40代	女性	大阪府	前日の受け付けで係の人に「おめでとうございます」と言われて、改めてすごい倍率で当たったんだなあと思い感動しました！また「頑張ってください」と走っている以外でもたくさん言われて、みんなで大阪マラソンを盛り上げようとしているのを感じました。
40代	男性	愛媛県	障がい者の方が伴走の方と一緒に走っているのを見て、こちらの方が励まされました。視覚障害、盲ろう、義足のランナーなど。義足のランナーは一般ランナーを励ましながら抜き去って走っていた。こちらが勇気をもらった。
30代	男性	東京都	今回アクシデントにより途中棄権してしまったのですが、大会関係者の方々の対応がとても暖かく、再び感動しました。足が腫れ上がってしまって、とても歩けない状態でしたが、みなさんが車いすを押してくれたり、病院にまでスタッフの方が付き添ってくれたり、本当にありがとうございました。感謝しています。

40代	女性	東京都	ペアエントリー制は夫婦でランナーの我が家にとって、大変素晴らしいシステムです。東京・京都にはこれがないと、一人だけ当選すると「ずるいずるい」と家庭内に不穏な空気が流れます。ぜひ、継続して下さい。よろしくお願いいたします。
40代	男性	福井県	芸能人参加について、疑問があります。 EXPO 会場にて、特定の人物のTシャツの物販をしたり、特定のミュージシャンを応援するようなファンを動員したりするのは、市民マラソンのあり方としてふさわしくないように感じた。ランナー全員が主役というのが、本来の趣旨じゃなかったでしょうか？
30代	男性	大阪府	足を故障してしまい完走をあきらめかけたんですが、救護室のトレーナーさんがテーピングとマッサージ、アイシングを施してくれて、さらに「絶対走れるようにしてみせます」って言われたとき、思わず泣きそうになりました。結果は目標のタイムより2時間以上遅くなってしまいましたが、ゴールできた達成感と感謝の気持ちで1人で泣きました。ほんとうにみなさんありがとうございました。
60代	女性	滋賀県	ペースメーカー（4時間30分）に感謝致します。声をかけながら皆を引っ張ってくれました。体調不良で（スタートからゴールまでお腹が痛くて自分との格闘）ペースメーカーの二人のお陰で4時間20分の記録で走れました。ミズノランニングクラブの方でしょうか。「たいへん感謝し、遅れると二人の風船を探して頑張れた」とお伝えいただけないでしょうか。 自分の不注意での体調不良で、走りやすいコースや沿道の応援を十分に楽しめなかった事が残念でなりません。関係者やボランティアの皆様有難うございました。いい大会でした。
40代	女性	神奈川県	2日間地下鉄フリーパス1000円乗車券がとても良かった。応援にもレース後の大阪観光にも大変役立ちました。観客の温かい声援の他、スタッフの方の応援がとても励みになりました。また是非参加したいです。ありがとうございました！

### 3) 改善点の指摘

50代	男性	愛知県	メディアが多いのはいいのですが、ヘリコプターの音が気になりました。健常者はうるさいなと思う程度だと思うのですが、目の不自由な方と伴走の方にとっては言葉の伝達がしづらかったり、音から周りの状況を判断するのに、走り辛かったのではと思いました。
40代	男性	千葉県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール直後にトイレがあればよかったですと思います。</li> <li>・ゴール後、東京に帰るのでお風呂関係の案内もしくは頭が洗えるとよかったです。体は汗拭きシートで何とかできるので。</li> </ul>
40代	男性	神奈川県	スタートを南港、ゴールを大阪城と逆には出来ないのでしょうか？交通規制の関係で難しいと思うのですが、ランナーにとって辛い最後を街中で迎える、というのは励みになります。
30代	男性	大阪府	インテックスの食事スペースに座るところを増やしてほしい。妊婦、子連れ、高齢者のために。盛り上げ隊がコースから遠かった。観客の背後でよく見えなかった。観客柵とコースの間でやってくれたらいい。観客をもっと増やすために、観やすいスポットを詳しくガイドして欲しい。観にくいスポットを言うことも大切。コース右側か左側がいいのか？カーブの外側がいいのか、内側がいいのか？など。住之江の交差点を右折したところで観戦した身内は、高い柵に阻まれて見づらかったようです。
30代	女性	京都府	工夫をこらした仮装ランナー、また沿道にも仮装したりランナーへのメッセージを書いたボードの内容が、非常に大阪らしいユニークなものがたくさんありました。いくつかピックアップして特集したり、どれが1番よかったかコンテストのようなものがあって、まとめて楽しめたら面白いのにとと思いました。
60代	男性	大阪府	手荷物はホノルルマラソンのように前日に会場で受付すれば、かなり手間ひま、経費削減できるのではないのでしょうか。
50代	男性	大阪府	御堂筋沿いの大手企業が応援参加していただけると大阪の一体感が出たかなあー。沿線企業ボランティアがあっても良かったのでは。。。



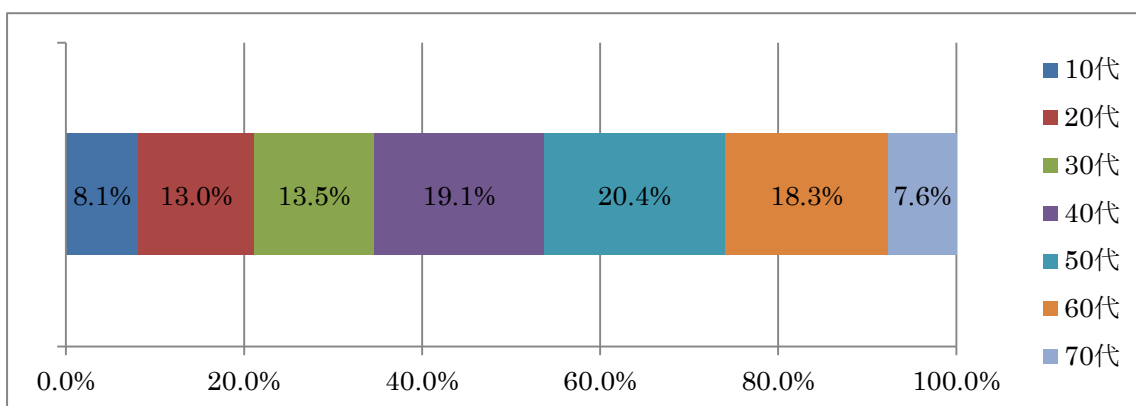
30代	女性	神奈川県	観光名所を走ったのですが、大阪にあまり来たことがないので、何の建物か分からなかった。どこかに観光名所の案内がエキスポなどで紹介されているとさらに楽しめると思う。
50代	男性	大阪府	今後 回数を重ねて行くことで、リピーターの増加 マネリ化しないようコース再考や東京の追随ではない特色を出していくことが大事ではないか。日本中で自治体マラソン増加する中で神戸 京都 奈良マラソンとの関係を利用するのも関西地区の利点では。
30代	女性	大阪府	チャレンジランにもペアエントリーがあると嬉しい。チャリティカラーTシャツを着ている人が少なくて残念だった。
40代	女性	大阪府	前日受付の EXP02013 の飲食コーナーが、コンセプトがわからない。新潟ラーメン、大分からあげ、富士宮焼きそばなど、単なる今はやりのB級グルメを集めただけのよう。大阪らしい料理のテナントをもっと出すほうが大阪マラソンらしいおもてなしなのでは？沿道の給食と料理が重ならないよう調整してもらえたら、もっと食べることも楽しめるはず。残念。お菓子などのお土産のお店も、大阪らしい商品とは思えず。
50代	男性	神奈川県	飲食店や観光地の割引クーポン（適用期間：大会後1週間後まで）が充実していると有難いです。

## Ⅱ. ボランティア

回答者数:808

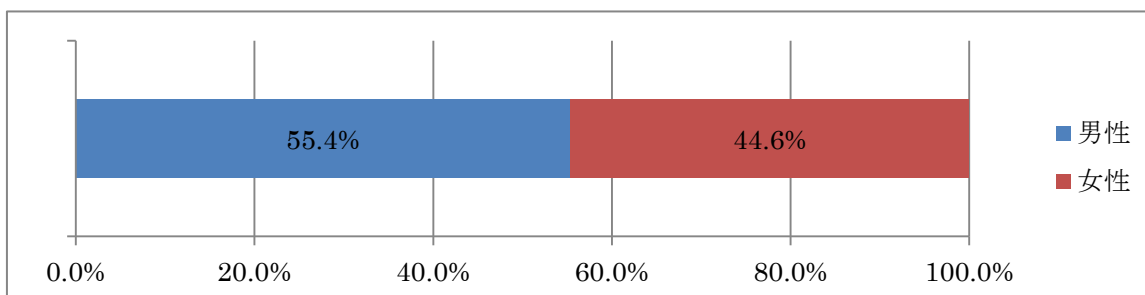
### 1. あなた自身について

#### (1) 年齢(年代)



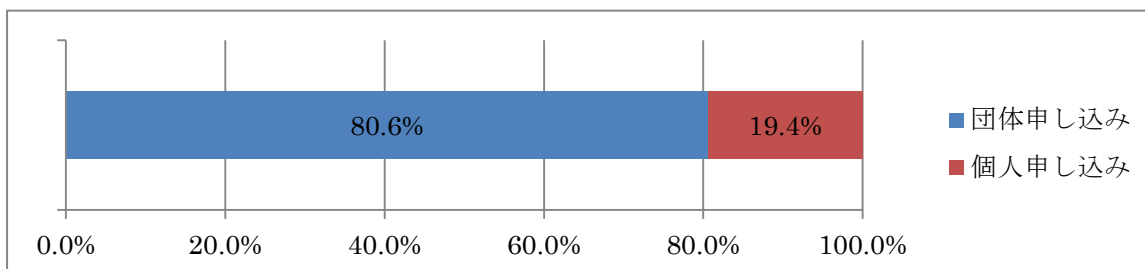
年齢層については、50代が20.4%と最も多く、つぎに40代の19.1%、60代の18.3%と、40～60代の参加者が多く見られる。全体的に見て、年齢のバランスは非常に良い。

#### (2) 性別



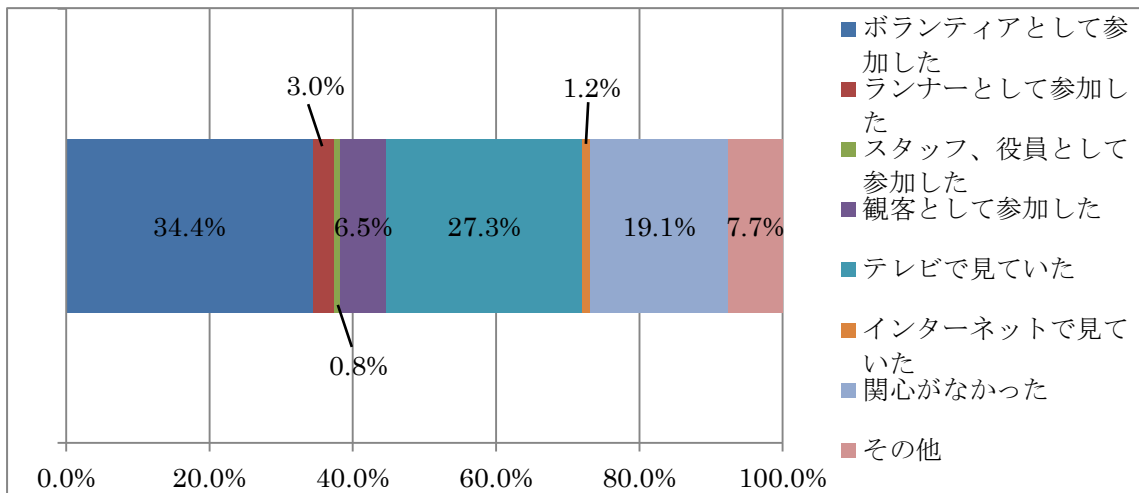
今年は男性55.4%、女性44.6%となった。前年(男性51%、女性49%)と比較すると、男性の割合が増加し、女性の割合が減少した。

#### (3) ボランティアはどのように申し込まれましたか？



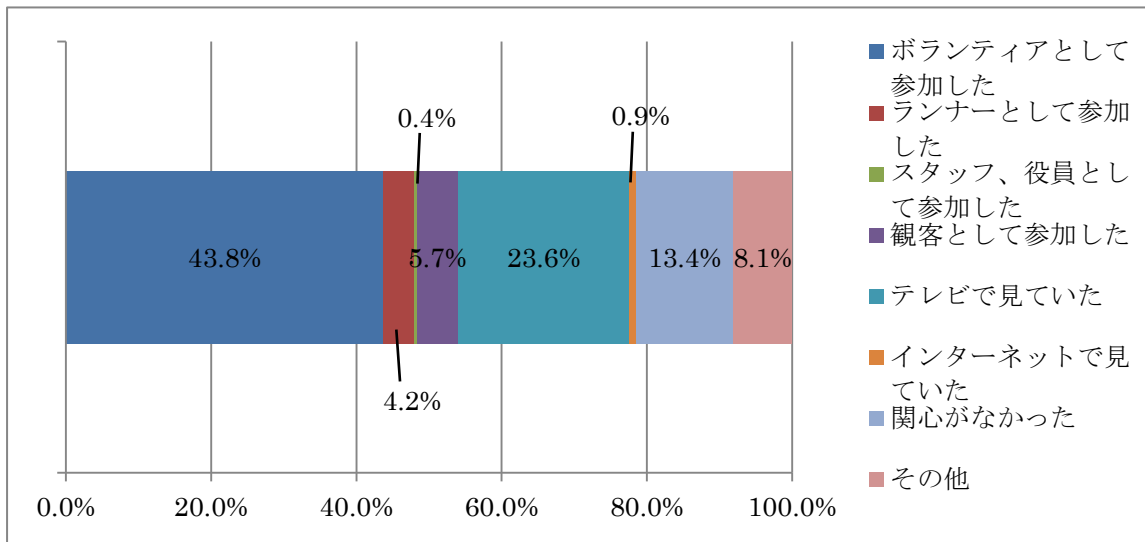
ボランティアの申し込み方法については、団体申し込みが80.6%と非常に高く、個人申し込みは19.4%となっていた。

(4) 第1回大阪マラソン(2011年)に参加しましたか？



「ボランティアとして参加した」が 34.4%で 3 割強が第1回の大阪マラソンのボランティア経験者である。また、「テレビで見ていた」が 27.3%、「観客として参加した」が 6.5%と見る側からボランティア側に移行した人が 3 割強いる。しかし、「ランナーとして参加した」が 3.0%と、ランナーとして参加した後にボランティアとして参加する人はごく少数だということがわかる。

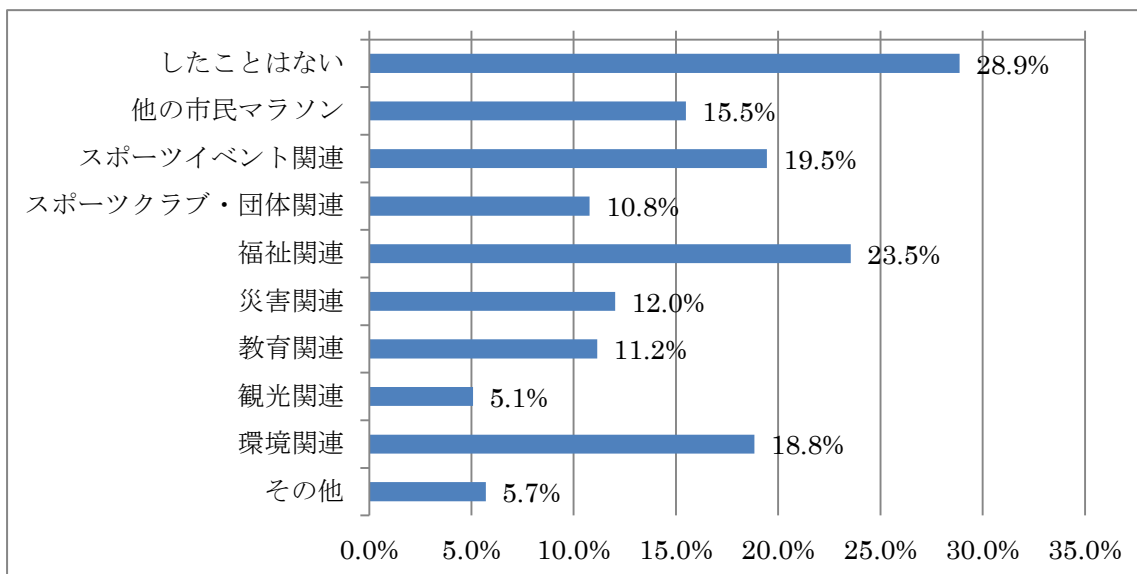
(5) 第2回大阪マラソン(2012年)に参加しましたか？



第2回大会は、第1回大会に比べ、大阪マラソンのボランティア経験者の割合が 43.8%と増えて、ボランティアのリピーターが多いと言える。また、「テレビで見ていた」が 23.6%、「観客として参加した」が 5.7%と第1回大会と同じ傾向がみられる。さらに、「ランナーとして参加した」という人の割合は 4.2%と増えており、支える側への参加の意向がみられる。

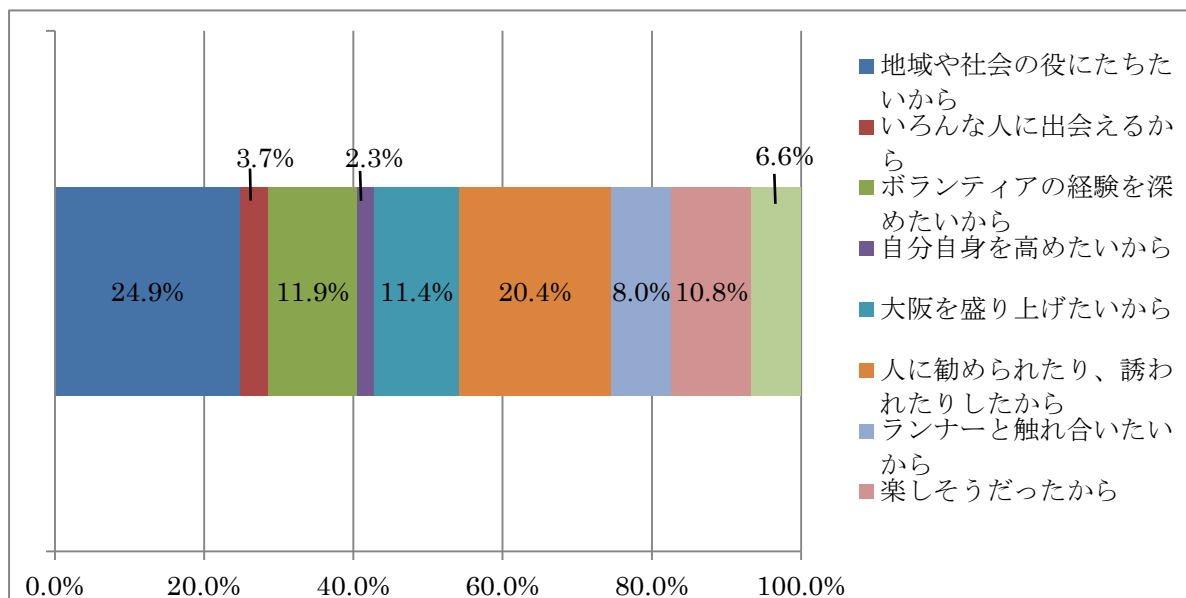
## 2. ボランティア活動について

### (1) 大阪マラソン以外のボランティアをしたことがありますか？(複数回答可)



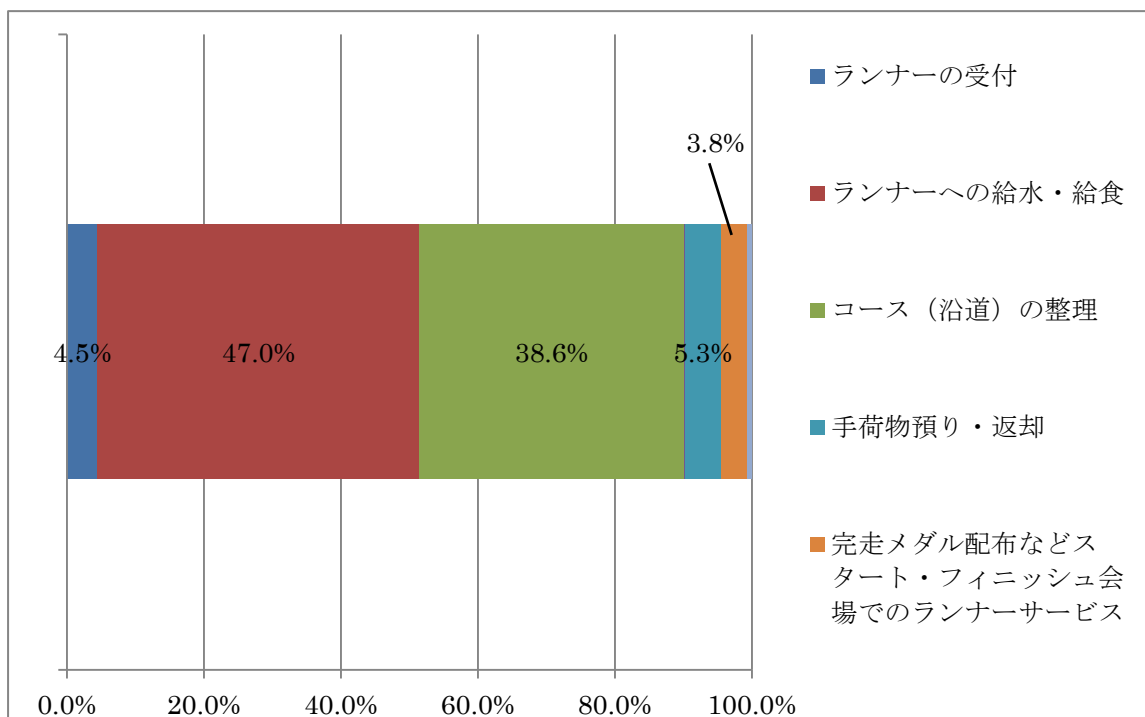
大阪マラソンでボランティア活動にデビューした人は28.9%と3割近くいる。また、他の市民マラソン経験者が15.5%、スポーツイベント経験が19.5%となっている。

### (2) 今回、大阪マラソンのボランティアをしようと思った一番の理由は何ですか？



今回の大阪マラソンでボランティアをしようと思った理由については「地域や社会の役に立ちたいから」が24.9%と最も多かった。続いて「人に勧められたり、誘われたりしたから」が20.4%となった。「ボランティアの経験を深めたいから」(11.9%)、「楽しそうだから」(10.8%)と個人的理由を挙げている人もいる。一方、「いろいろな人に出会えるから」(3.7%)、「ランナーと触れ合いたいから」(8.0%)と交流を求めている人は少なかった。

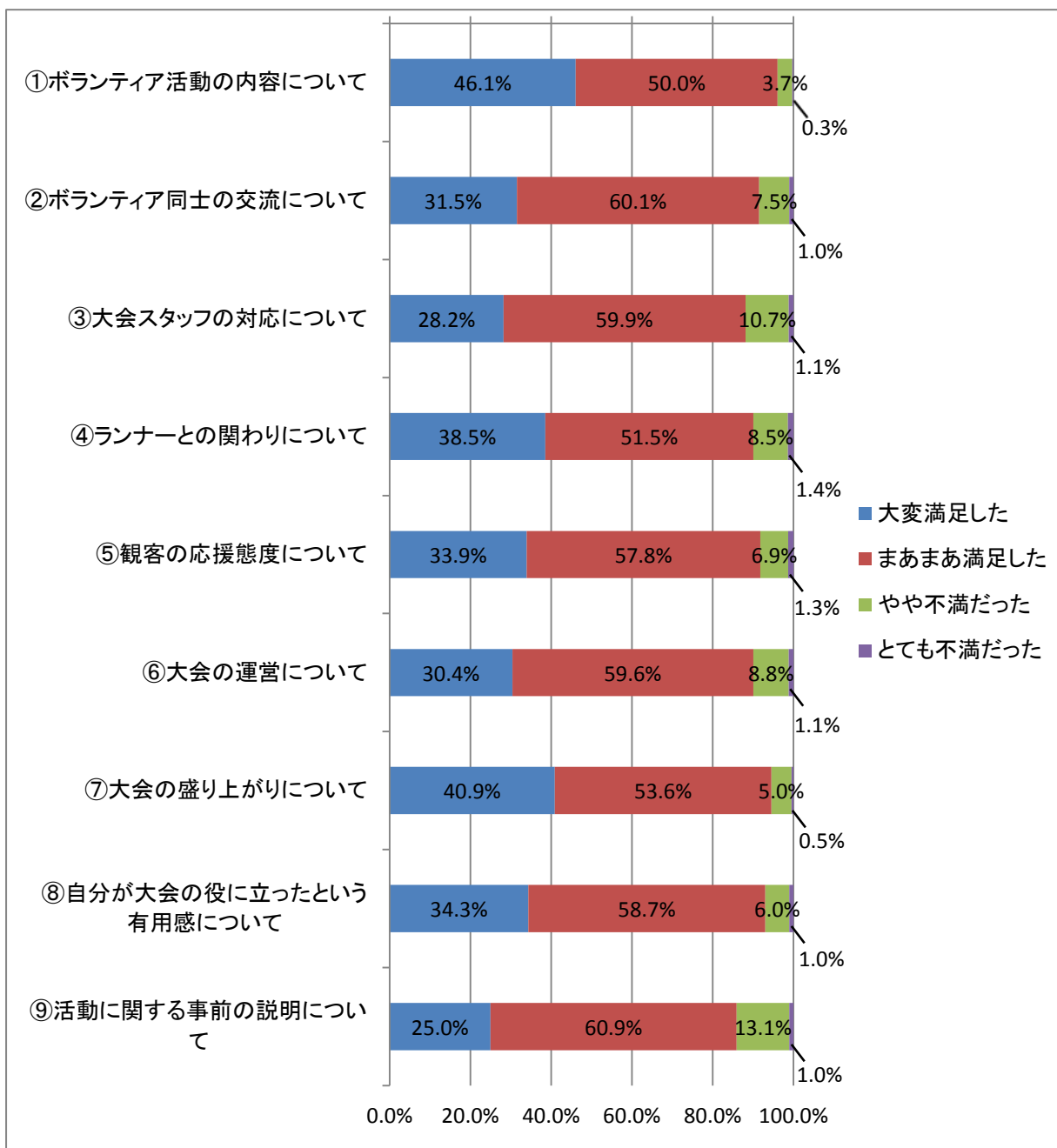
(3) 今回の大阪マラソンでは具体的にはどのようなボランティアをしましたか？



今回の大阪マラソンでの具体的な活動内容については、昨年と同様「ランナーへの給水、給食活動」が47.0%と最も多く、続いて「コース(沿道)の整理」が38.6%と、ランナーに触れ合う活動が多いと言える。

(4) 今回、大阪マラソンのボランティアに参加してみて、満足されましたか？

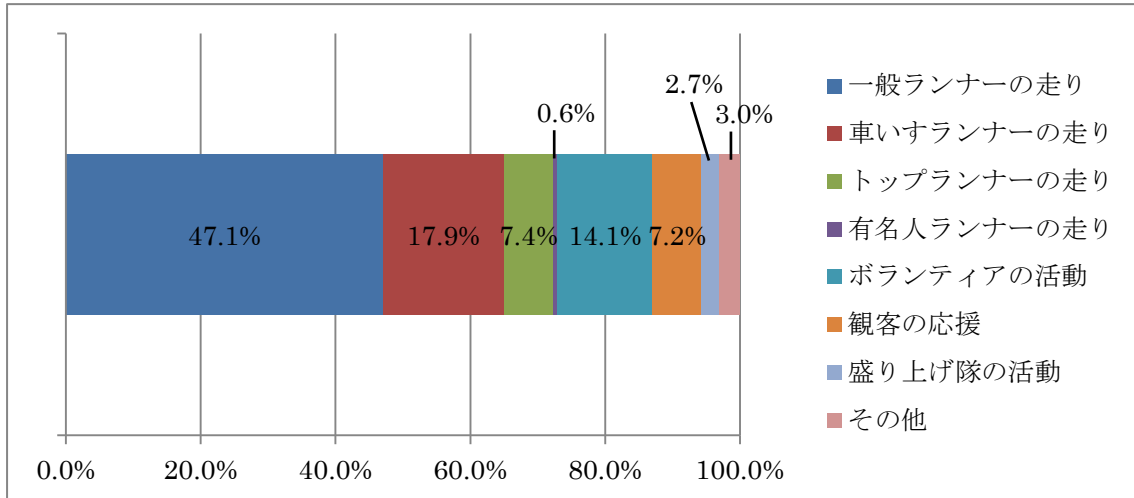
次の項目について4段階で評価してください。



全体的に満足したという意見が9割前後であった。ただ、やや不満が見られたのは「活動に関する事前の説明(オリエンテーション等)について」(14.1%)、「大会スタッフの対応について」(11.8%)で、ボランティア活層についての指導(教育)に関する項目であった。

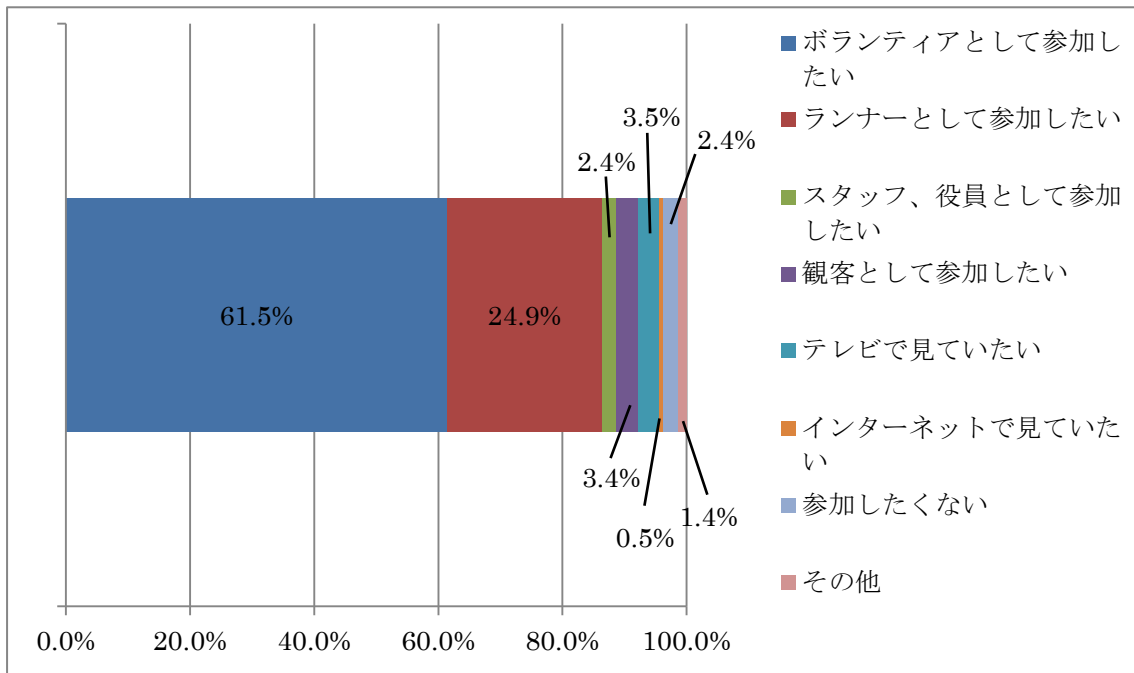


(5) あなたは何に最も感動しましたか？



最も感動したことについては、「一般ランナーの走り」が最も多く 47.1%となり、続いて「車いすランナーの走り」が 17.9%で、いずれもランナーの走りに感動している。また、「ボランティアの活動」が 14.1%で、ボランティア同士がお互いにその活動について感動しているということである。

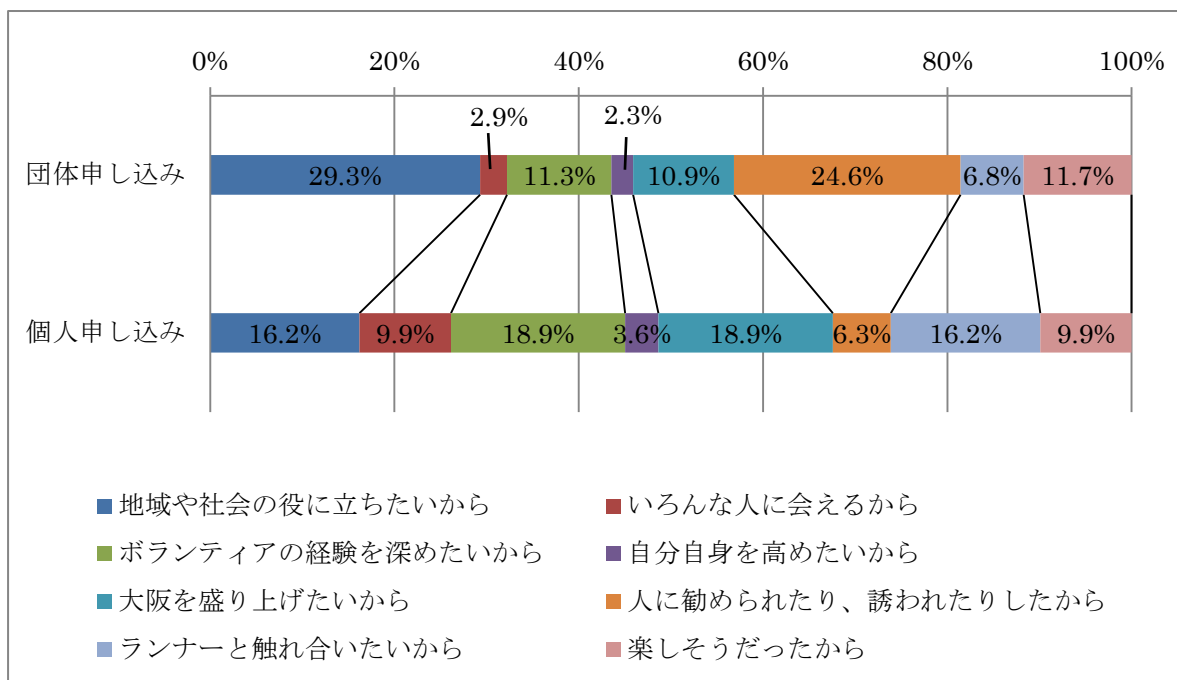
(6) 来年も大阪マラソンに参加したいですか？



来年も大阪マラソンに参加したいと思っている人は 9 割を超えている。その中でも「ボランティアとして参加したい」と言う人の割合が 61.5%で、ボランティアのリピーター意識が高いことがわかる。また、「ランナーとして参加したい」という人は 24.9%で、ボランティアをすることで、ランナーとして参加したいという意識が芽生えたと言える。

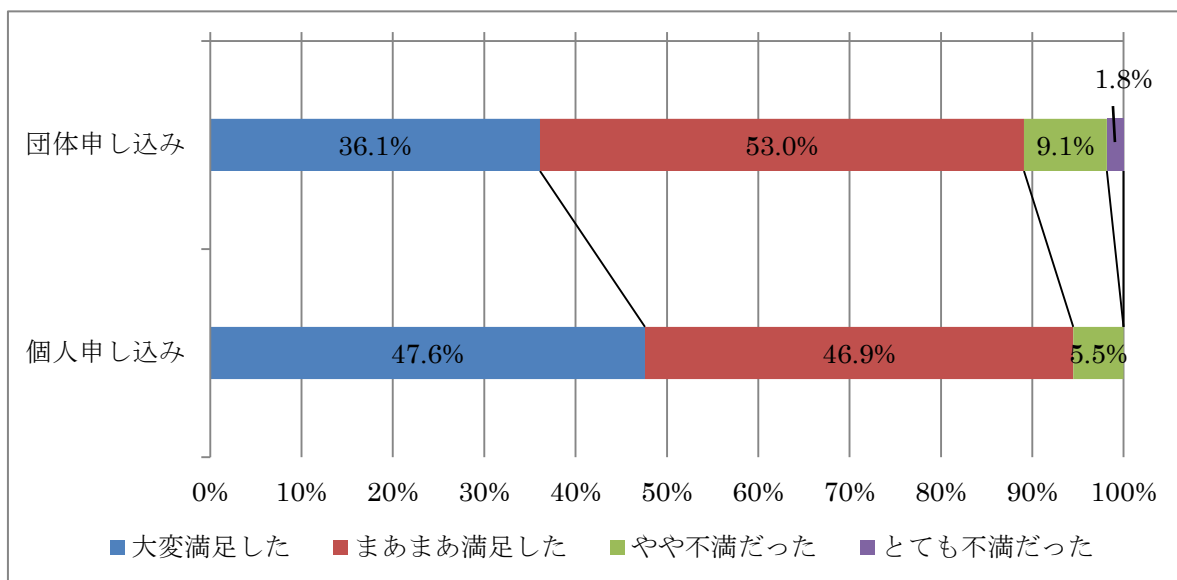
### 3. クロス分析

#### (1) ボランティアの申し込み形態とボランティアの動機



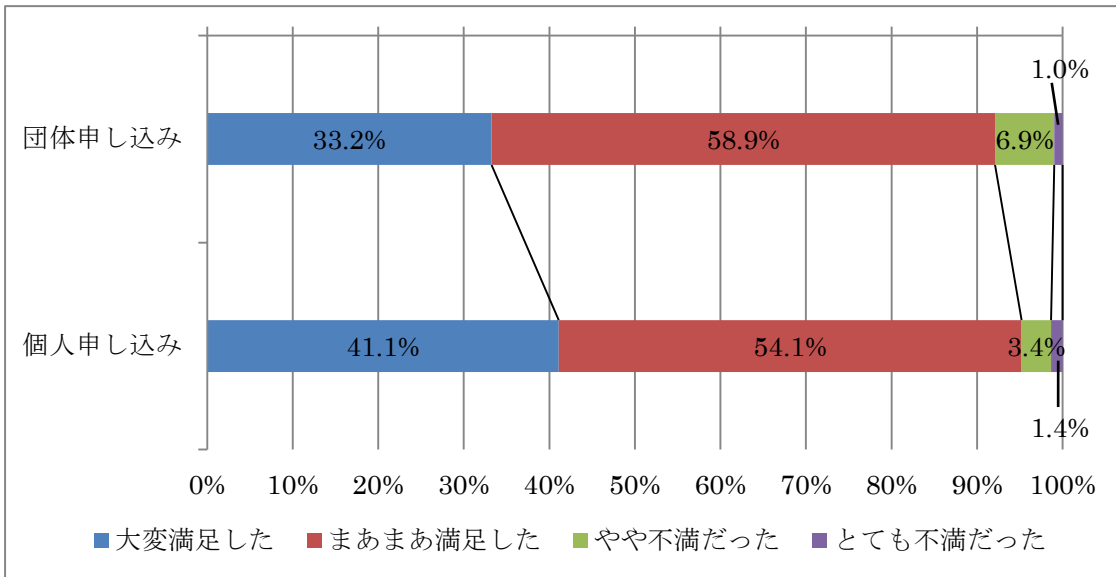
個人申し込みのボランティアは、経験の深化、人との出会い、ランナーとのふれあい、大阪の盛り上げがボランティアをする強い動機になっているようである。

#### (2) ボランティアの申し込み形態とランナーとの関わり方の満足度



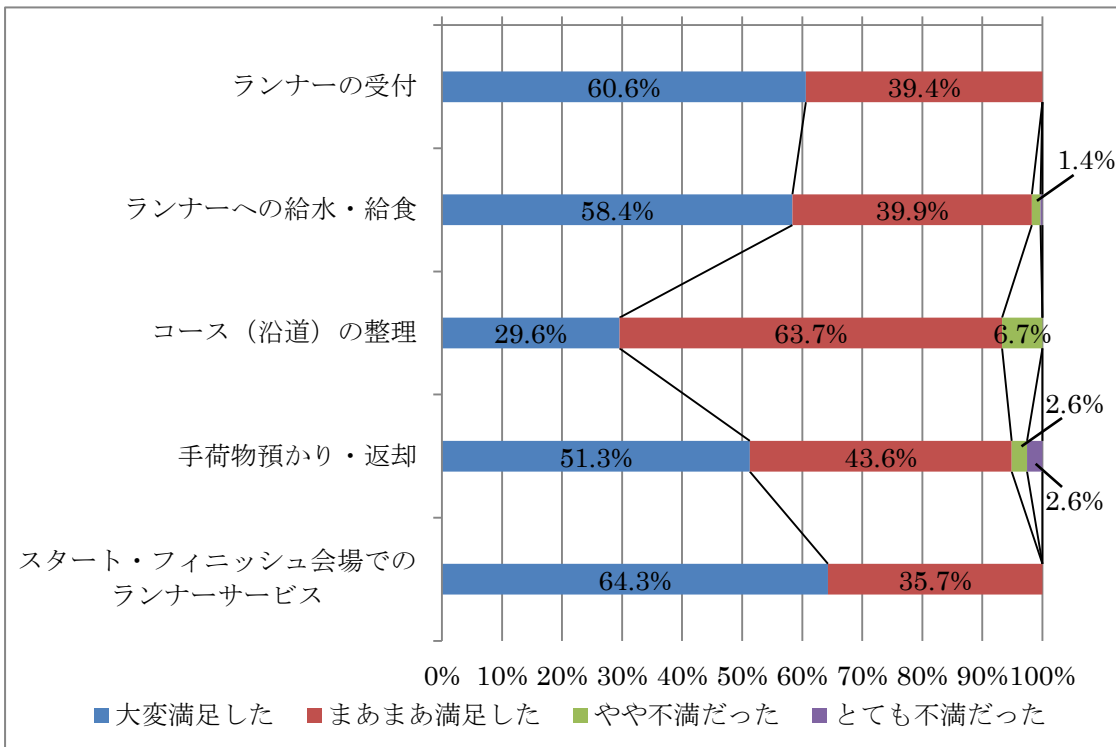
個人申し込みのボランティアの方が、ランナーとの関わりへの満足度は高い傾向にある。

### (3) ボランティアの申し込み形態と自己有用感の満足度



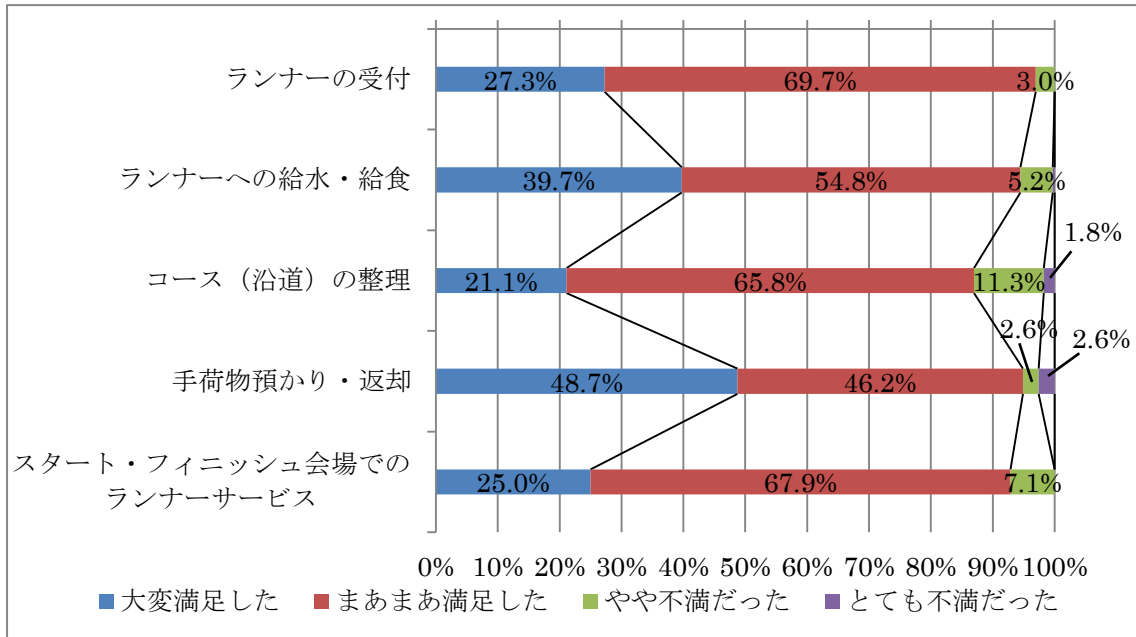
個人申し込みのボランティアの方が、自分が役に立ったという実感に満足している傾向にある。

### (4) ボランティア活動内容とその満足度



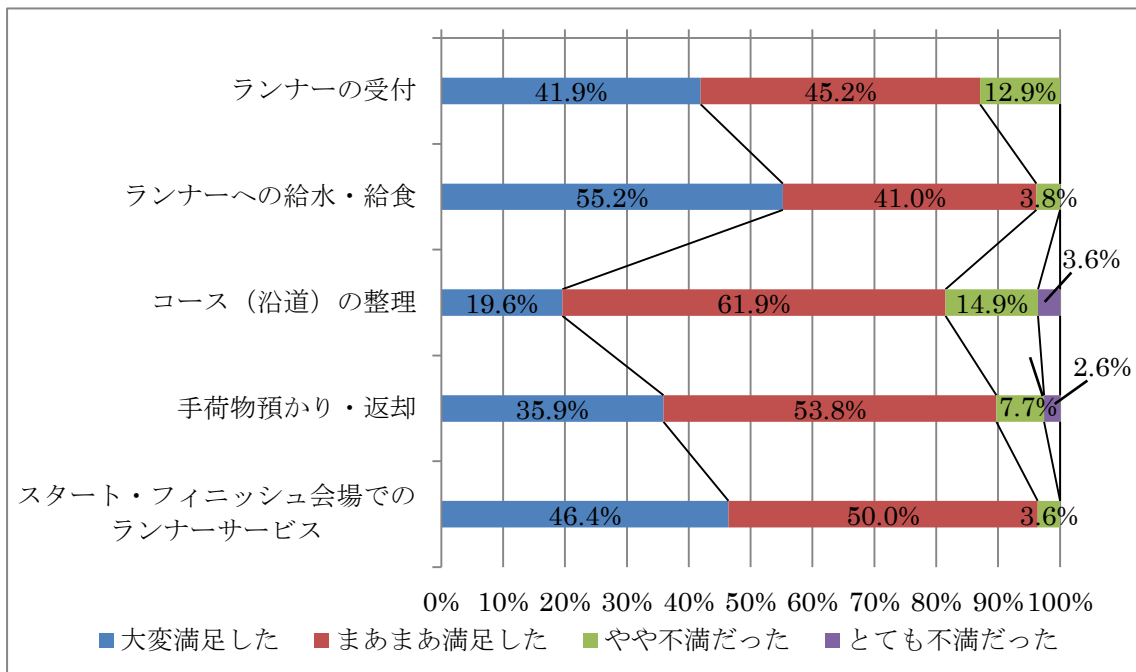
ランナーの受付やランナーへの給水・給食、スタート・フィニッシュ会場でのランナーへのサービスといったランナーとのふれあいがある活動で満足度が高い。

### (5) ボランティア活動内容とボランティア同士の交流の満足度



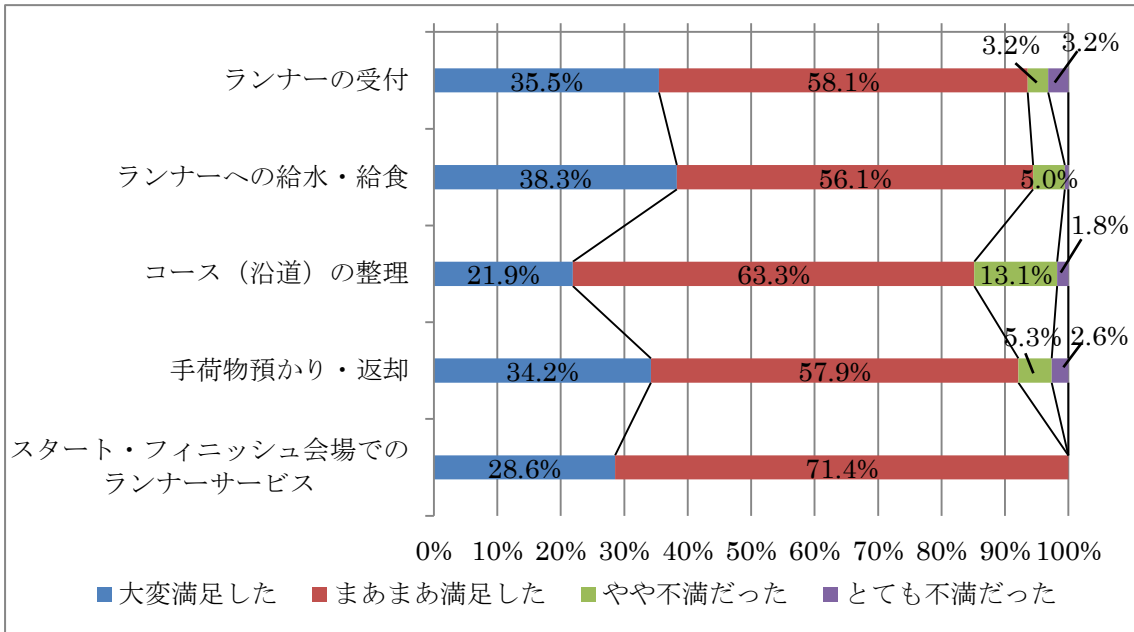
ボランティア同士の交流では、ランナーの受付やランナーへの給水・給食といった活動で、満足度が高い。

### (6) ボランティア活動内容とランナーとの関わりでの満足度



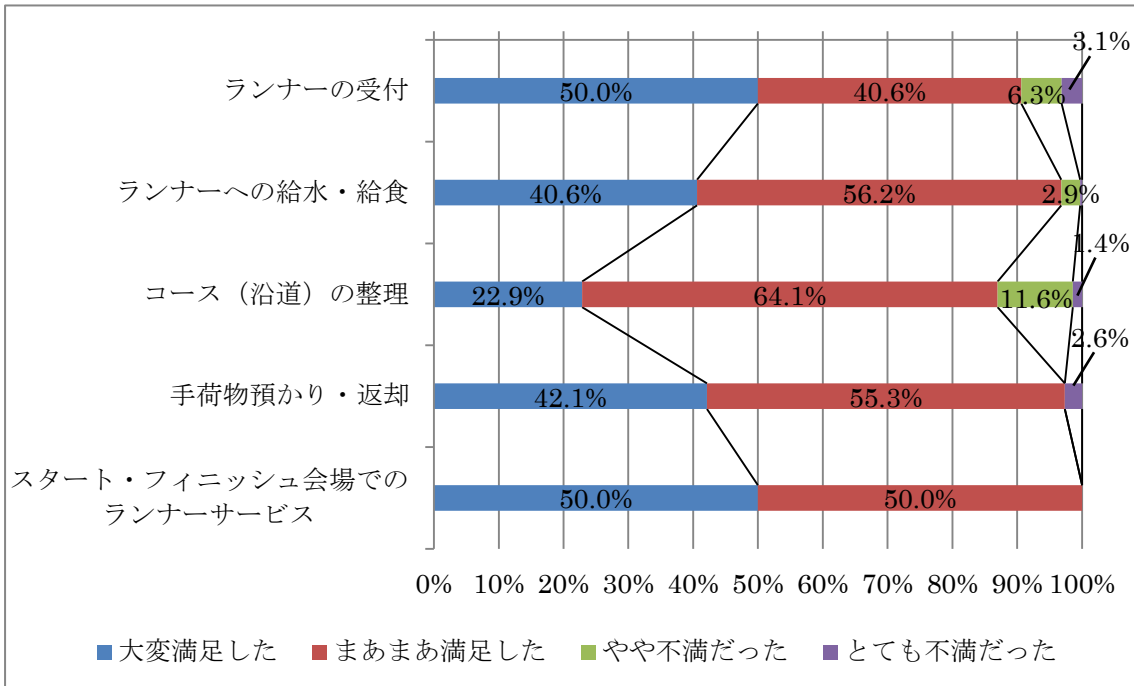
ランナーとの関わりでは、ランナーへの給水・給食とスタート・フィニッシュ会場でのランナーへのサービスといったランナーと直接触れ合える活動で満足度が高い。

(7) ボランティア活動内容と大会運営についての満足度



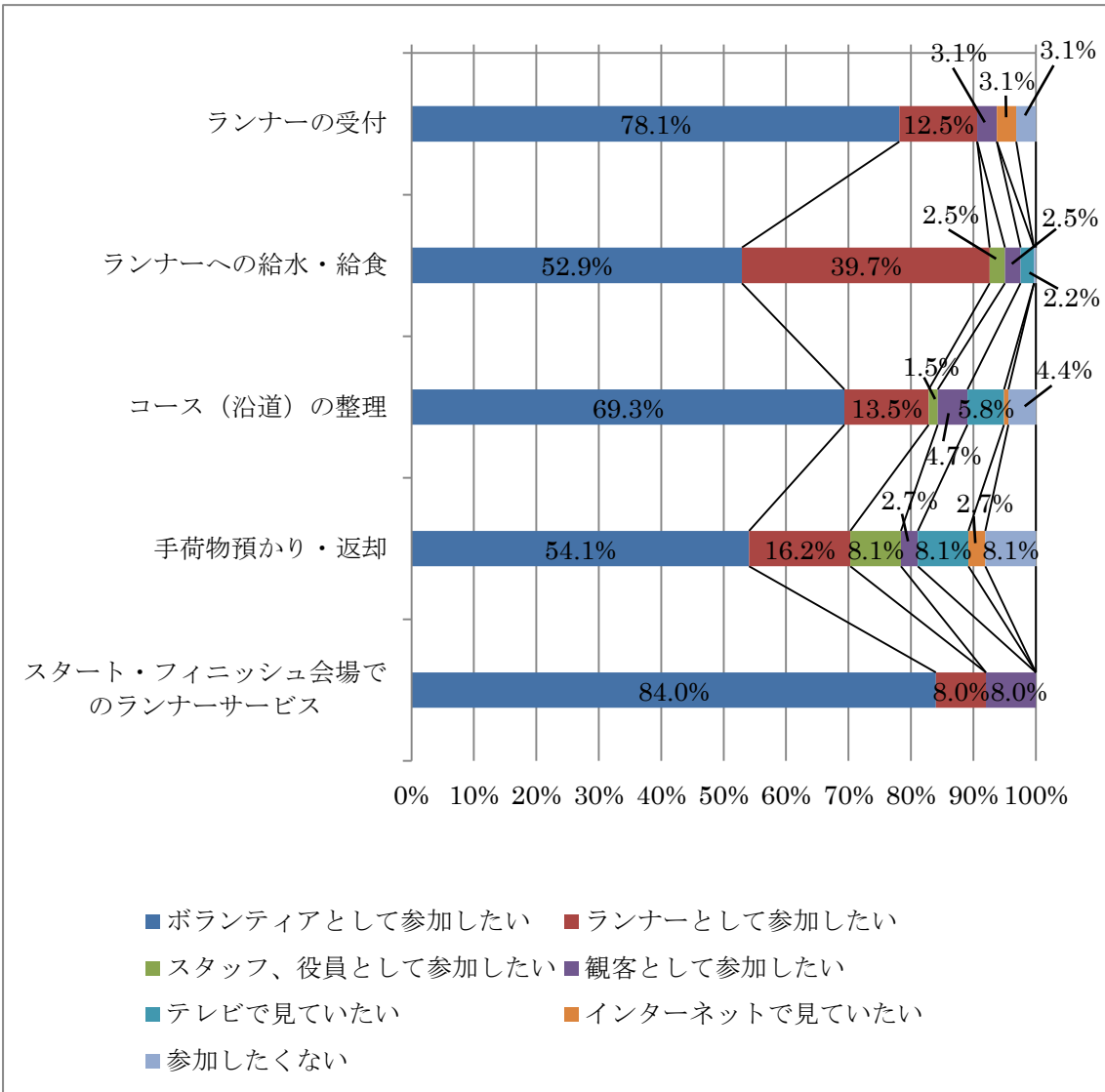
大会運営に関しては、スタート・フィニッシュ会場でのランナーへのサービスやランナーへの給水・給食で満足度が高い。

(8) ボランティア活動内容と自己有用感の満足度



大阪マラソンで自分が役に立っていることへの満足度は、ランナーへの給水・給食やスタート・フィニッシュ会場でのランナーへのサービスの活動している人に高かった。

(9) ボランティア活動内容と来年の大阪マラソンへの参加希望



来年の大阪マラソンへの参加希望では、ランナーの受付やスタート・フィニッシュ会場でのランナーへのサービスをした人は、来年もボランティアをしたいと思います。また、ランナーへの給水・給食をした人に、来年はランナーとして参加したいと希望する人が目立ち、さらに、手荷物預かりをした人に、来年はスタッフを希望する人が目立つ傾向にある。



### 第3回大阪マラソン ボランティア意識調査（自由記述：抜粋）

回答者数：300

#### <感想>

年代	性別	意見
10代	女性	トイレの並べのボランティアはやりがいがありました。
50代	女性	初めて大阪マラソンのボランティアとして参加させていただいてとてもうれしかったです。給水活動も順調に行いましたので、自分がほんの少し社会やランナーなどの人の役に立つかなと思います。また、来年も楽しみにしていきたいと思います。よろしくお願いします。
70代	女性	ランナーひとりのために多くの人たちが関わっていることをボランティアをしてわかった。これからもボランティアとしてランナーを支えたい。
60代	女性	楽しく給水係もでき、応援も間近でやり、とても思い出に残る一シーンを作ることができ、良かったです。
20代	女性	去年に引き続き、今年も給水ボランティアをさせて頂きました。本当に、このボランティアは、大好きです。ボランティアは、ランナーを一生懸命応援し、ランナーは、それに対して『ボランティアありがとう!!』というような、初対面にもかかわらず、いろんな人との出会いがあって、繋がっている感じを身にしみて感じました。
60代	女性	今年の担当場所で「盛り上げ隊」の活動に初めて接しました。吹奏楽の子供達やよさこいの若者の演奏・演技や声援は終盤のランナーにとっても大きな力になっているのを目の当りにしました。「盛り上げ隊」側にも大きな喜びの場であることもわかりました。
不明	不明	私の視点からは「さすが大阪、いたれりつくせり」と心からそう思い、感動しました。観客の方もこちらからのお願いに協力的だし、大阪市職員の方も関わった方全て親切でいてねいでやさしいし、大変良かったです。
50代	女性	初めてのボランティア参加で全て感動でした。役員、スタッフの皆様、ボランティアのリーダーさん、本当におつかれさまでした。一期一会に感謝です。
70代	男性	おつかれさまでした。参加賞配布を担当させていただきました。多くの方々と接し、楽しい3時間でした。
20代	男性	めっちゃ楽しかった。
50代	男性	企業団体のボランティア活動として参加。市民ランナーから元気をもらった。
20代	男性	来年も今年と同じようにいろいろな作業をしたり、警備としての仕事を頑張って一生懸命やっていたらいいと思います。

<改善点の指摘>

50代	男性	今回の沿道整理は、事前の説明会も十分でなく、また当日も歩行者の横断可否の判断も警察官は明確な判断ができずボランティア任せでした。規制がかかっている時でもランナーの状況により近隣の住人の生活にかかわる歩道の横断は、歩行者を優先すべきではないのかと思います。ちなみに警官はランナーがいない時でも、年配の自走式車いすの方が横断したいのに杓子定規に制止したので私の判断で横断させました。
50代	女性	ボランティア活動中、対応に困ったことや、疑問に思ったことを収集し、とりまとめ次回開催時のQ&Aとしてボランティア用注意書きやWEBで公開すれば、もっとわかりやすいと思います。
30代	男性	大会当日に、道路横断を出来ないことを知らない市民の方が、けっこう多くいたので、インターネットや、広告等での告知をもう少し広く行う必要があるのでは、と感じました。
60代	男性	今後の社会は、社会にとっても、個人にとってもボランティア活動が本当に求められる時代になっていくと思います。象徴的な活動として大阪マラソンの持続、発展を期待しています。
50代	女性	ボランティアとして沿道に立っているが、頑張っているランナーに声援を送ってはいけないと指導されているが、せめて最後の方のランナーには声援を送ってあげたかった。また、御堂筋の復路の走る幅をせめて分離帯～分離帯へ広げてあげてほしかった。走者がかたまって走っているとき窮屈そうでぶつかりそうで見えてあぶなかしかった。観客とランナーが接触してはいけないといわれていたようだが中には応援の人とハイタッチをしたり等接触していたので、走者に対してルールを徹底して厳守するよう通達するか、あるいは一般ランナーに対するルールを撤廃する等したほうがよいと思う。ランナーも応援者も楽しく参加したいので、あやふやなルールは作らない方がよいのでは。
50代	女性	御堂筋のコース（沿道）の整理を担当していましたが、応援者や一般の通行人から「向側に行くにはどうすればいいのか？」の質問が一番多く、用意された回答では「地下から行って下さい」でしたが、とても不親切な回答だったので、休憩時間に確認して「何番出口」「〇〇ビル出口」ですと親切に回答することができました。次回からは、「始まる前にボランティア各自、担当エリアの出入り口を確認して、回答して下さい」と事前に言って頂けると助かります。

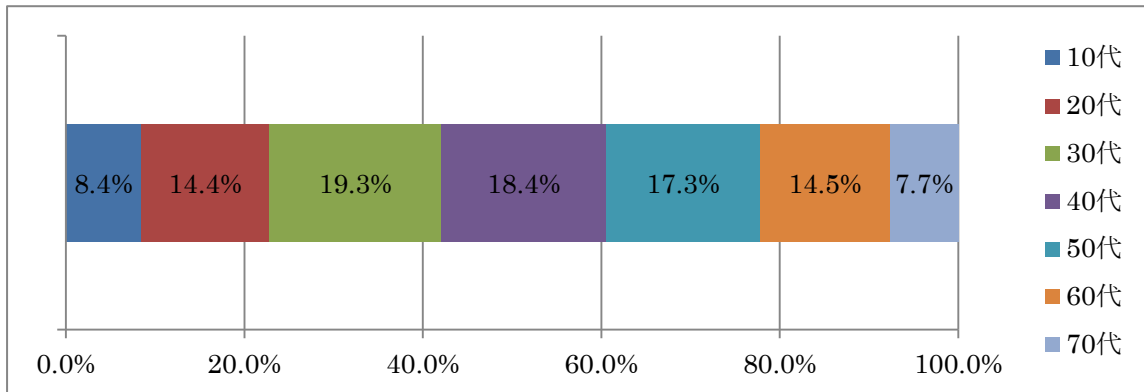
20代	女性	<p>スタッフとの事前の打ち合わせの足りなさや、活動中の連携が上手くいっていなかったことが一番の改善点だと思う。注意事項の付けたしや部分規制がないため、活動準備に変更があることも当日の朝に知らされた。使用後の軍手やタオルはどうするのか、隣の島から紙コップやアミノバリューを分けてもらってもいいのか等、活動前の説明事項にもなく、質問としても思いつかなかったような細かいこと等、活動中に思い浮かぶ質問も多かった。かといって、どこまでをリーダーが判断していいのかわからず、なかなかスタッフとも会えずだったので、事前の説明事項の徹底と、すぐにスタッフと連携をとれる工夫が必要だと思う。</p> <p>ボランティアメンバー用のマニュアルの内容が薄いと思う。当日の現場に任せすぎではないか。メンバーにも活動内容の載ったマニュアルを配ってもいいのではないかと思う。</p> <p>10月25・26日に行われたボランティア説明会で名札が配られたようだが、任意参加であるため、説明会に不参加のリーダーには名札がなかった。</p>
60代	男性	<p>給水担当であったが早い時間帯に水の在庫がなくなり、後半のランナーに迷惑をかけた。給水ポイントへの水の配分を検討すべき。</p>
20代	女性	<p>歩道橋を自転車で渡る人が多く、危険だと思う。自己責任としても、目の前で手伝わなかったことによって、怪我される方が出たら行政は責められると思う。禁止するなら禁止にし、手伝えるなら手伝った方がいいと思う。通行止箇所や横断可能な場所の周知をもっと事前にすべきと思う。あと、アナウンスが場所によって異なり困った。</p>
60代	男性	<p>もっと事前の打ち合わせを密にして、大会役員とリーダーとの処理の仕方が違い、どちらの言うことを聞けばいいのか解らなくなり、ついボランティア同士きまづくなる。</p>
30代	女性	<p>最後のバスに貼っていた「収容」という言葉が少し気になった。またそのことについては沿道を歩く応援の観客からも声があがっていた。言葉の変更を検討されてはどうかと思った。</p>

### Ⅲ. 観客

回答者数:702

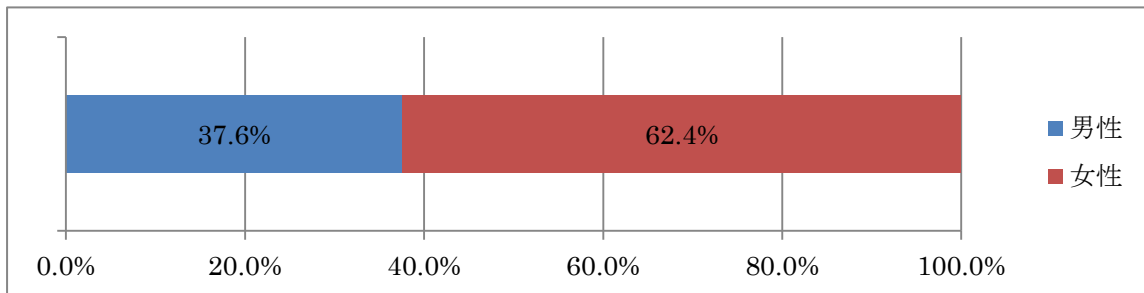
#### 1. あなた自身について

##### (1) 年齢(年代)



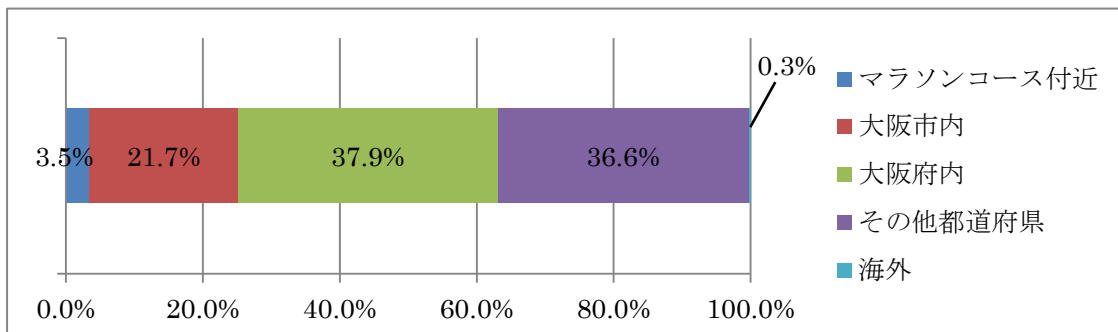
調査対象である観客の年齢は10代が8.4%、20代が14.4%、30代が19.3%、40代が18.4%、50代が17.3%、60代が14.5%、70代が7.7%とバランス良く調査している。

##### (2) 性別



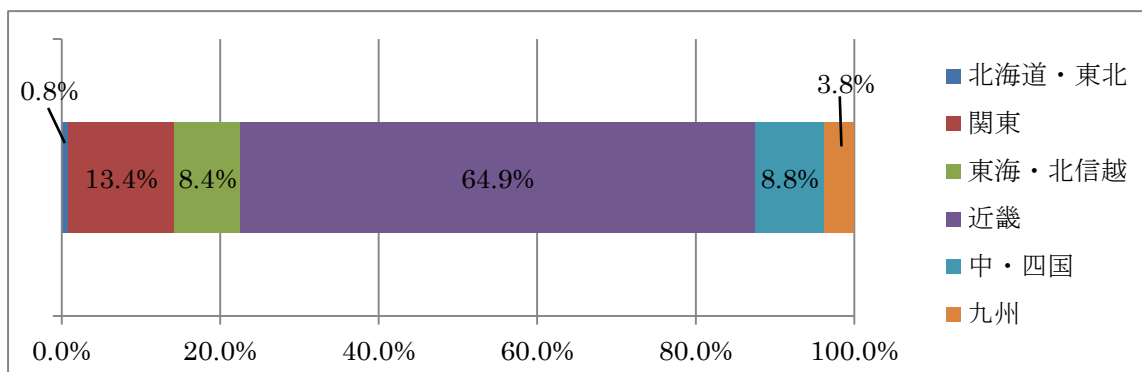
男性が37.6%、女性が62.4%で、観客は女性が多いことや協力してくれた方に女性が多かったことから、このような結果となった。

##### (3) お住まいはどちらですか？



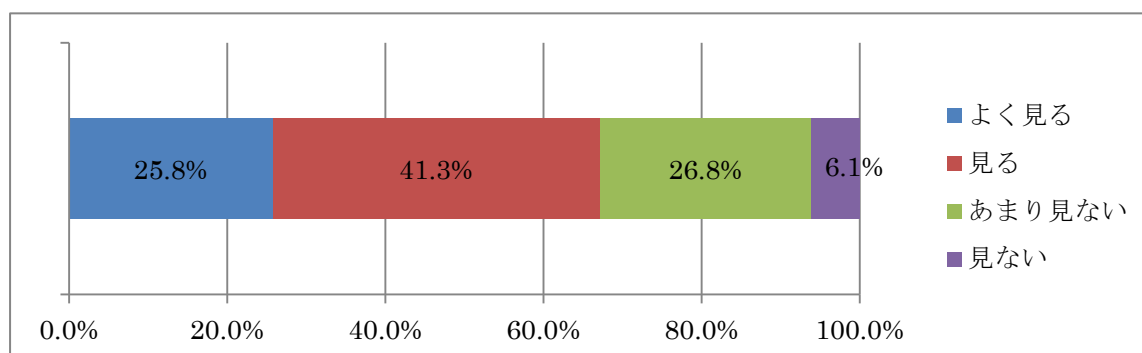
観客を居住地別に見ると、コース付近(3.5%)、大阪市内(21.7%)、大阪府内(37.9%)と約6割が大阪在住であった。第2回調査では70%を占めていたことから、他府県やまた海外から応援に駆けつけた人が増えていることがわかる。

### (3) -1 大阪府以外の都道府県



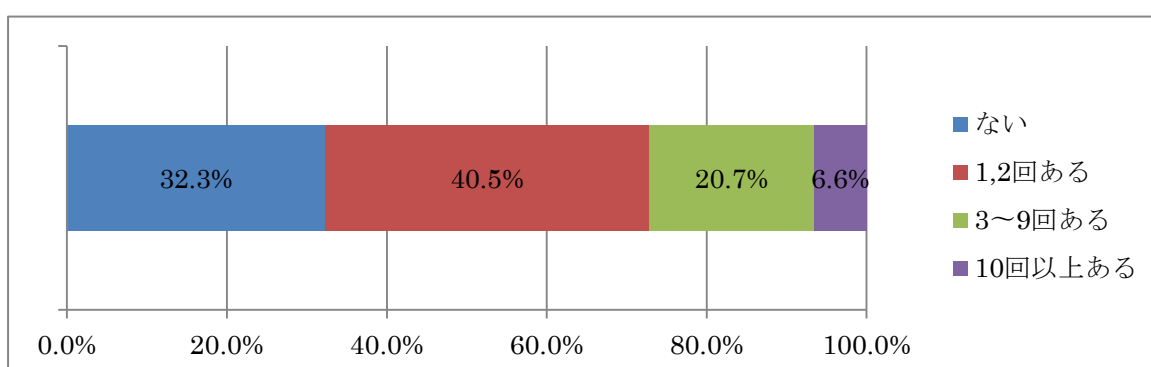
大阪府以外の都道府県の内訳を見てみると、近畿が 64.9%と多く、関東からは 13.4%、中・四国からは 8.8%、東海・北信越からは 8.4%となっており、全国的な広がりを見せている。

### (4) テレビでマラソンの中継放送をご覧になりますか？



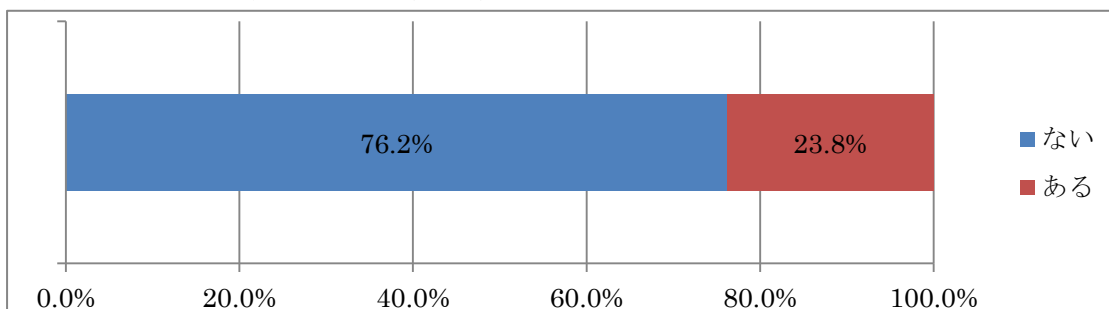
マラソンのテレビ中継を「よく見る」と答えた人は 25.8%、「見る」と答えた人は 41.3%で、7割近い人がマラソンに関心があると言える。

### (5) これまで沿道でマラソンを応援したことがありますか？



沿道での応援経験は「ない」と答えた人が 32.3%で、「1, 2回ある」と答えた人が 40.5%で、合わせると約7割の人が沿道でのマラソン応援の経験が少ないという現状である。

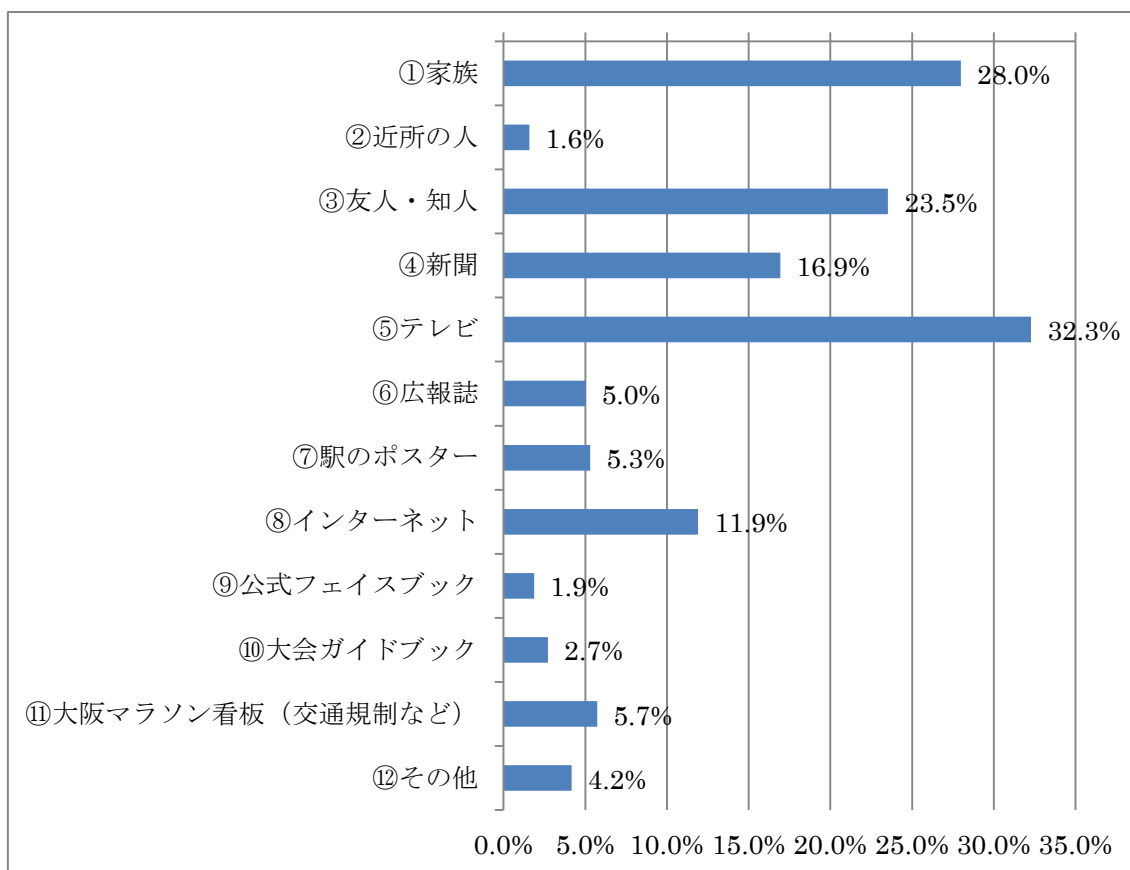
## (6) 市民マラソンを走ったことはありますか？



観客の市民マラソンの経験を聞いてみたところ、76.2%の人が経験していないと答えており、応援目的で来ていることが分かる。

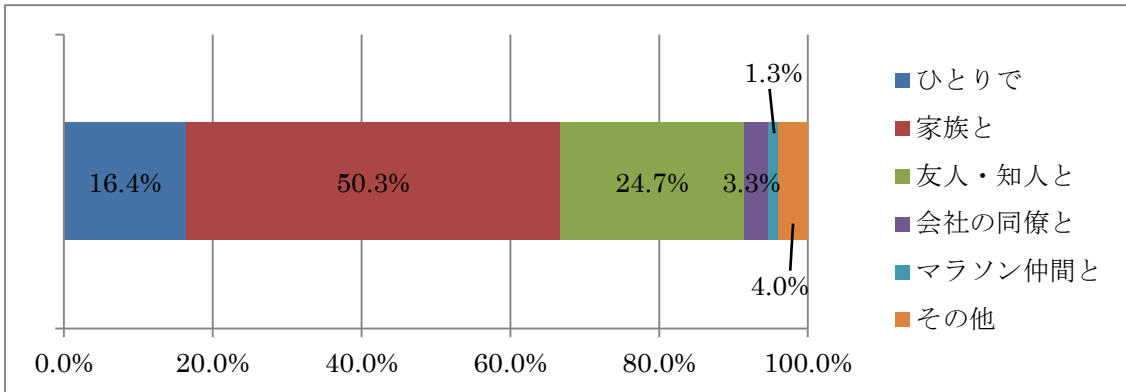
## 2. 大阪マラソンについて

### (1) 大阪マラソンについてどのようにして知りましたか？（複数回答可）



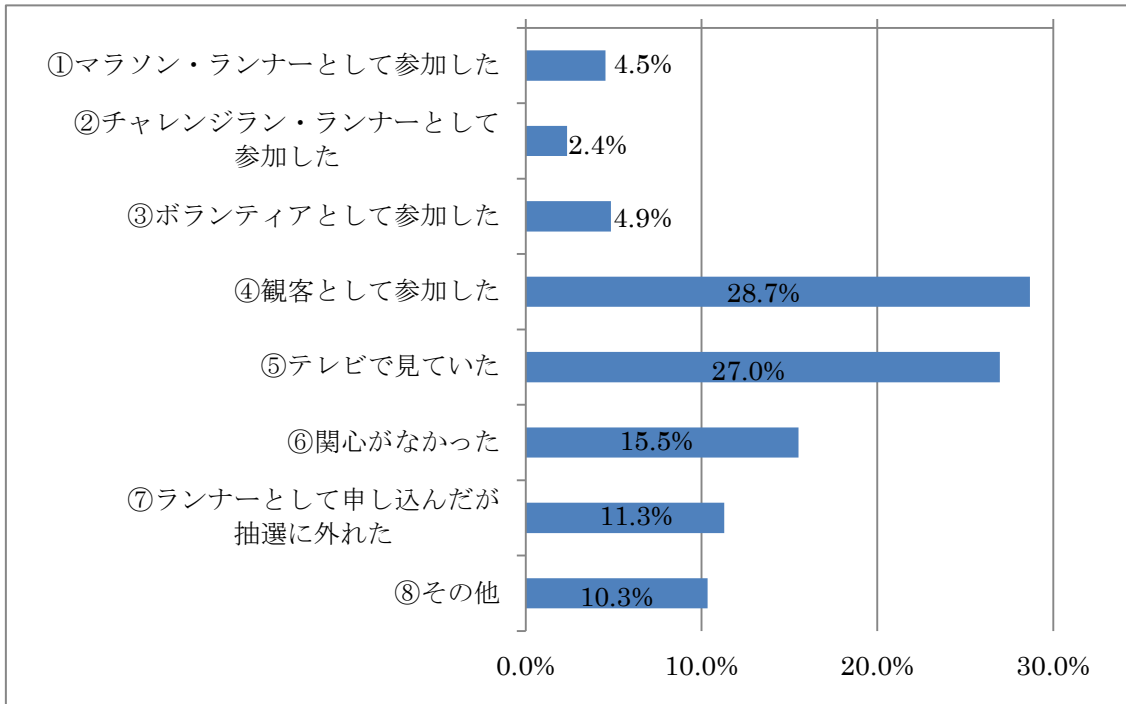
大阪マラソンを知った経緯として、テレビ(32.3%)、家族(28.0%)、友人・知人(23.5%)からが多かった。第2回と比べると、知人・友人から知ったという項目が大きく増加しており、口コミで広がっていることが読み取れる。

(2) 今日はどなたと、お越しになりましたか？



第2回と同様に、家族と応援すると答えた人が50.3%と半数あった。家族の誰かを応援することで、家族の絆が強まるということが考えられる。また、一人で来ている人も16.4%あり、知らない人を応援する観客の実態を見て取ることができる。

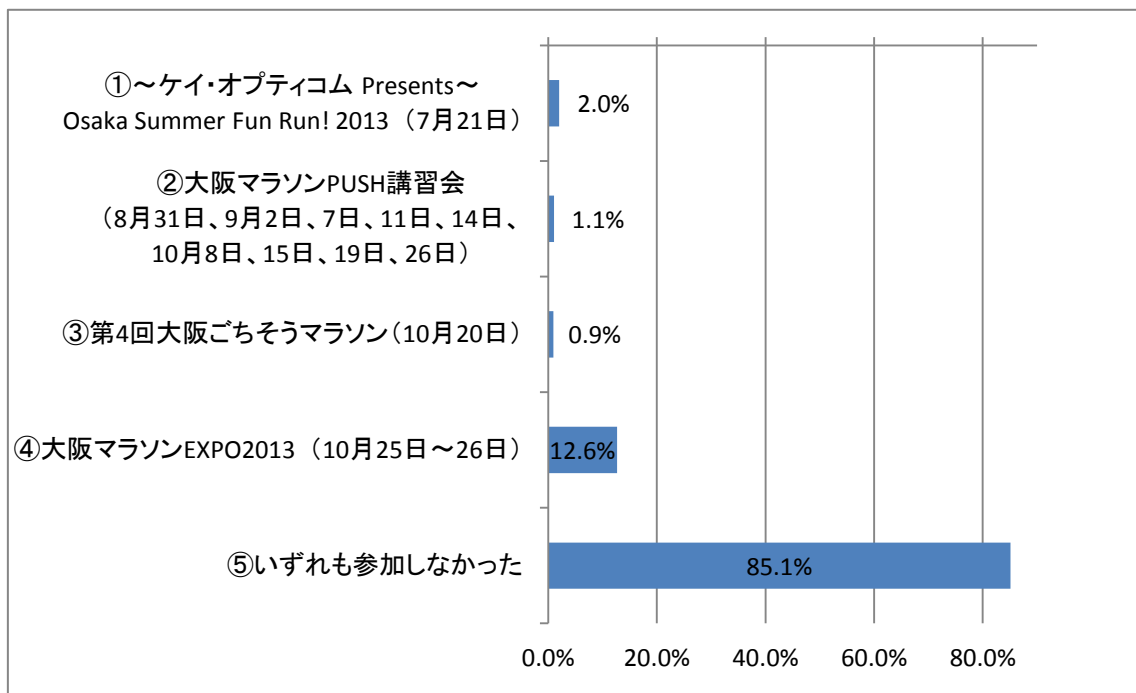
(3) 第1回および第2回の大阪マラソンには参加されましたか？(複数回答可)



観客として参加した人が28.7%を占め、これは応援のリピーター率でもある。また、テレビで見ていた人が27.0%おり、今回は観客として実際に足を運んで応援する人に移行したことが見て取れる。

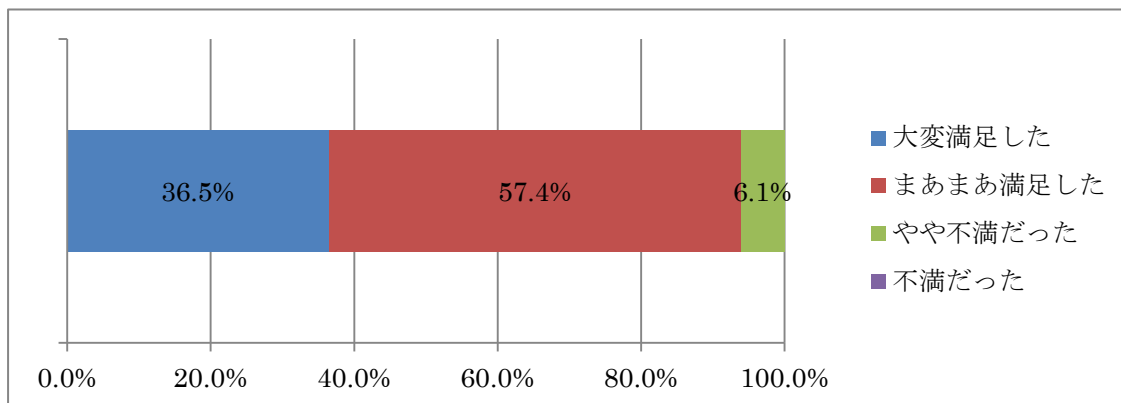


#### (4) 大阪マラソン関連のイベントに参加されましたか？（複数回答可）



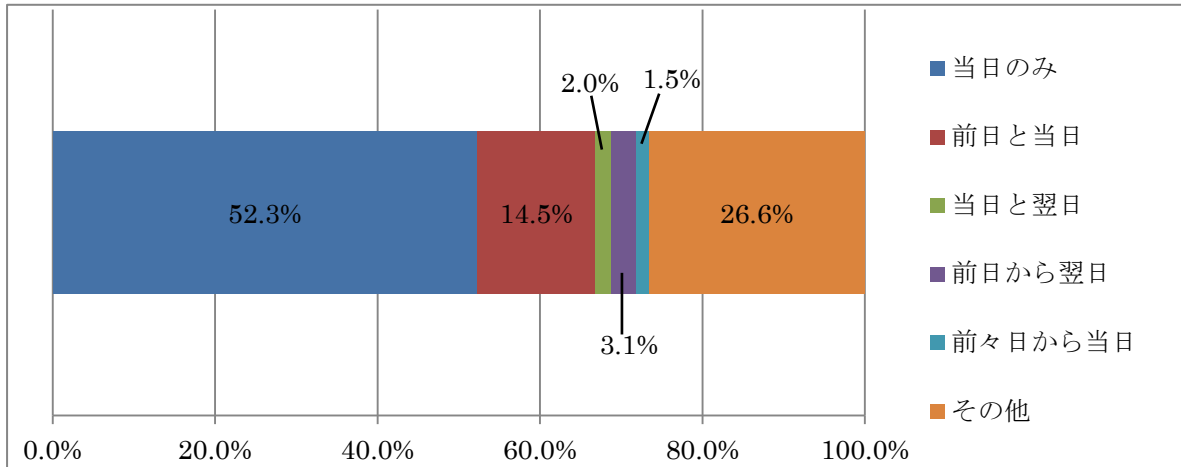
イベントに参加しなかった人がほとんどであるが、12.7%が大会前日の大阪マラソン EXPO2013に参加していた。

#### (4)－1 参加された方に伺います。参加したイベントはどうでしたか？



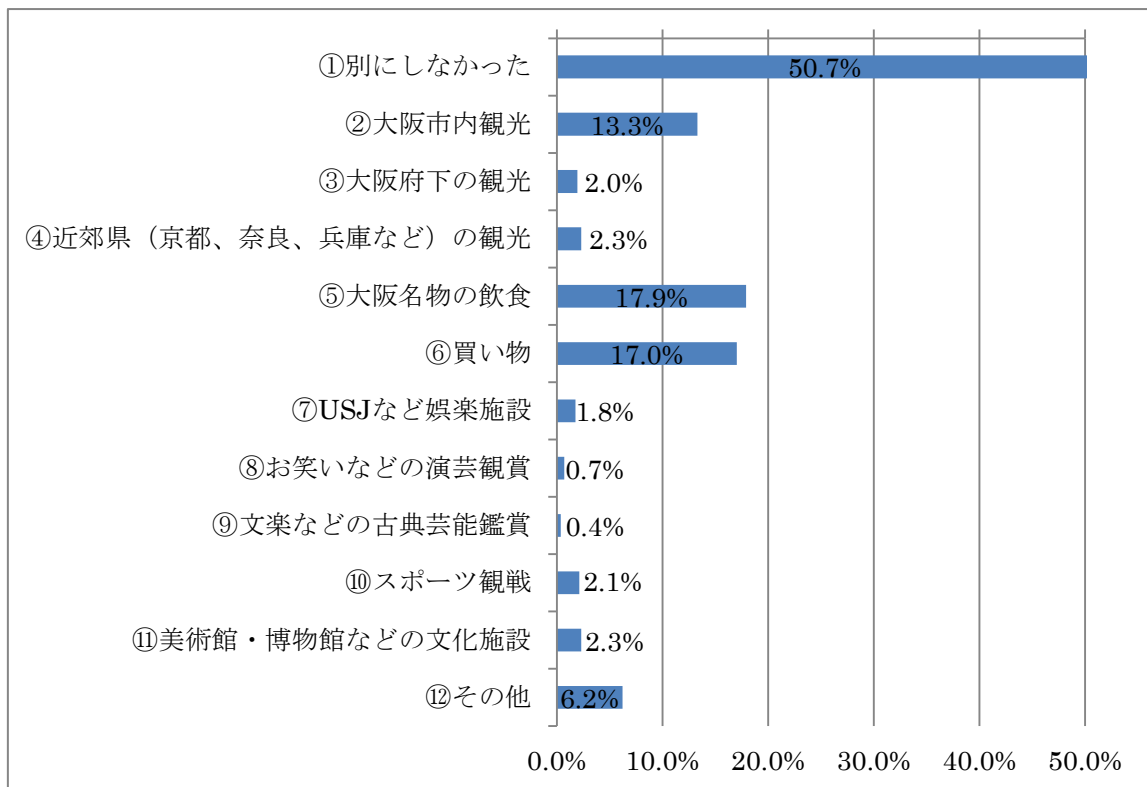
参加した人は、満足したと答えた人が 93.9%で、イベントの満足度が高いことがうかがえる。

(5) 大阪での滞在日数はどのくらいですか？



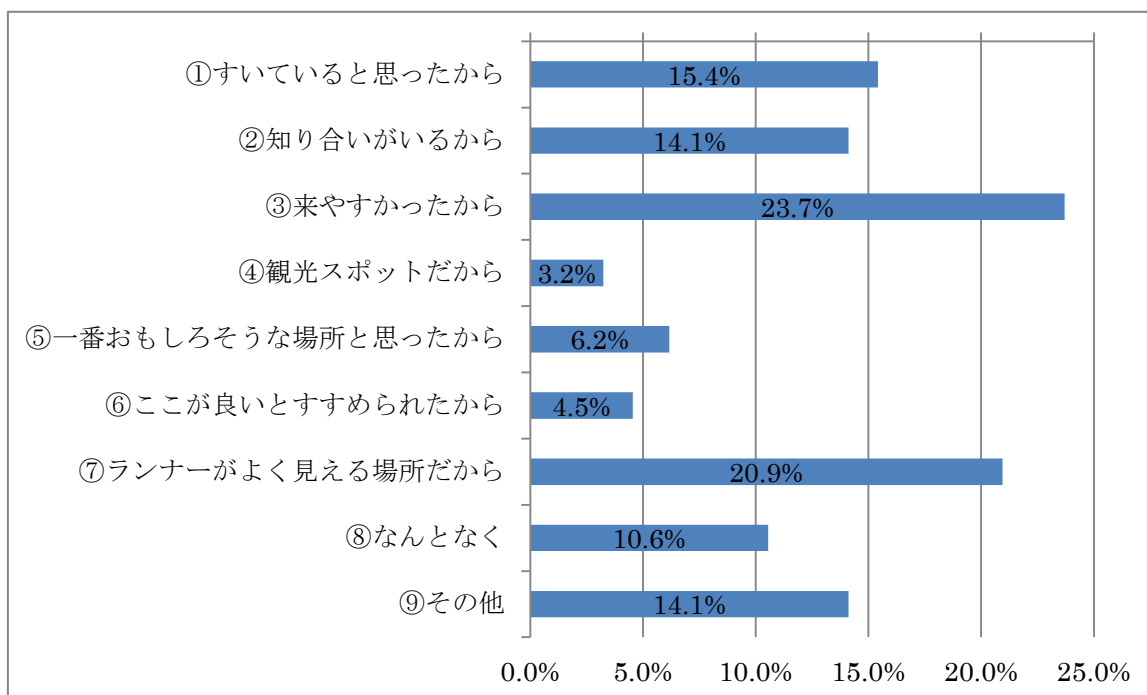
52.3%の人が当日のみの滞在で、宿泊を伴う滞在は21.1%であった。

(6) 大阪マラソン応援以外に何か活動をしましたか、あるいは活動する予定ですか？(複数回答可)



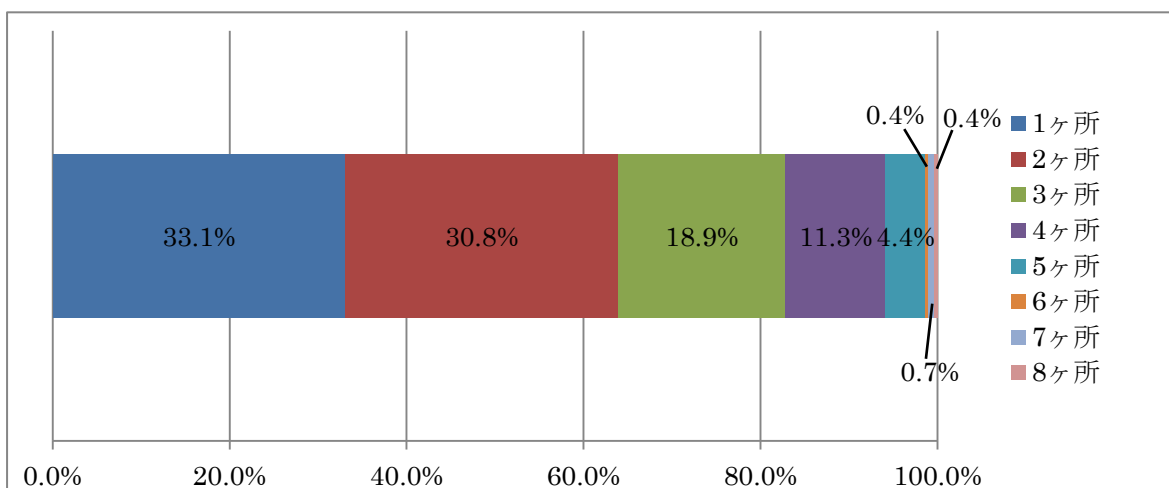
マラソン応援以外の活動をしなかった人は、50.7%と約半数であり、活動をした人では、「大阪名物の飲食」が15.1%で、買い物が17.0%で、市内観光が11.3%であった。スポーツツーリズムからは工夫が必要であることが示唆される。

(7) なぜ応援に、この場所を選んだのですか？（複数回答可）



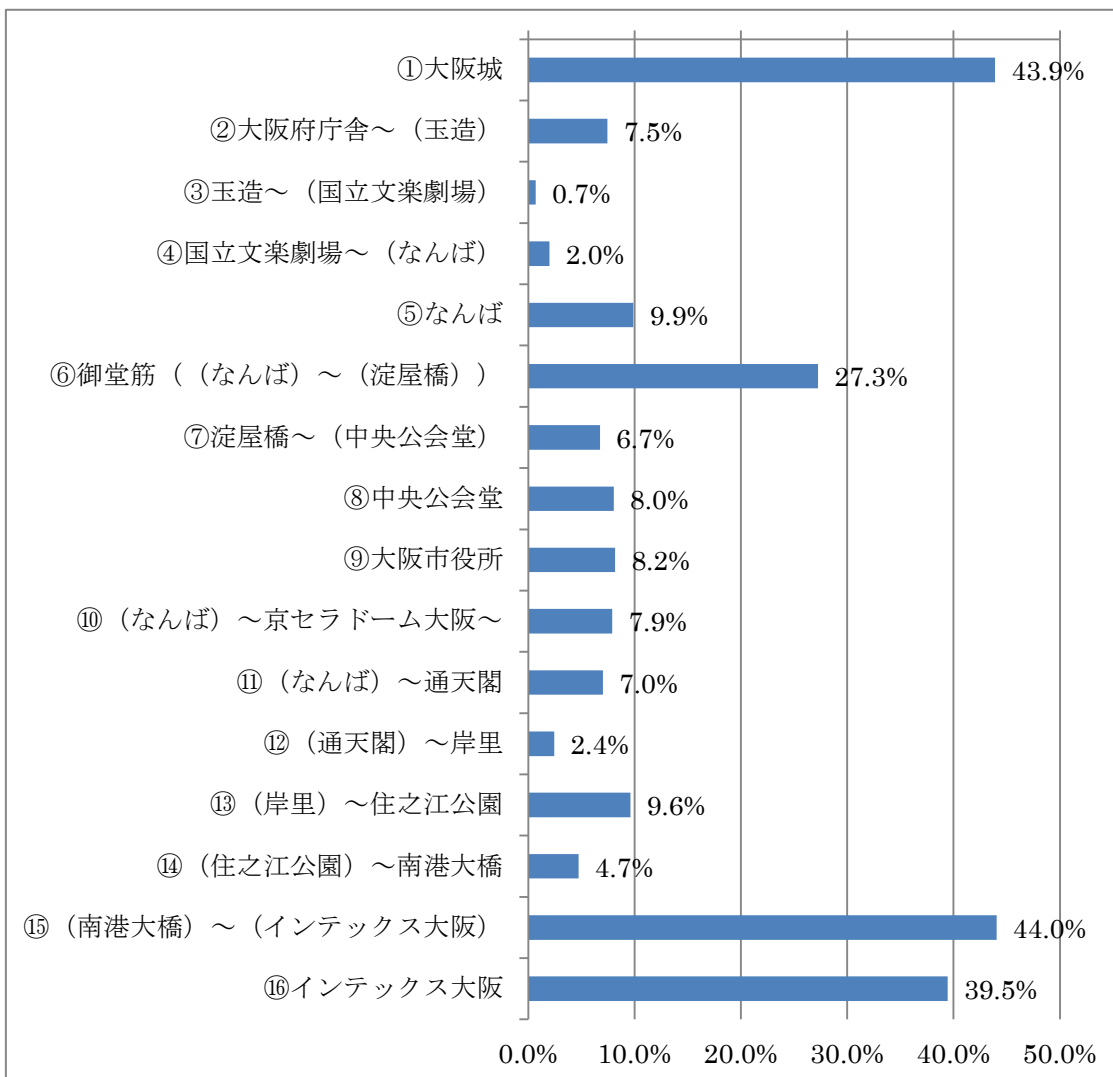
応援の場所を選んだ理由を聞いてみると、「来やすかったから」が 23.7%で、応援場所はアクセスの良さが重要であることがうかがえる。また、「ランナーがよく見える場所だから」という回答は、20.9%で、見やすさは大きな要素となる。また、「すいていると思ったから」(15.4%)、「知り合いがいるから」(14.1%)など、応援のしやすさもその理由としてあがっている。

(8) 何箇所で応援しますか？ あるいはしましたか？



1ヶ所で応援するという回答が 33.1%であった。一方、2ヶ所が 30.8%、3ヶ所が 18.9%で、複数箇所で応援すると答えた人は約7割と多い。これは、大阪マラソンの特徴であり、地下鉄での移動の便利さが可能にしていると考えられる。

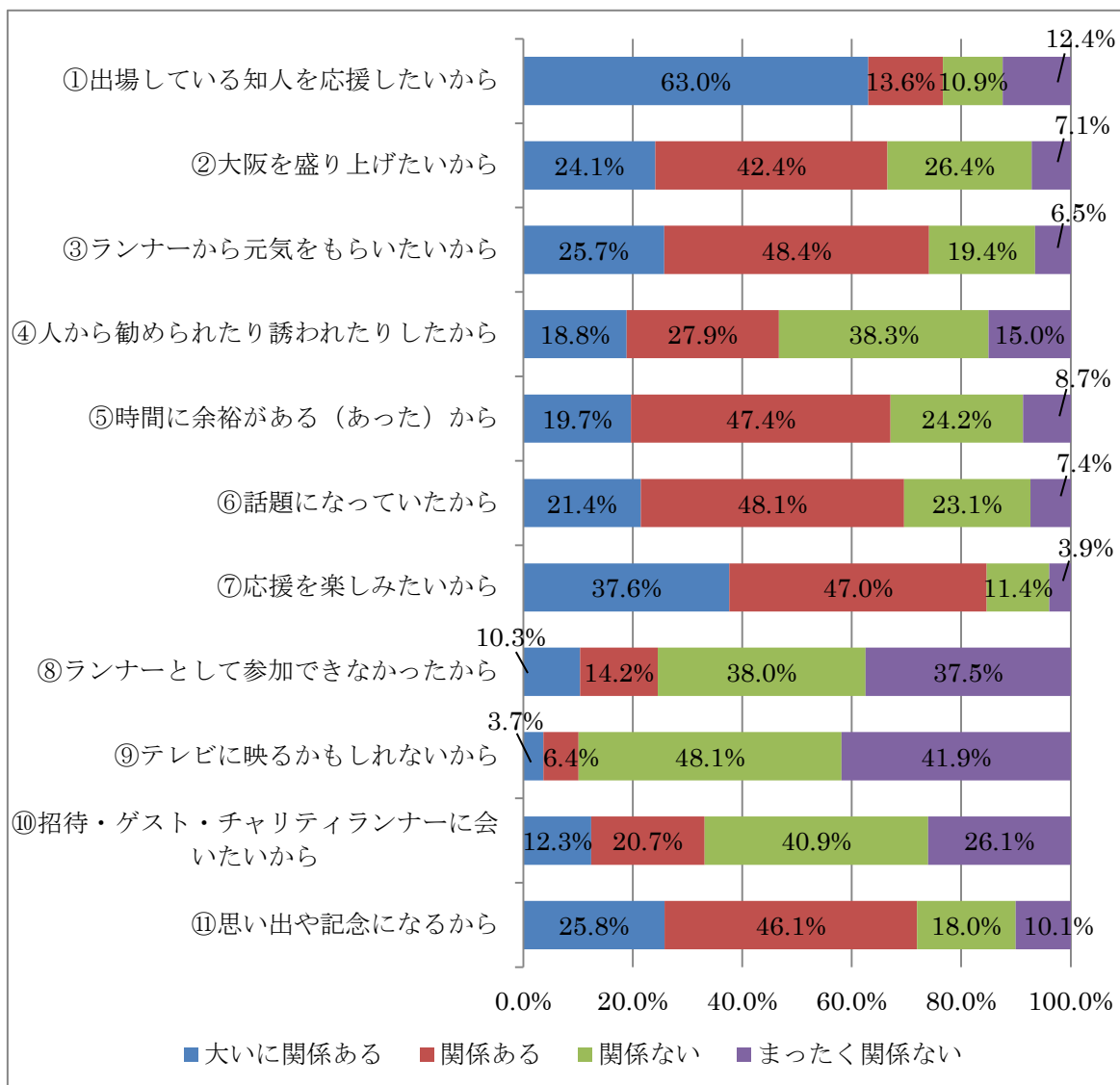
(8)－1 複数の応援場所の場合は、その移動について教えてください。



応援場所は、南港大橋からインテックス大阪のゴール付近が 44.0%、スタート地点である大阪城が 43.9%、ゴールであるインテックス大阪が 39.5%とスタートとゴールに集中している。御堂筋(なんば～淀屋橋)が 27.3%と多いのは、ランナーが往復するコースであり、さらにアクセスが良いので集中すると考えられる。

### 3. 大阪マラソンの応援について

#### (1) あなたが大阪マラソンを応援しようと思われた理由は何ですか？



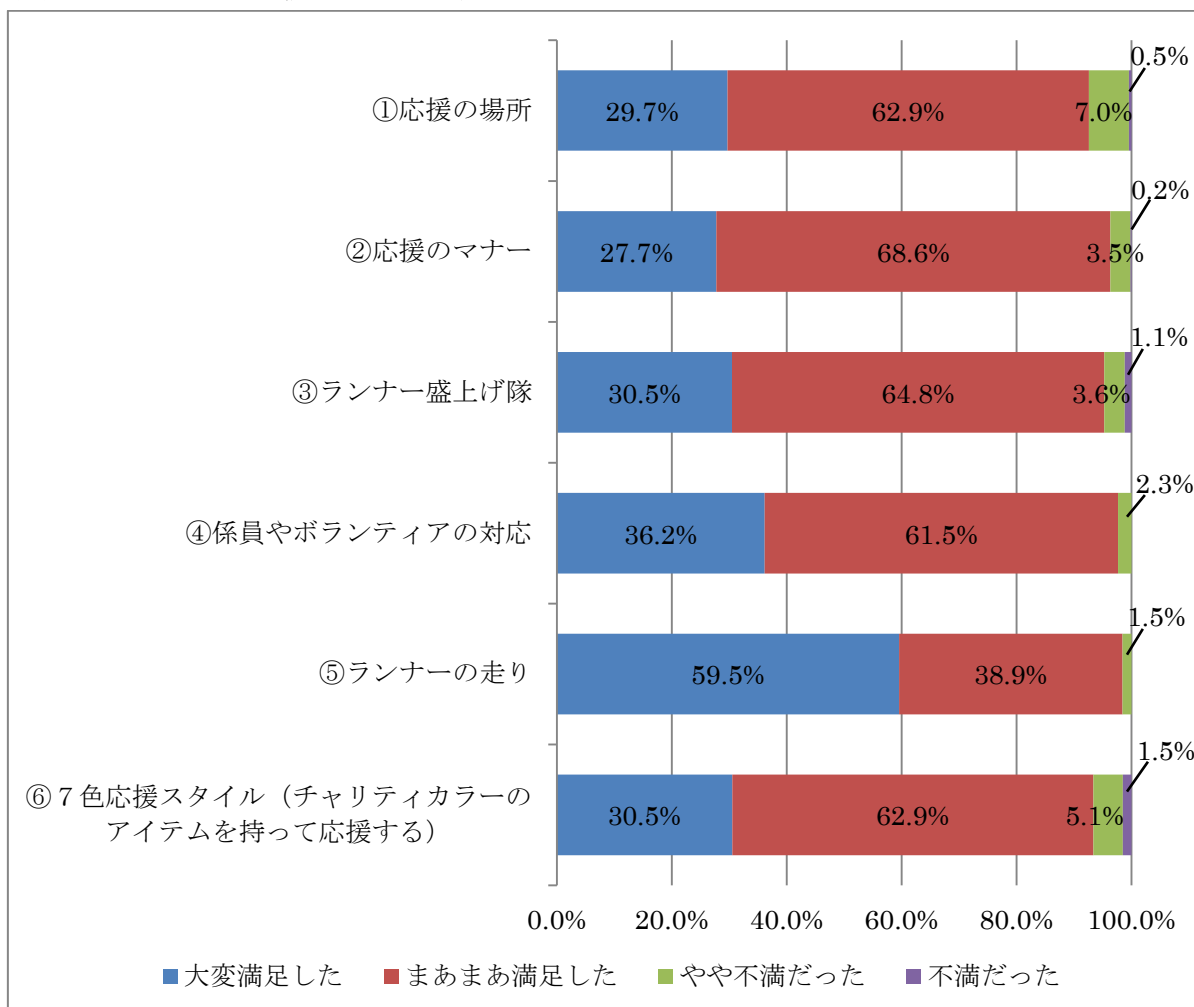
大阪マラソン応援の理由で最も多かったものは「応援を楽しみたいから」で、「大いに関係ある」(37.6%)、「関係ある」(47.0%)を合わせると84.6%(第2回調査84%)の人がそう思っており、ある程度、応援を楽しむ文化が大阪には根付いていると言える。

また、「出場している知人を応援したいから」を応援の理由に挙げている人は、76.6%(第2回調査74%)と家族や知人に応援をするのは一般的な傾向である。

「ランナーから元気をもらいたいから」を応援理由に挙げている人は74.1%(第2回調査76%)であり、ボランティアと同じように観客もランナーから元気をもらいたいと思っている。

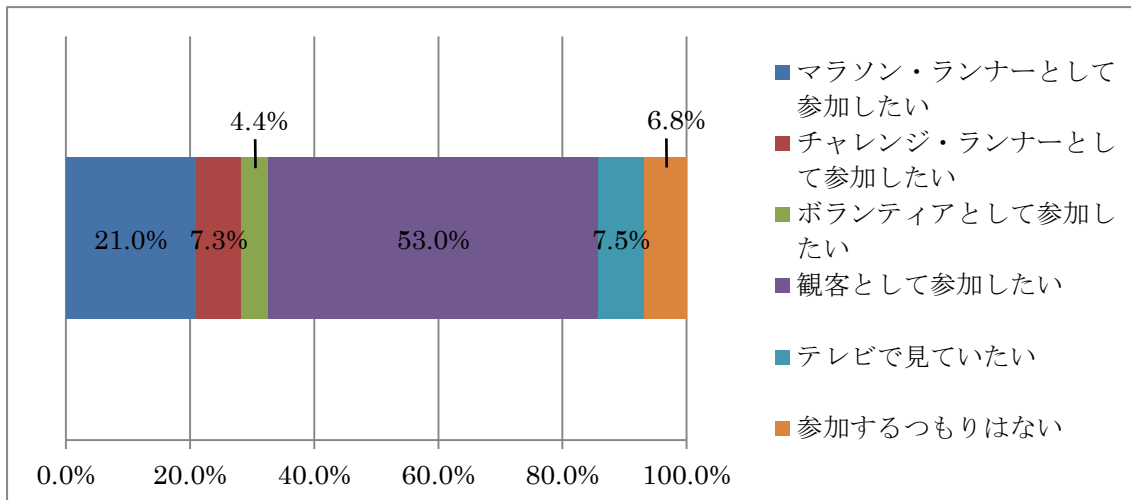
一方、「テレビに映るかもしれないから」は10.1%(第2回調査6%)、「ランナーとして参加できなかったから」は24.5%、「招待・ゲスト・チャリティランナーに会いたいから」は33.0%と少なく、応援理由としては弱い。

## (2) 大阪マラソンの応援をしてどのように感じられましたか？



大阪マラソンで、応援をして最も満足度が高かったのは、「ランナーの走り」で、「大変満足した」(59.5%)、「まあまあ満足した」(38.9%)を合わせて 98.4%(第2回調査 99%)であった。ランナーの走りに感動していると言える。次に満足度が高かったのが、「係員やボランティアの対応」で 97.7%(第2回調査 99%)で、大会関係者のホスピタリティが高く評価されている。他の項目についても満足度は高く、大阪マラソンに観客が、おおむね満足しているという結果であった。

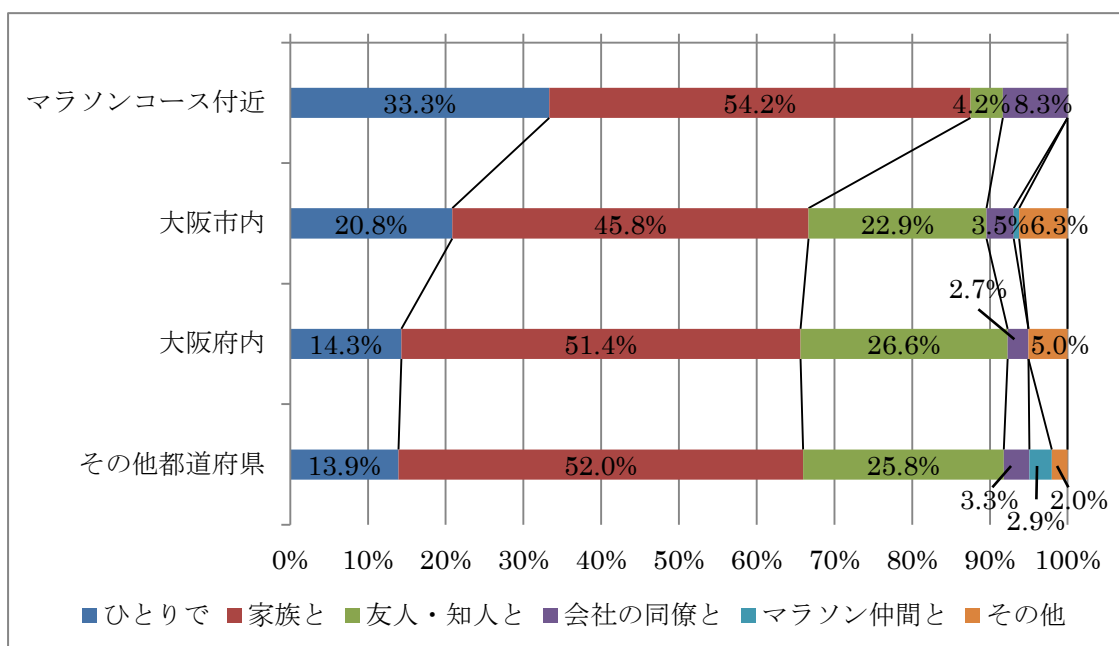
(3) 第4回大阪マラソンにはどのように参加したいと思いますか？



第4回大阪マラソンには、「観客として参加したい」が53.0%で、半数以上である。また、「マラソン・ランナーとして参加したい」(21.0%)、「チャレンジ・ランナーとして参加したい」(7.3%)と、第4回大会では、ランナーとして走ってみたいという転移がみられる。さらに、「ボランティアとして参加したい」(4.4%)という人を含めると、85.7%の人が第4回大阪マラソンに何らかの形で、直接関わりたいと答えていることは特筆すべきことである。

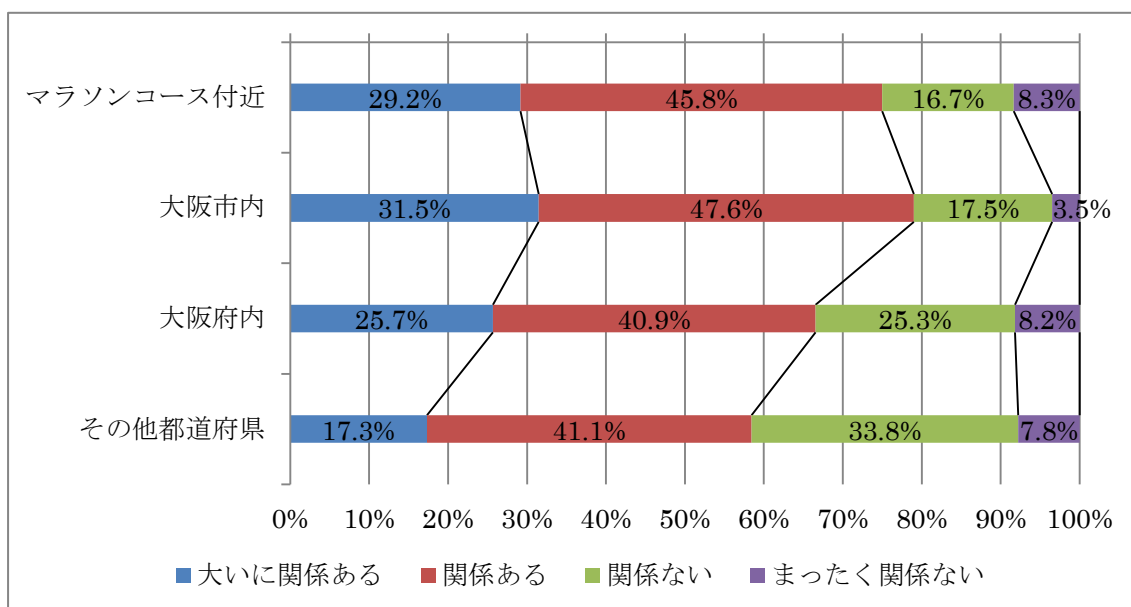
#### 4. クロス分析

##### (1) 居住地と応援の同伴者



マラソンコース付近に住んでいる人は、他の地域からきている人に比べて、ひとりで応援に来る人が多い。

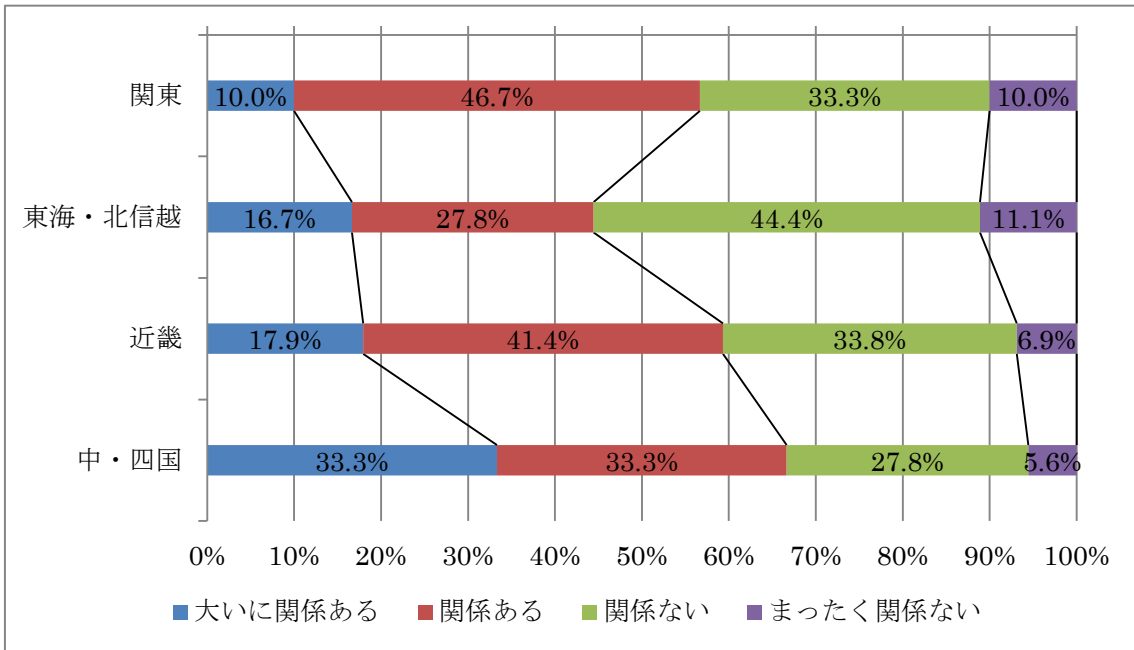
##### (2) 居住地と応援理由(大阪を盛り上げたい)



大阪市内およびマラソンコース付近に住んでいる人ほど、大阪を盛り上げたいと思っている。

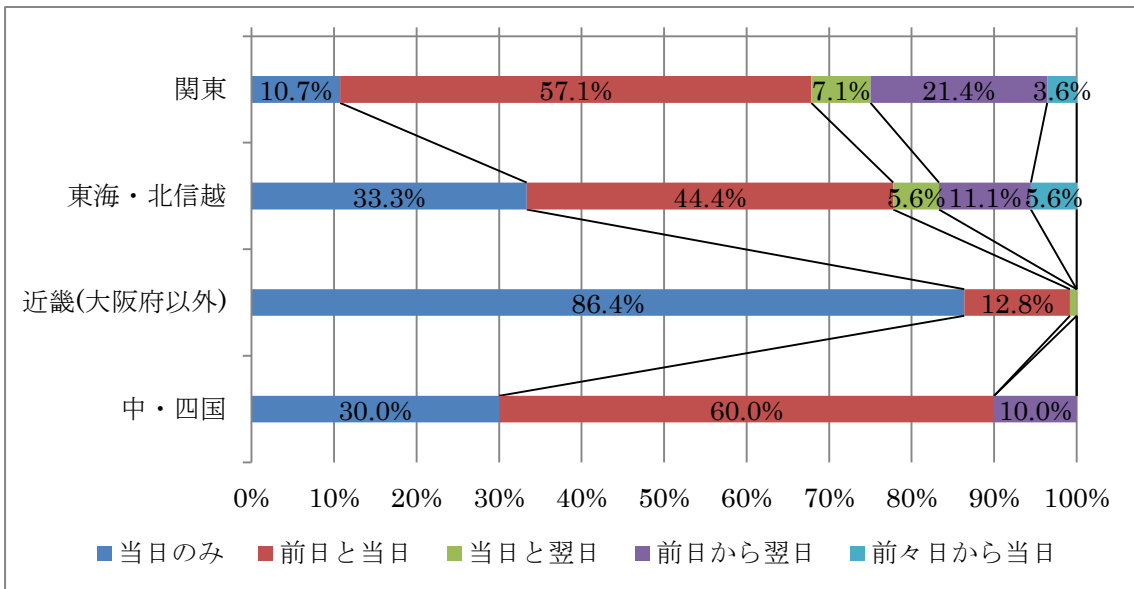


(4)居住地(大阪府以外)と応援理由(大阪を盛り上げたい)



近畿より、中四国から応援に来た人の方が、大阪を盛り上げに来ていると言える。また、関東からきている人も、大阪を盛り上げるために応援に来ている人が多いと言える。

(5)居住地(大阪府以外)と大阪での滞在日数



大阪マラソンに応援しに来ている人は、近畿圏以外では、前日から当日の1泊2日が多いようである。

### 第3回大阪マラソン 観客意識調査（自由記述：抜粋）

回答者数：142

#### <感想及び要望>

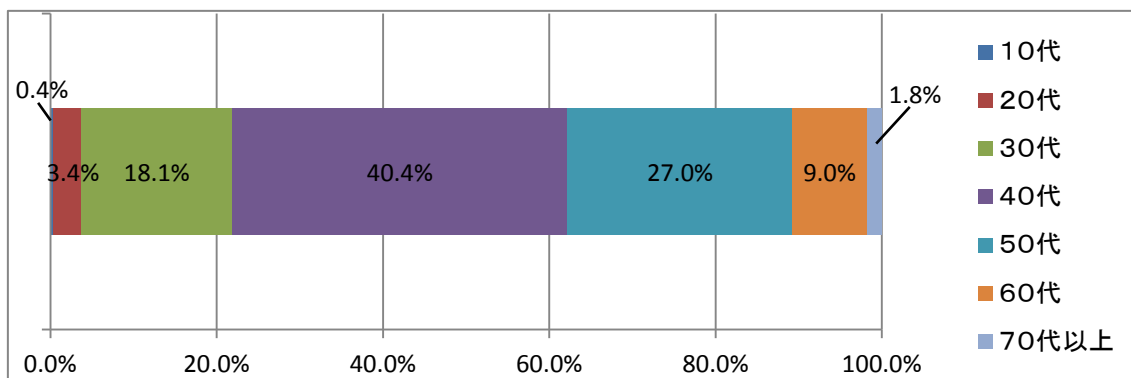
年代	性別	意見
40代	女性	御堂筋の側道まで応援できるようにしてほしい
30代	男性	大阪愛を感じる大会、非常に感動的
10代	女性	ランナーズアイがすごくいいと思う(応援しやすい)
60代	女性	大阪を世界に発信してください。大阪大好き。
30代	男性	交通規制、特に人や自転車の横断に対する案内が足りず、困っている方が多く見られました。イベントはイベントとしていいですが、普通の市民生活を行なっている方々への配慮をもっと増やしてあげて欲しいと思います。
40代	女性	見ている人のマナー(緑地に踏み込んだり)よくなくても注意がないのはどうかと思う。
70代	男性	府民の心意気を盛り上げる為に応援しにきますからよろしく頑張ってください。
40代	女性	物産展があればうれしかった
30代	女性	ボランティアの人達がテキパキと動いてくれたので、気持ちよく参加できました。
70代	男性	会社のOBで応援にきています。たくさんの企業がもっと出場したいものです。
30代	男性	沿道の方にも応援アイテムがあれば、配って欲しい(全地点で)
30代	女性	「走っとrun」は通過時刻を反映して欲しい。大会の案内パンフレットには駅名と地図を細かく記載して欲しい(路線図と地図を一緒に載せて欲しい)。駅周辺の詳細図がほしい。
70代	男性	もっともっと世界的にも有名になり、世界一のマラソンランナーが出てこれる大会になってもらいたいと思って、来年の第四回大会からは自分自身もボランティア関係で此の大会に関われたらと考えております。
70代	男性	600円の地下鉄の1日乗り放題は助かった。
50代	男性	チャリティーランナーをもう少し増やしてもいい。
50代	女性	ゴール前の選手の皆様がわかるようにしてほしいです。知人がゴールしたのかわからないです。
30代	女性	応援&観光スポットを教えてほしい。観客のマナーの向上。

## IV. 一般意識調査 2013

回答者数:4173

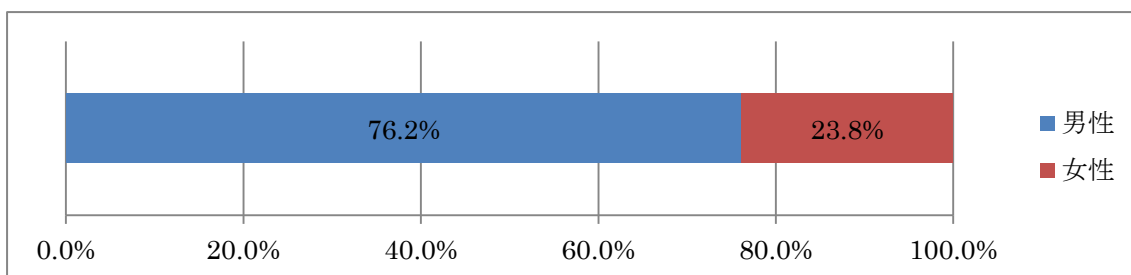
### 1. あなた自身について

#### (1) 年齢(年代)



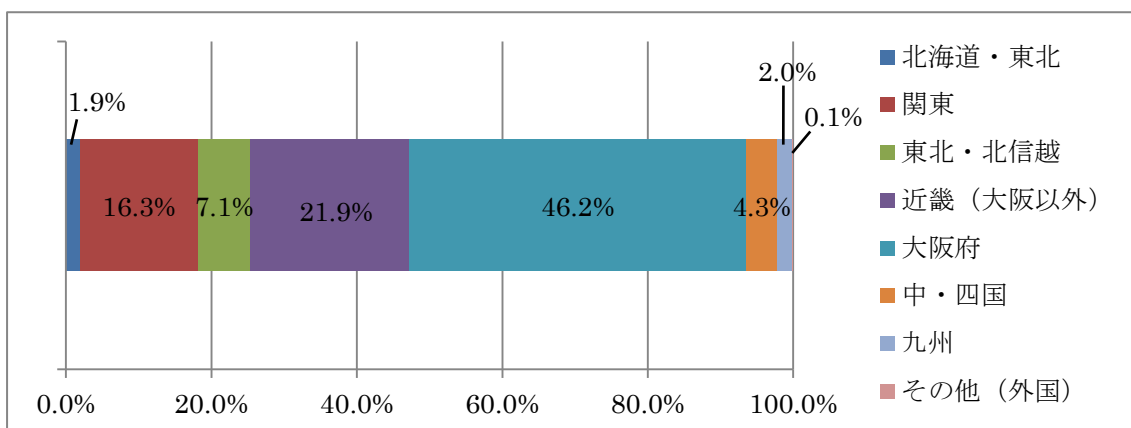
今回、一般意識調査に協力していただいた方は40代が40.4%で最も多く、次に50代が27.0%で、30代が18.1%と続いている。

#### (2) 性別



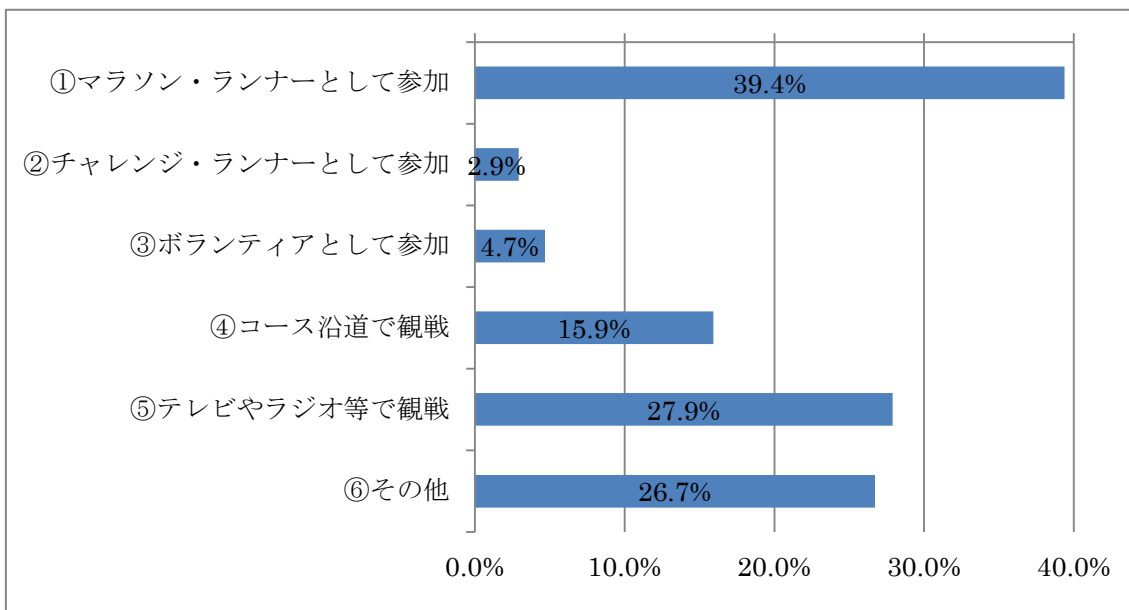
性別では、男性が76.2%と大半を占めている。女性は23.8%であった。

#### (3) お住まいの都道府県



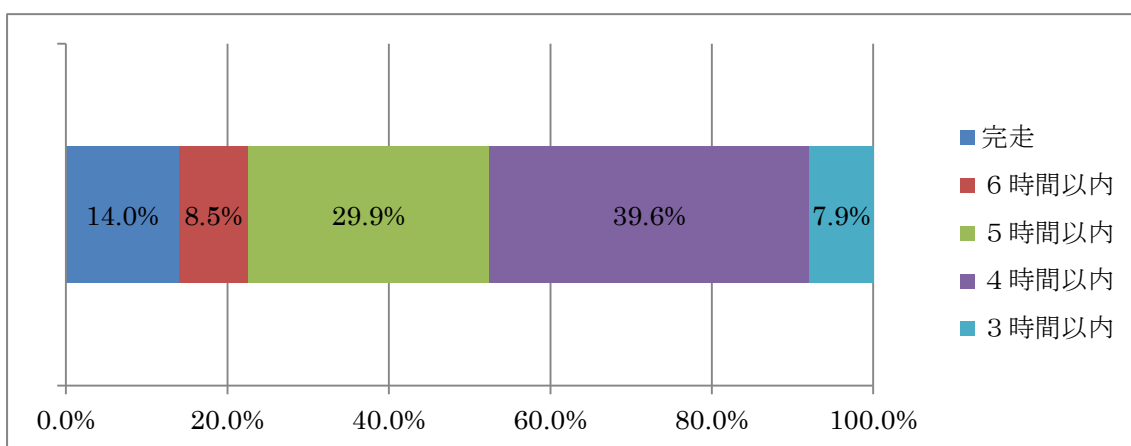
居住地を尋ねたところ、大阪府の46.2%を加えると、近畿圏が6割以上を占めた。次に、関東地方が16.3%で、東北・北信越地方が7.1%と続いている。

(4) これまでの大阪マラソンへの参加について教えてください。【複数回答可】



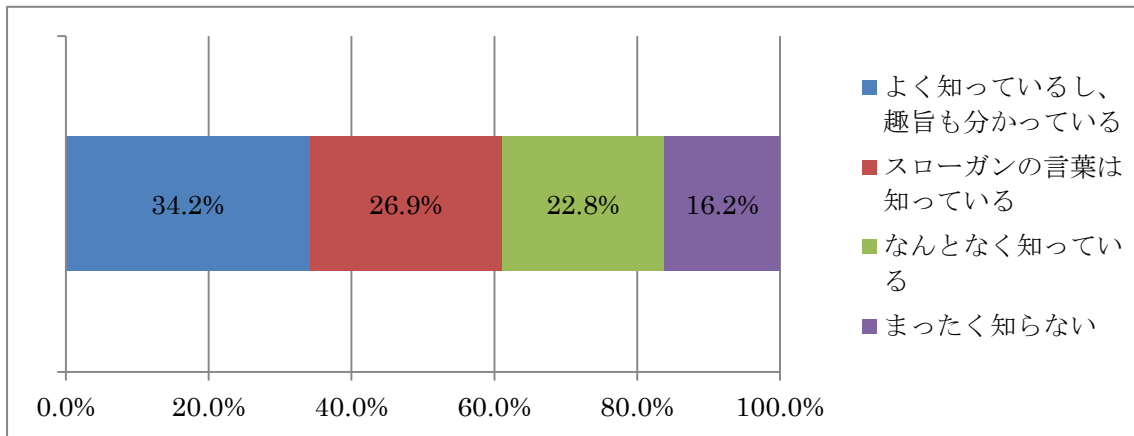
マラソン・ランナーとして参加した人が 39.4%と最多であった。次にテレビやラジオ等で観戦した人が 27.9%で、その関心の高さがうかがえる。コース沿道で観戦した人が 15.9%で、ボランティアとして参加した人が 4.7%であった。

(5) あなたのマラソンの今の目標タイムはどのぐらいですか？



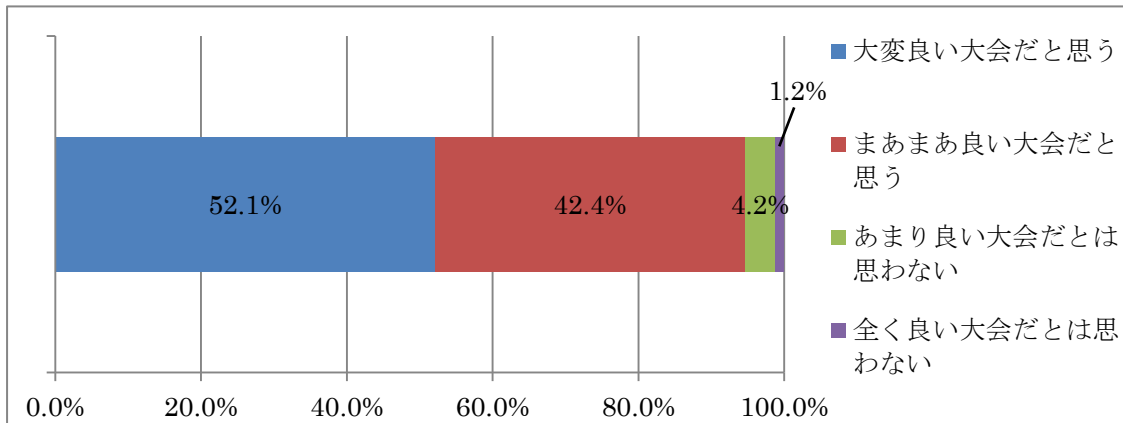
マラソンのレベルを聞いてみた。4時間以内が 39.6%と最も多く、5時間以内が 29.9%で次に多く、この時間帯で 7割近くになり、ある程度のマラソン経験者が回答していると言える。

(6) あなたは、大阪マラソンの大会スローガン「みんなでかける虹。」をご存知ですか？



今回の大阪マラソンのスローガン「みんなでかける虹」について聞いてみた。「よく知っているし、趣旨も分かっている」という人が 34.2%、「スローガンの言葉は知っている」という人が 26.9%と、6 割を超える人がスローガンを認識している。しかしその一方で、「なんとなく知っている」という人が 22.8%、「まったく知らない」という人が 16.2%と 4 割近くの人が大会の趣旨を理解していない。

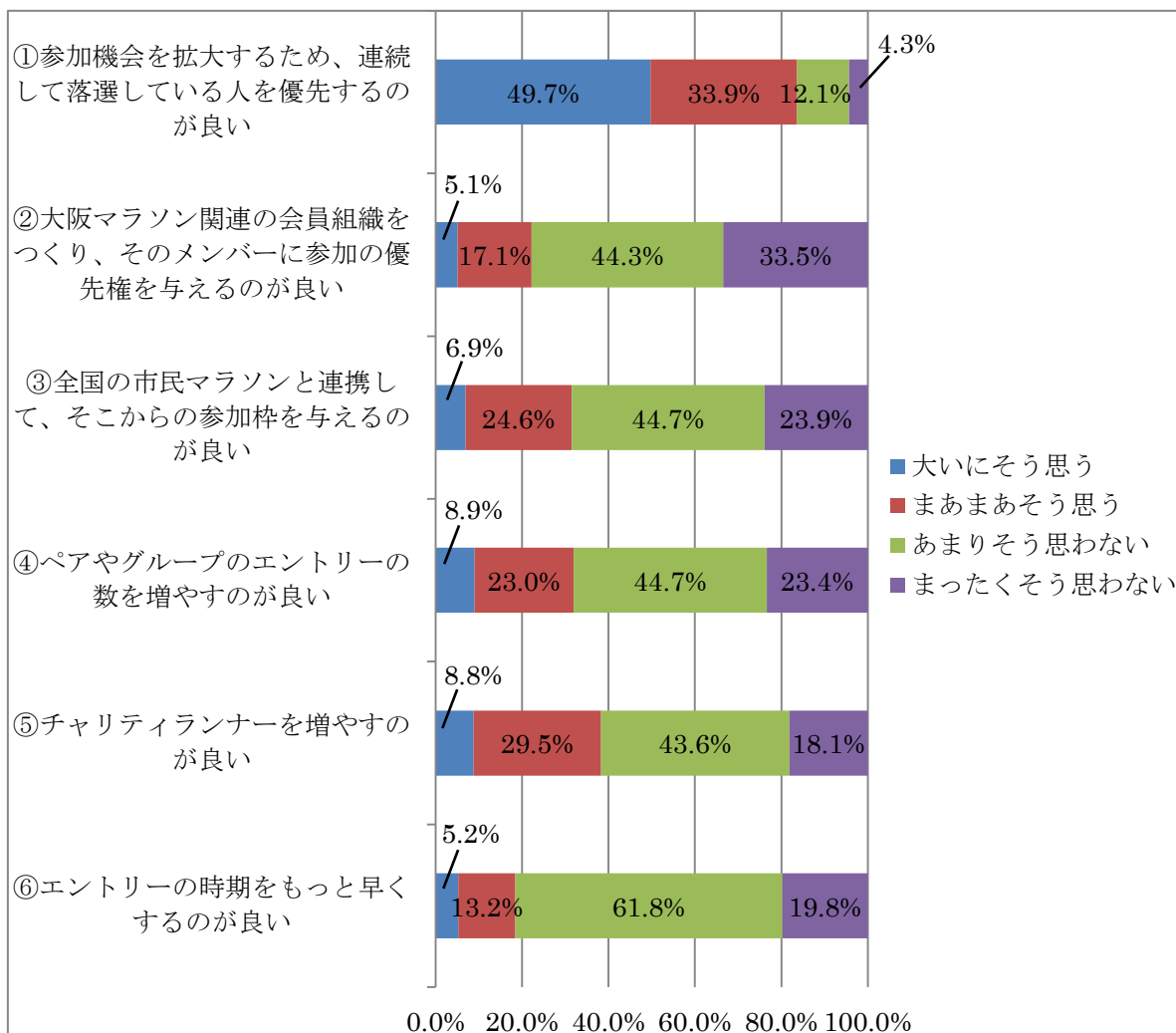
(7) 大阪マラソンについて全体的にどのようなイメージを持っていますか



大阪マラソンに対する全体的なイメージについて聞いてみた。「大変良い大会だと思う」と回答した人が 52.1%、「まあまあ良い大会だと思う」と回答した人が 42.4%と 9 割以上の方がこの大会を高く評価しているといえる。

## 2. 大会運営について

### (1) エントリー、出走枠について

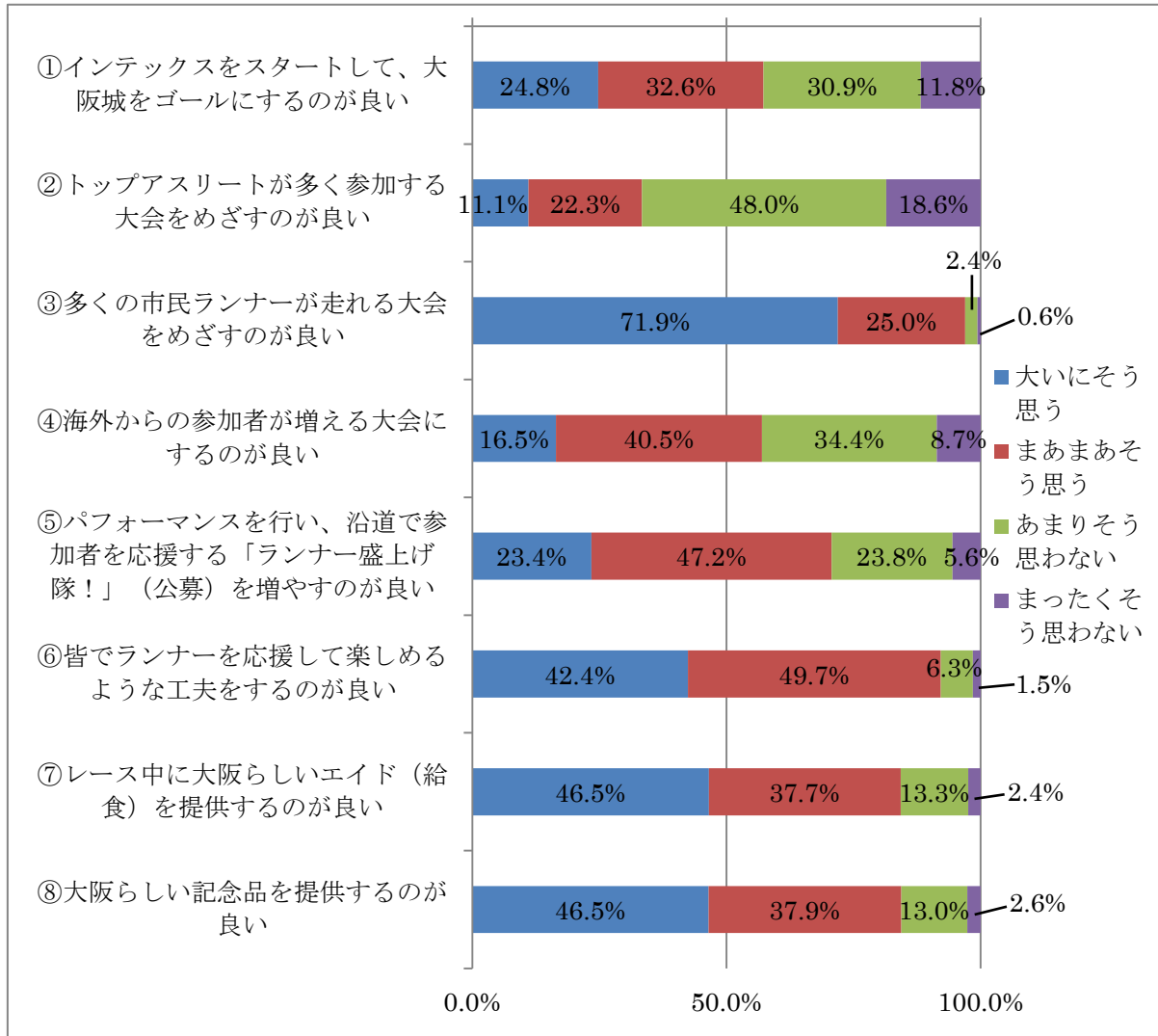


エントリー、出走枠について尋ねたところ「参加機会を拡大するために、連続して落選している人を優先するのが良い」という項目に 83.6%の人が「大いにそう思う」(49.7%)もしくは「まあまあそう思う」(33.9%)と回答した。本調査の回答者のうち 57.7%の人は、ランナーとして大阪マラソンへの参加が未経験(設問くあなた自身について>4参照)なので、出場したいが当選しなかった人の意見が強いと推察される。

また、「チャリティランナーを増やすのが良い」という項目に対しては、約 4 割の人が支持した。ただ、「他の市民マラソンからの参加枠」や「ペア・グループの参加枠」の増加については、3 割程度の賛成にとどまった。さらに、会員制による参加の特典では、8 割の人が反対の意見を持っていた。

一方で、エントリーの時期に関しては「エントリーの時期をもっと早くするのが良い」という項目に対し、81.6%の人が「あまりそう思わない」(61.8%)もしくは「まったくそう思わない」(19.8%)と答えた。

## (2) コース、大会運営について

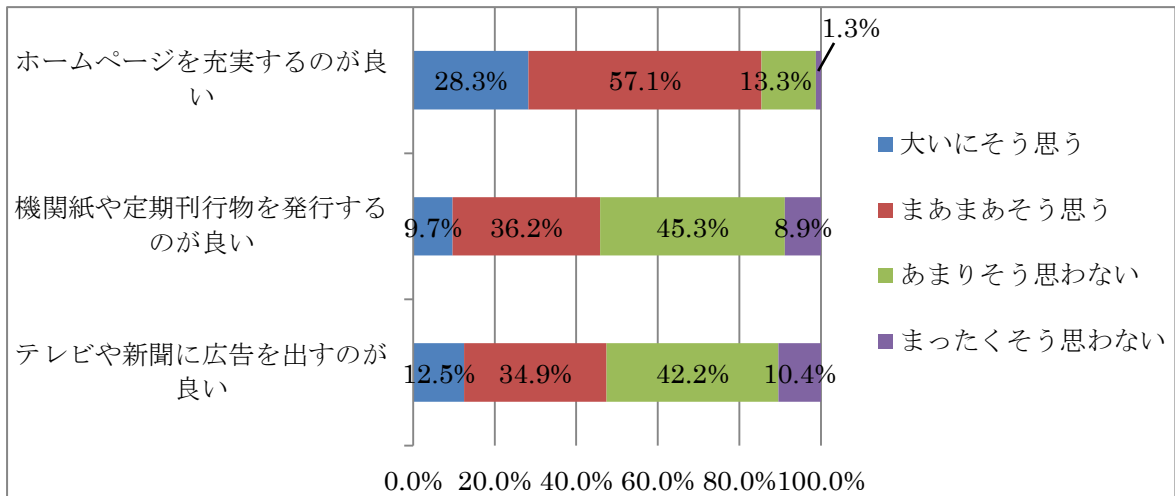


コース、大会運営についての項目で「大いにそう思う」「まあまあそう思う」の合計が最も多かったのは「多くの市民ランナーが走れる大会をめざすのが良い」で 96.9%だった。2番目に多かったのは「皆でランナーを応援して楽しめるような工夫をするのが良い」(92.1%)であり、ランナーのための大会づくりに対して多くの人が賛同しているようだ。続いて「大阪らしい記念品を提供するのが良い」(84.4%)、「レース中に大阪らしいエイド(給食)を提供するのが良い」(84.2%)という項目が高く、大阪らしさをアピールする取り組みにも期待している。

一方、「選考レースとしてトップアスリートが参加する大会」を目指すことについては、66.6%の人が否定的であった。

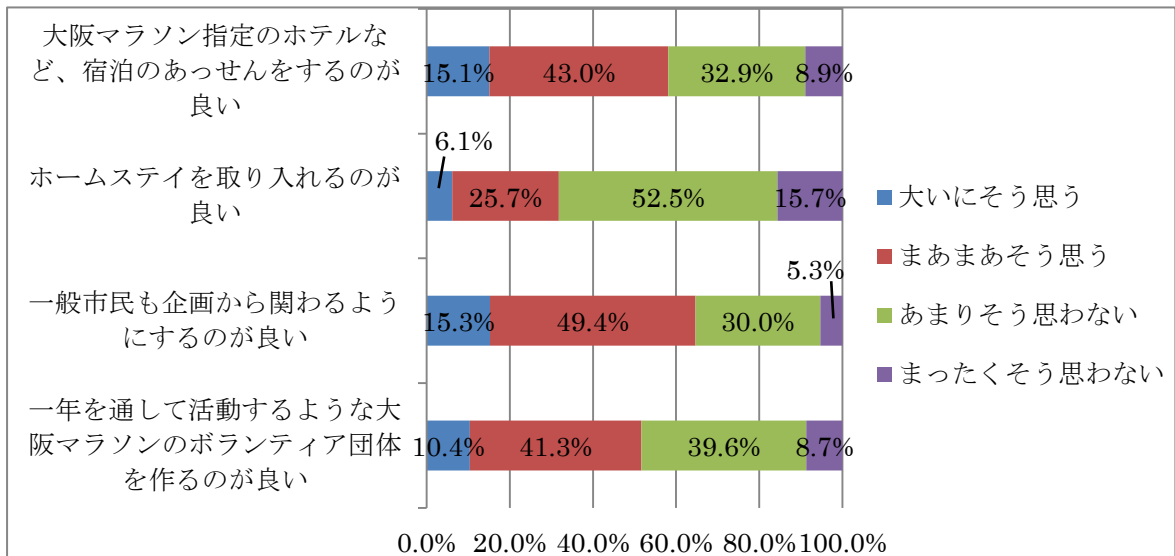
さらに、コースについては、「インテックスをスタートして、大阪城をゴールにするのが良い」が 57.4%の人に支持されており、過半数の人がコースの変更を望んでいる。

### (3) 大会広報について



大会広報で肯定的な意見が最も多かったのは「ホームページを充実するのが良い」で「大いにそう思う」(28.3%)、「まあまあそう思う」(57.1%)合わせて 85.4%の人がホームページの充実を求めているという結果になった。その他 2 項目については、肯定的意見と否定的意見が約半数ずつとなり、多くの人がインターネットによる情報発信を望んでいるという結果であった。

### (4) その他

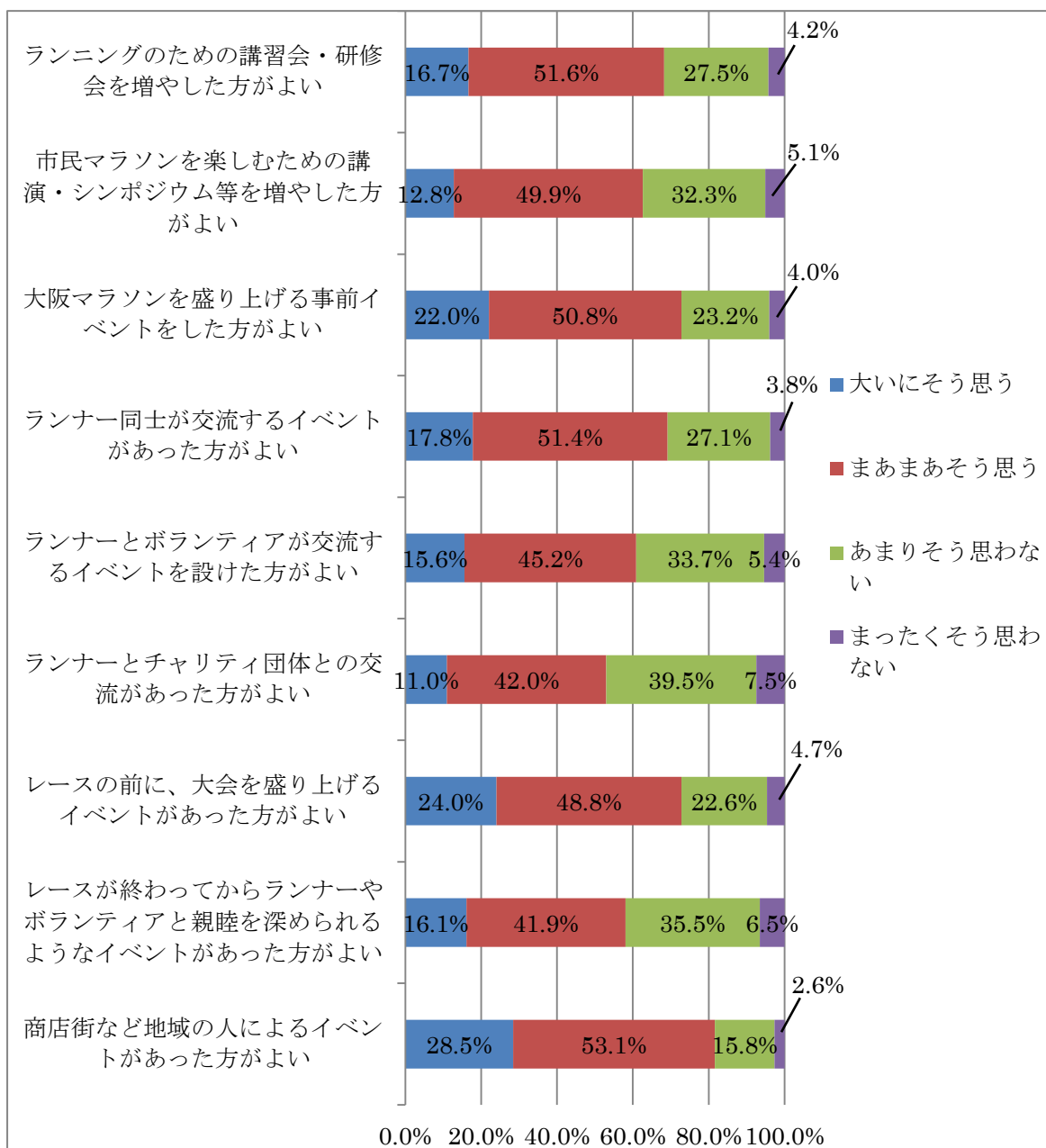


「一般市民も企画から関わる」ことについては、64.7%の人が賛同している。また、「大阪マラソンのボランティアを組織化する」ことについても 51.7%の人が賛同している。

宿泊については、「指定ホテルの斡旋」には 58.1%の人が賛同しているが、「ホームステイ」については 31.8%の人しか賛同していない。



### 3. イベント企画について

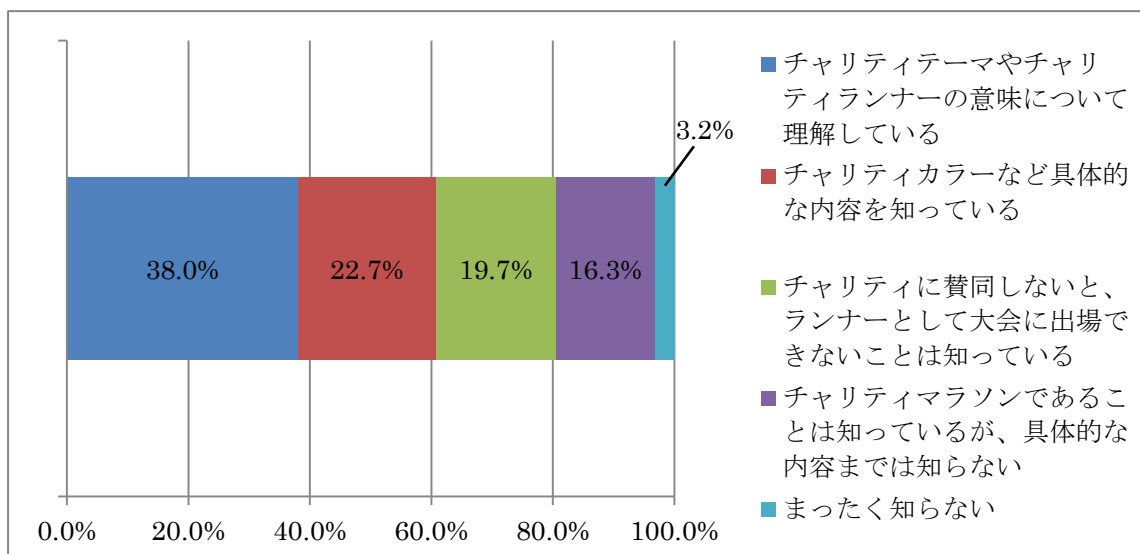


イベント企画について最も肯定的な意見が多かったのは、「商店街など地域の人によるイベントがあった方がよい」で、「大いにそう思う」(28.5%)「まあまあそう思う」(53.1%)を合わせて 81.6%の人が支持しており、大阪マラソンに大阪の地域性を取り入れるのがよいとしている。「レースの前に、大会を盛り上げるイベントがあった方がよい」(72.8%)、「大阪マラソンを盛り上げる事前イベントをした方がよい」(72.8%)を支持しており、盛り上げイベントを望んでいる。

また、「ランナー同士の交流」(69.2%)「ボランティアとの交流」(60.8%)、「チャリティ団体との交流」(53.0%)と交流イベントも望まれている。

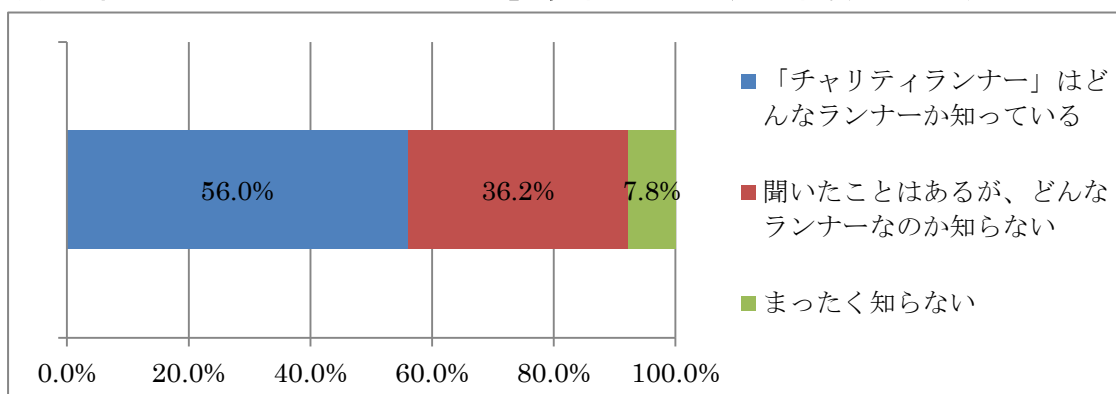
#### 4. チャリティについて

##### (1) 「大阪マラソン」は「チャリティマラソン」であることについてどの程度ご存知ですか？



大阪マラソンの特徴の一つである「チャリティ」の理解度に関して、具体的内容を知っている人が5割近くあった。そのうちテーマやチャリティランナーの意味について理解していると回答した人の割合が38%あった。また、「チャリティに賛同しないと、ランナーとして大会に出場できないことは知っている」と回答した人は19.7%で、「具体的な内容までは知らない」と回答した人は16.3%であった。「まったく知らない」と回答した人は3.2%であることから、チャリティマラソンとしての認知度は比較的高い傾向がみられた。

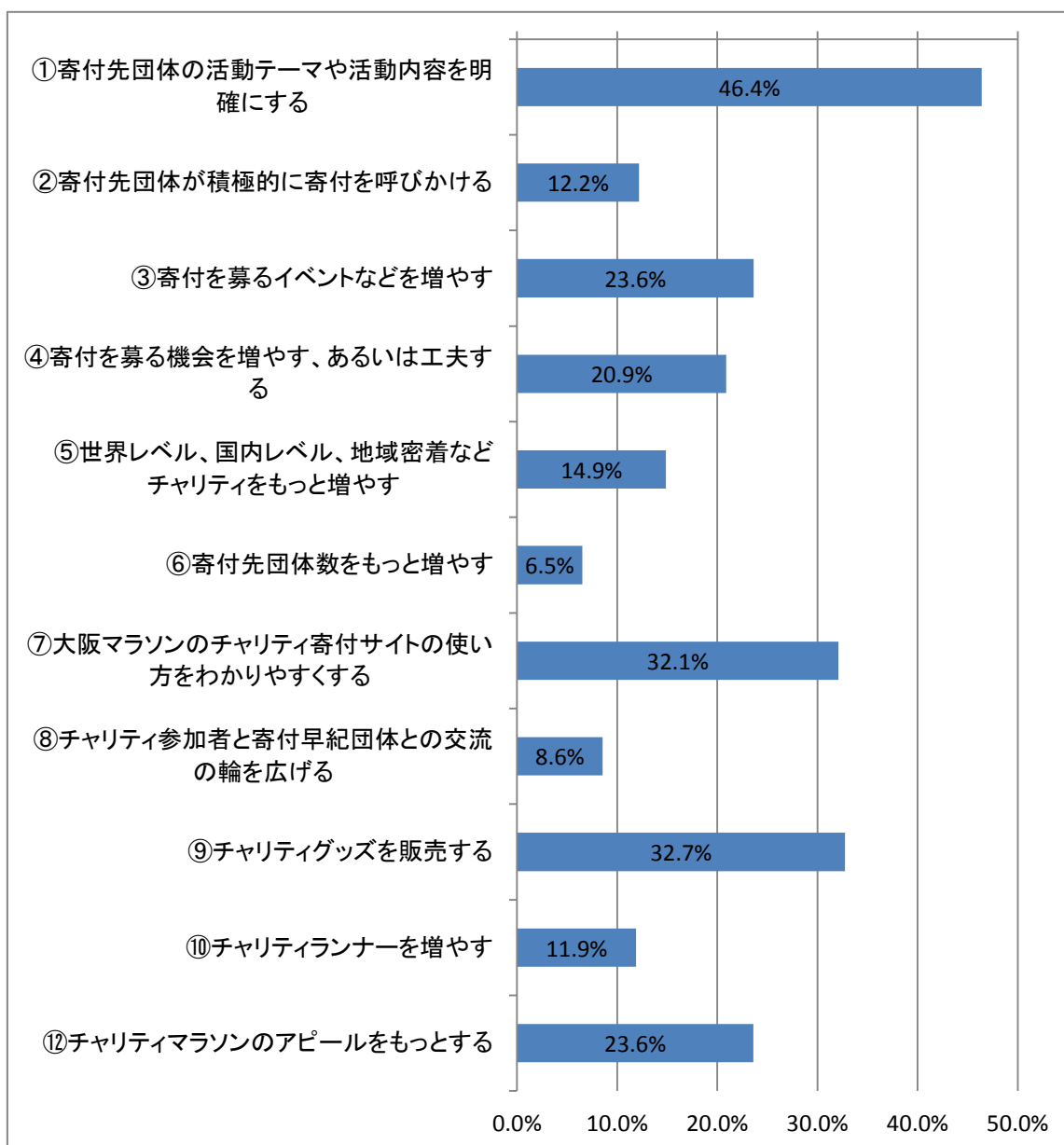
##### (2) 第3回大会から「チャリティランナー」を募集しましたが、どの程度ご存知ですか？



チャリティランナーの認知度としては、知っていると回答した割合は56%と半分を超える高い割合ではある。しかし、「聞いたことはあるがどんなランナーなのか知らない」と回答した人は36.2%あり、チャリティランナーについての認知度を高めていく必要がある。

(3) もっと多くの方にチャリティに参加してもらうにはどうしたらいいでしょうか？

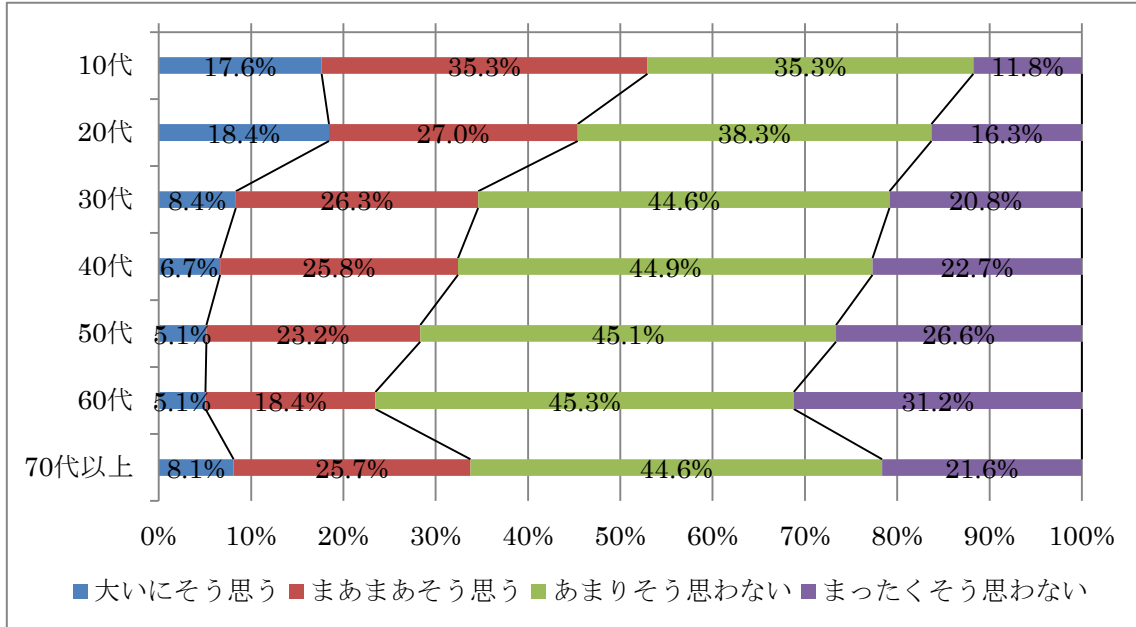
(3つ以内でお答えください)



もっと多くの方にチャリティに参加してもらうにはどうしたらよいかという問いに対して、「寄付先団体の活動テーマや活動内容を明確にする」が 46.4%と最も多く、チャリティの行先の活動をもっと知りたいという要望の現れであると言える。次に「チャリティグッズを販売する」が 32.7%あり、何らかのチャリティの証明が必要である。また「大阪マラソンのチャリティ寄付サイトの使い方をわかりやすくする」が 32.1%とチャリティ方法の簡便化を望んでいる。さらに、「寄付を募るイベントを増やす」(23.6%)「チャリティマラソンのアピール」(23.6%)といった広報活動の必要性を示唆している。

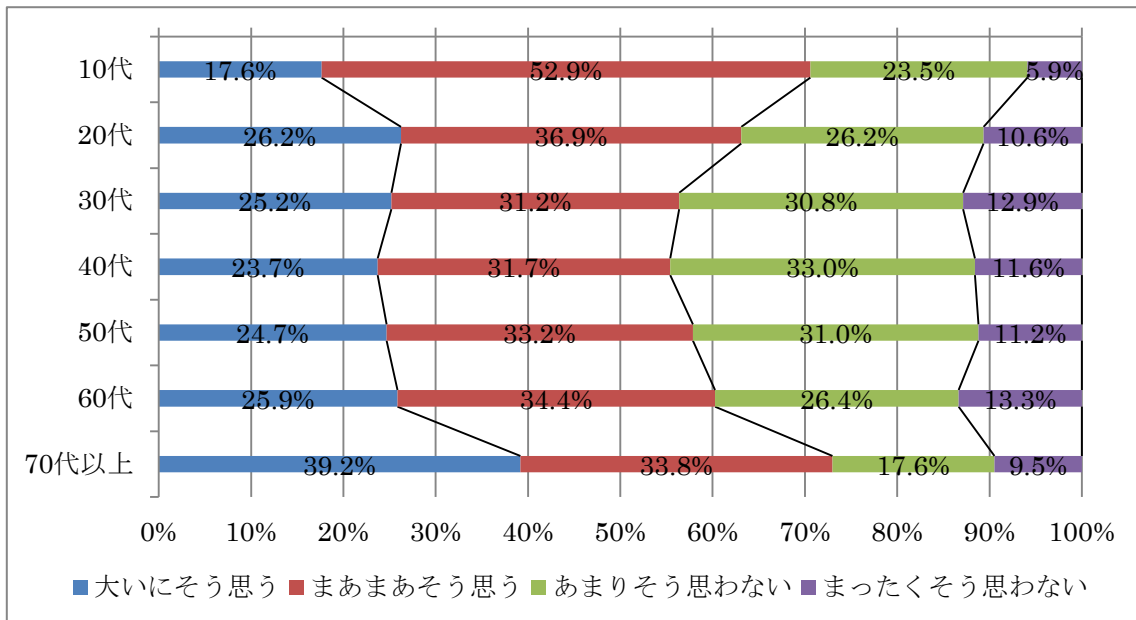
## 5. クロス分析

### (1) 年齢と大会運営(全国の市民マラソンとの連携)



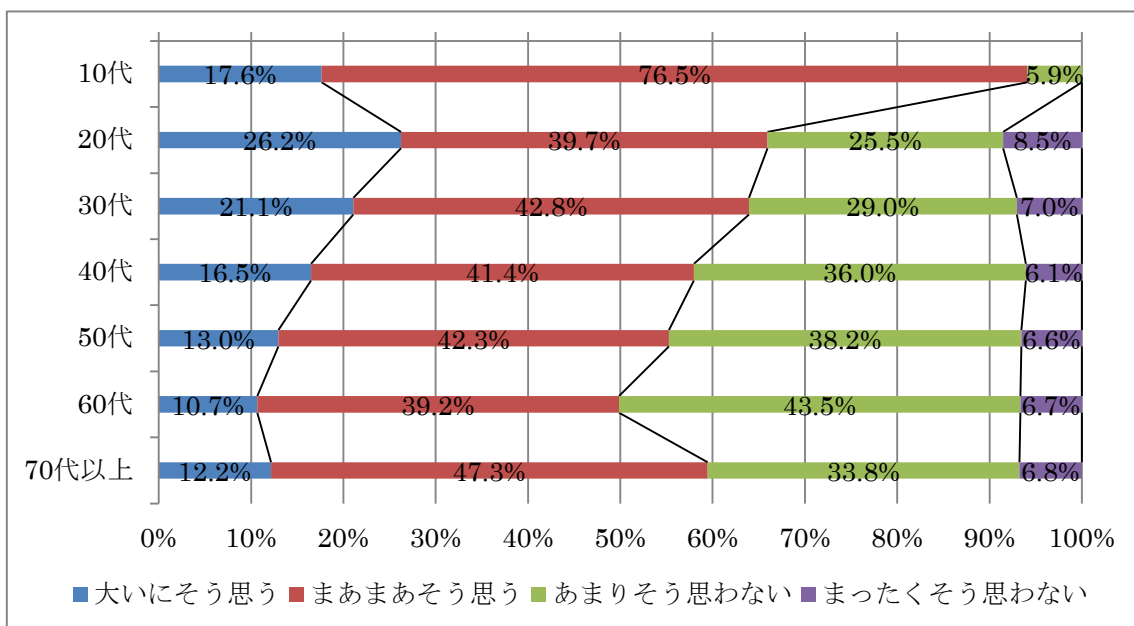
年齢層が若くなるほど、大会運営で他の全国の市民マラソンと連携して市民マラソンのメッカになったらいいと思いつている。

### (2) 年齢と大会運営(大阪城をゴールにしたほうが良い)



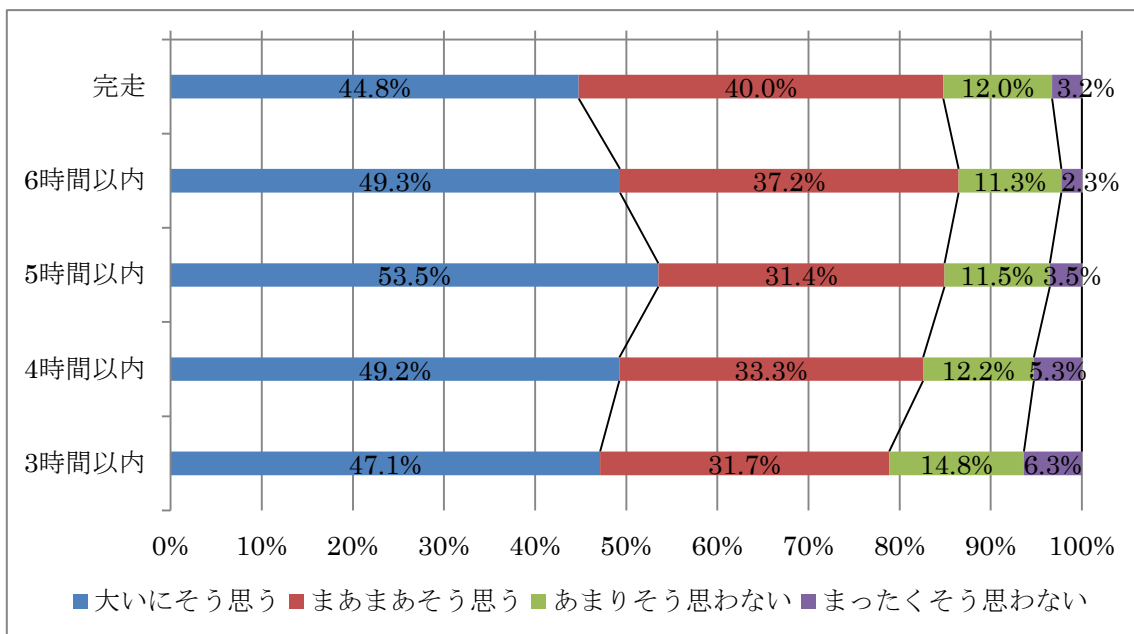
30代から50代の中年層は、インテックス大阪ではなく、大阪城をゴールにすることを望んでいる。

(3) 年齢とイベント企画(レース後にランナーやボランティアとの親睦があった方がよい)



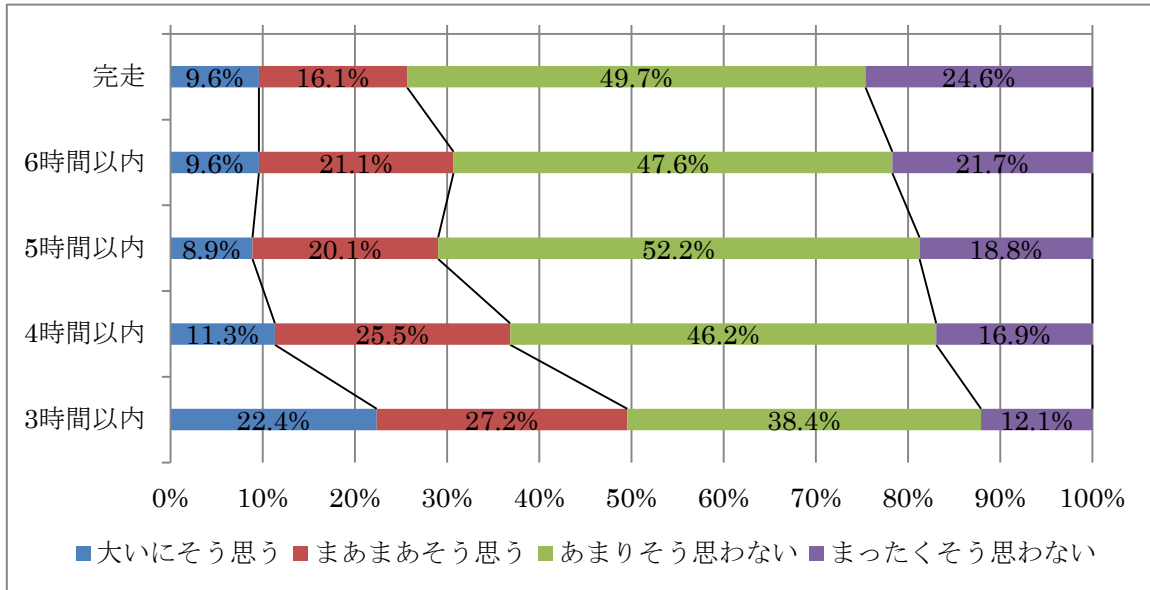
年齢層が低いほど、レース後にランナー同士やボランティアとの親睦を深めるイベントがあった方がよいとしている。

(4) マラソンの目標タイムと大会運営(落選ランナーの優先したほうがよい)



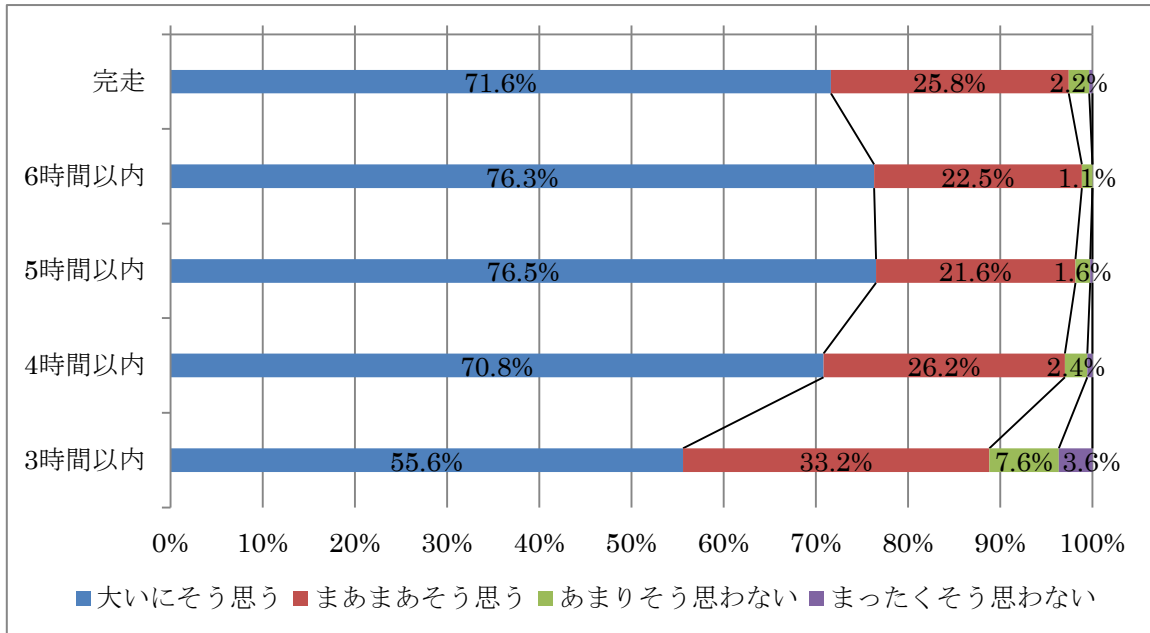
マラソンの目標タイムが速い人、つまり競技性志向の強い人ほど、落選ランナーを優先的に走れるようにした方がよいと考えている。

(5) マラソンの目標タイムと大会運営(競技性を高めたほうが良い)



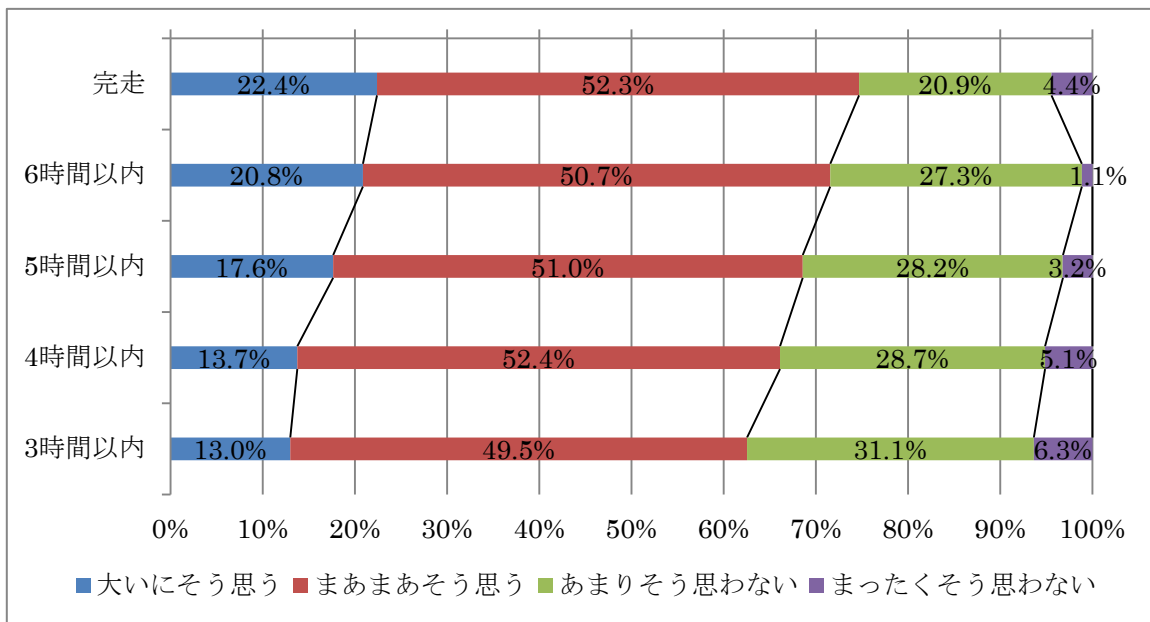
マラソンの目標タイムが速い人、つまり競技志向の強い人ほど、大会の競技性を高めたほうが良いと考えている。

(6) マラソンの目標タイムと大会運営(多くの市民ランナーが走れる大会が良い)



マラソンの目標タイムで4時間から6時間の人は、大会が多くの市民ランナーが走れる大会が良いとしている。

(7) マラソンの目標タイムとイベント企画(ランニングに関する講習会を増やしたほうが良い)



目標タイムの遅い人ほど、ランニングに関する講習会を増やした方がよいと考えている。

## 2013年度 大阪マラソン一般意識調査（自由記述：抜粋）

回答者数：2060

### 1) 大会運営に関する意見

#### <コース>

- インテックスをスタートして大阪城（ゴール）を目指す方が、走る側としては後半のスピードが落ちて苦しい時に、多くの人の声援と周りの景色が変わる事によって、気持ちの切り替えとヤル気が出ると考えます。
- ゴールは帰りにくい大阪の端ではなく中心にするべき。
- コースに万博公園を入れるのは難しいのでしょうか？
- 出発地点を市内数ヶ所に持ちゴール地点を一ヶ所にして市内全域で走り回る。

#### <仮装>

- フランスのマラソンに何度か出ていますが「できる限り仮装して参加すること！」と書かれてて、仮装のコンテストなんかもあって、おもしろいなと思います。お笑いの聖地・大阪のマラソンなんですから、あえて「仮装OK」にしてしまったらどうでしょうか？フランスのメドックマラソンは優勝者に体重分のワインが商品として与えられますので、大阪だったら体重分の『たこ焼き』とか？
- 仮装を楽しむ人も多いので、仮装枠を別に設けて、速さではなく仮装大賞のような賞を作るのも大阪独自色になるのでは。

#### <宿泊>

- 宿泊に関しては遠方から来る参加者は交通費もそれなりにかかり、出費が重なってしまうので、スタートから近い場所での宿泊施設の枠を確保し、県外からの参加者向けに斡旋してはいかがでしょうか。出来るならば、宿泊＋交通手段の確保がセットになった商品があればなお良い。
- 全国から宿泊してまで参加してくださるランナーさんに、マラソン前日か当日に使える大阪グルメクーポンつき宿泊とかあったら面白いと思います。

#### <ランナーの選出>

- 落選者に当選確率を高くする。（最も多い）
- 参加ランナーの募集人数を増やす。（多い）
- ニューヨークシティマラソンのように、所定回連続して落選した人には走る権利を与えるべきだし、当選した人でも所定の料金を払うことで走る権利を延期できるようにすべきだ。また、格式を高めるためにも、ボストンマラソンのように、市民ランナーレベルで年齢別の持ちタイムによる優先枠を設けるべきだ。
- 全国のマラソンランナーの方々には大阪の街＋観光名所＋文化を魅了してもらうためには地元枠はもちろんですが、地域枠（九州・四国・関東・東北・北海道等々）を設けたらどうか？



- 全国の市民マラソンと連携し、参加枠を各マラソン相互で持ち合うことができればよいと思います。その効果は、大阪マラソン自体よりも、各地の中小規模市民マラソンの活性化に役立ちます。

#### <その他>

- 参加者が完走後にケアできる温泉施設やマッサージ施設の紹介。
- エントリー会場は遠くて不便。グランフロントや府立体育館、大阪ドームあたりにしてはどうか？
- オリンピック代表選考の大会等、トップアスリート参加になると、市民や全国から関心をもっと持ってもらえるようになり盛り上がっていくのでは？
- 大阪ゆかりの人に参加を継続してもらったりする。その人にランナーの走る大阪の名所などを紹介してもらう。
- 大阪には大学がたくさんあるのだから、大学との連携を強化してはどうか。
- 駅伝で、10km×4人とか、グループでリレーする参加形態があれば、家族や友達みんなで楽しめるかな、と思います
- 大阪全体が盛り上がる大会にするためには、運営に関して一般市民を公募し運営するのがBEST！
- 上位者だけでなく、記憶に残るMIP賞や仮装大賞、ぞろめ時間賞（2時間22分22秒～5時間55分55秒）、ぴたり賞（3～6時間ジャスト）など入賞の数を増やしたらおもしろいし、完走者も増える。
- ボランティア団体を設立し、ボランティア活動における大会での権限を今以上に持たせてはよいのではないかと思います。大会開催本部との連携を図り、ボランティア活動をもっと潤滑に行われるような組織が必要かと

## 2) イベントに関する意見

### <交流イベント>

- 公共交通機関を利用したマラソン応援ツアー。マラソンの終了後の大阪観光ツアーとかも良いのでは？
- 走り終わった後にランナーとして、ボランティア、大会関係者の皆さんに感謝の意を表す場があればいいと思います。
- ただ走るだけではなく、レースが終わったあとのイベントに力を入れて欲しいです。その場合、ランナーだけでなく、落選で走れなかった人や応援の一般の人も盛り上がるイベントにして欲しいと思います。
- 大阪城公園で、前日及び完走パーティを開催したらいいと思います。
- 家族の応援に来ている人を対象としたイベント、例えばB級グルメ（in大阪）などマラソンに関係が薄い人の楽しみを増やす場を設ける。
- 1年を通したマラソン関係のイベントを大阪城周辺にて月一回程度企画する。例とし

て、マラソンの走り方講習、水の補給量や取り方講習、ランニングシューズの選び方など、簡単なものをこまめに企画する。大阪ボランティアの講習など運営面の企画も行えば、一層盛り上がり継続されると思います。

- 参加希望者が増える中、落選者から補欠で 10km とかで大会運営上支障の少ないイベント的なことをしてはどうかと思います。例として大阪城周遊ランができるとかでゼッケンだけでタイムは自己で計測するので表彰とかはしない。又、参加費用も安く参加賞のみとするとかで。

#### <イベントミックス>

- ワンワールドフェスティバルが毎年国際交流会館で行われております。合同企画が出来ないでしょうか。
- 折角大阪マラソンで大阪府以外或いは海外から多くの方々が集まるのに、たった 2 から 3 日間の滞在で帰ってしまうのは惜しいし勿体ない。この期間や地域を広げ、昔有った「帆船まつり」的な国際企画、人間の基本をつかさどる「ナニワ食の文化展」、大阪・京都・兵庫等の関西広域を会場とした企画を作成し企画の柱をマラソン以外 2 本 3 本と用意してこの期間に集中させる。
- 自転車イベントとの連動、同時開催（異種スポーツとの融合）
- 市民が参加して、お金も落とす仕組みを考えるべき。ジャズフェスやバルめぐりと絡めるや 2 4 時間マラソンを大阪城で併設するなど。

#### <食文化とのコラボ>

- 食い倒れて言うくらいですから、大阪の食とスポーツの融合のような事を考えて見れば。かすみがうらマラソンの Bar の企画は結構楽しいです。南魚沼グルメマラソンの記念品お茶碗、コシヒカリ食べ放題も良い感じです。
- 個人(私)的エイドステーションの設置を認め、コンテストをしたらどうでしょうか？ 要申請とし、エイドは番号表示、投票者はランナーと周辺の観客。
- マラソンに参加した人は、マラソン当日の晩は南やキタで飲食や宿泊の特典割引を受けられるようにして一日でも長く大阪で遊んでもらえるようにしたり、地元のランナーが地方のランナーをアテンドして一緒に盛り上げるようにしたらよいと思います。

#### <コンテスト>

- 女子としてはマラソン時のファッションも重要。流行りのウェアやコーディネイトなどのショーイベントが事前にあると良いのでは。
- 商店街を巻き込みでの活動は、面白いと思う。商店街の方々による給食や盛り上げ隊の参加など。それがランナーにとってどこの商店街が一番良かったかを競うコンテストなどがあるとか。
- スマホ等を使って、沿道のお客さんの投票により仮装コンテストをする。
- ランナー、ボランティア、沿道の応援など、大阪マラソンを構成する“人”をテーマに、「ベストスマイルフォトコンテスト」など行って、翌年大会の EXPO 会場で展示す

る企画をしてほしい。

#### <その他>

- 他県から参加する人のため、前日から観光地のイベント等を、わかりやすくパンフレットに紹介してほしい
- コース序盤を担当しすでに仕事が終わったボランティアさんをインテックスに移動させて、完走ランナーの出迎え&一緒に写真撮影するようなイベント(サービス?)を行ってはどうか?
- 地方から参加するから大阪で事前イベントがあっても参加できないので、WEB上ではできないでしょうか。
- 大阪マラソンのキャラクターを公募。ゆるキャラが応援のため集合
- 大阪商人の根性を沿道で出して盛り上げることは必要ではないか。商工会議所の支部にも応援を呼びかけて支部の特産品販売をしたら。先日の東京国体では都内の商工会議所の各支部が地元の体育協会や実行委員会のメンバーとして大会を盛り上げてました。
- 東京マラソンのように、登録メンバーを会員制にして、その会員には「走ることの楽しみ」や「走るためのノウハウ」などを有名講師やトップランナーが格安でレクチャーしてくれる講座や試走会などあれば、走る底辺が広がっていいと思います。その参加によってポイント加算して・・・という有利不利が出るので、本戦のマラソンとは全く関係なく、真の意味で大阪マラソンを「市民マラソン」にして、ランニングの楽しさを拡大する大会にできれば、と思います。

#### 3) チャリティに関する意見

- チャリティの結果と使われた具体的な使い道を公開する。(最も多い)
- 寄付金によって出場枠の当選確率を上げる。(賛否両論)
- 外国では、このぐらいのチャリティをしているとか、もっと、もっとチャリティの宣伝をすべきと考えます。
- 東京マラソンのように「オリンピックに使いましょう」などの大きな夢を掲げるとよいと思います。
- 魅力ある寄付先がないように思う。
- 参加費を値上げする。
- 有名人(出来れば大阪出身者)にもっと呼びかけてもらう。
- 大阪の企業に参加を呼びかける。
- 企業に大阪マラソンの寄付をお願いして、その代わりに寄付金額に応じた人数分をマラソンに招待する。
- 大阪市内に拠点がある企業に呼びかけ、企業ごとにリレーを走る。(一人5kmくらい) 会社内の仲間意識、雰囲気もよくなると思うし、市民の健康への関心も高まると思う。

また、個人が募金する以上に企業が募金する方がお金が効率よく集まる。企業として、良い成績、または完走できると、社員も誇りに感じると思う。

- 単に寄付金を集めるだけでなく、寄付したランナーにメリットがある（楽しめる）工夫がほしい。例えば、チャリティに参加した人だけ、特別にデザインされたカッコいいTシャツを参加賞として配る。チャリティをした人だけが参加できるイベント（例えば、海外のチャリティランナーとの交流が楽しめるイベント）を企画するなど。
- チャリティ先からもランナーを出してみんなに感謝しながら走る。
- 一般市民も募金できるようにして、グッズをもらえるようにしてはどうか。
- 寄付先団体と賛同ランナーとの交流イベントがもっとあればよいのでは・・・。
- 昨年、前日のゼッケン受け取りに行った時に、チャリティのブースがあったが、人が閑散としていた。ただ、活動をパネルなどで展示しているだけでは分かりにくい。もっとPRする必要があるのではと思った。
- 京都のように「ふるさと納税」の枠組みに入れて節税効果を高める。
- 寄付先団体別に広報担当の有名人を決めてアピールするのはどうでしょう？
- 24 時間TVなどでも、チャリティTシャツを販売しているが、大阪マラソンの記念になるようなTシャツを販売してはどうでしょう。参加者だけでなく、応援の方も、おみやげ感覚で、買うと思います。
- 極端な話、半分くらいチャリティランナーでもいいのでは？3万円で、1万人くらい募集してはどうでしょうか？
- 年間を通して募金箱を常設する。
- 大阪マラソン協賛の飲食店等で飲食すると一部チャリティ募金したことになる。グッズ販売費用に一部チャリティ費用が含まれている。
- ホテルや宿泊施設に大阪マラソン協賛を解放する代わりに特別料金の設定を依頼し、その売上の一部をチャリティしてもらう
- 沿道で観戦している人達にも、チャリティマラソンのアピールをした方がよい。各エリアに募金箱を設置するとか、ランナーが腕に付けているカラーの意味をわかりやすいように表示する。
- シドニーマラソンでは、発展途上国へ古着を送り届けるシステムを取り入れ。ランナーは、マラソン直前まで体が冷えるのを防ぐために、不要になったセーターなどを着こみスタート直前に、沿道に脱ぎすてる。その服をボランティアスタッフが拾い、集まった古着を発展途上国へ送っている。ランナーにとっても有り難く、尚且つチャリティに役立つ良い事例だと思います。
- 大会名を「大阪チャリティマラソン大会」に変更する。

#### 4) 魅力ある大会に関する意見

- マラソン当日は地下鉄全線を無料にする。

- マラソンの日は、大阪市の地下鉄や市バスの一泊乗り放題割引パスの発行とか、ワンコインの飲食物の提供とか、応援しやすい、応援しに行きたいと思ってもらえるような環境整備も併せて必要だと思います。
- 終了後、ホテルや銭湯等の入浴チケットがあれば大変ありがたいと思います。京都マラソンの時には、市内の銭湯で汗を流しながら、ランナー同志の交流があり、楽しい思い出となりました。
- ファミリーランなどの企画があるといい。3キロくらいのショートランで、大人と子どもと一緒に参加できると盛り上がるのではないかな。誰でも参加できるものにしてほしい。
- マラソン大会当日だけでなく、それ以外でもマラソンの練習をサポートするシステム作り（ランニングステーション協力施設の参加を募るなど）を行って、老若男女が交流、また身体を動かすことによる健康づくりにつなげてほしい。そうすれば、医療費抑制にもつながってよいと思う。
- トレイル大会の場合、ほとんどが大会の前か後にクリーンアップのボランティアを募集して、コース上のゴミ拾いやコース整備を行っています。そのため、大会によっては、大会を開催することでゴミがなくなると地元の方が喜んでいきます。大阪も、クリーンアップのボランティアを募集するとか、ボランティアはクリーンアップに参加することで優先エントリー枠を与えるなどして、大阪の町を綺麗にするといいと思います。
- 大会当日は、「大阪〇〇の日」と毎年テーマを決めて、大阪府民全員参加できるような1日にしてほしい。例えば、来年は「大阪 大清掃の日」とし、大阪全体をきれいにしましょう。
- 大阪以外の方に前日にコースを試走できると盛り上がると思います。国体のイメージで、ランナーの出身地が分かるようにし、地域応援団を募るのもよい。出身地を連呼されると元気がでます。海外の大会で JAPAN と連呼された時の経験から、応援で元気をもらいました。
- マラソンの機会に昔の同窓生に会えるかもしれないという期待もあり、小、中、高と校名を登録しておけば同じ学校の卒業生を捜せる工夫などがあればなどと妄想しています。
- 出来れば、トップアスリートも大会に参加してもらい、テレビ中継かテレビ放映をもらい、全国に大阪マラソンの雰囲気を見てもらう。吉本興業か松竹芸能の真面目に走るランナーも参加して大阪らしさもテレビに映し出されれば良いと思う。
- 応援していただく市民の皆様にも、もっとお祭り気分で楽しんでいただき、大阪全体で盛り上がるリオのカーニバルみたいなお祭りになってくれれば良いと思います。
- 世界最大の市民マラソンフェスティバルにするくらいに海外からの参加者も積極的に受け入れるようにすれば、大阪も活気出るんじゃないでしょうか。

- チーム対抗戦をもっと極める
- 大阪にゆかりのある有名アーティストに 毎年イメージソングを作って欲しい。コブクロの小淵さんは、2年連続で走ってますよね
- 大阪マラソンの開催において芽生えた「スポーツを楽しむ文化」を根付かせるためにも、地域におけるスポーツと日常生活の共存共栄を図れるようなインフラの整備をしてはどうでしょうか？大阪マラソン自体を華やかにするだけではなく、文化として根付くような工夫を期待します。
- メディアで単に芸能人を放送するのではなく、私でもやったら出来るかなと思うように、もっとランナーを、高齢者ランナーを、沿道の応援してくれている人を、障害者ランナーを、子育てしながら練習している女性を、時間を削って練習しているサラリーマンを多く取り上げた番組を作ってもらえないでしょうか。
- 過去にニューヨークマラソンに 2 度参加しました。経済的に許すなら何度も参加したい大会です。前日に外国人（参加者の三分の一）だけの朝食ラン（家族も参加 Ok）があり、国連広場からセントラルパークまで走ります。ゴールしてから参加者どうしがTシャツの交換をしたり、提供してもらった朝食を食べたり、色々の国のランナーと写真を撮ったり、本当に楽しい大会です。応援の家族も楽しむ事が出来き、マラソンを走るランナーも当日だけで無く、前日も楽しむ事が出来ました。
- NYCに過去、4回参加して、当日は、地下鉄、バスは無料。スタート会場までも、楽に到着できた。トイレもスムーズに出来た。スタートも3か所あったので、（大阪の時は18分かかった）ストレスがなかった。ゴール後も、無料イベント会場があり、無料で軽食があった。あの当時、75ドル（1ドル140円）で高いと思ったが、たのしく走れました。USJを前日、当日、ランナーに無料開放するとか、走った後も大阪でのんびり過ごせる大会がいいですね。
- 世界レベルの宣伝。これは Web や SNS でできる。グローバルな大会にしていくことで大阪の宣伝にもつながる。まずは大阪市の姉妹都市から招待選手やランナー、ボランティアを誘致、住まいはホームステイ制度を導入しご家族にも参加を募る。これは英語の学習にもつながるので子供がいる家族や英語勉強中の肩からはオファーがあるかもしれない。
- コースとなる道路毎にスポンサーを割り当てて、応援用の旗など作ってもらってはいかがでしょうか。
- ランナーが辛くなる30キロ過ぎのコース上に、前日エキスポでランナーやボランティアの皆で書いた決意表明や応援メッセージを書いた垂れ幕などを、飾っておくと、志気が高まると思う。



# 資料

ランナー意識調査票  
ボランティア意識調査票  
観客意識調査票  
一般意識調査票  
読売新聞掲載紙

## 第3回大阪マラソン 参加ランナー意識調査

10月27日、「第3回大阪マラソン」が開催されました。如何だったでしょうか？

読売新聞社と関西大学は、「大阪マラソン」がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同で意識調査を行っております。

本調査では、ランナーのみなさんに、大会の運営等についての調査へのご協力をお願いします。

調査結果は、読売新聞紙上のほか関連学会などで発表することになっています。また、大阪マラソン組織委員会にも報告し、今後の大会運営に生かしてもらおう予定にしています。

ご協力をお願いします。

※この調査は携帯電話からお答えいただくことはできません。ご了承ください。

※今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、個々の内容を明かすことはありませんので、ありのままをお答えください。

### <あなた自身について>

1. 年齢（年代）：①10代、②20代、③30代、④40代、⑤50代、⑥60代、⑦70代以上
2. 性別：①男性、②女性
3. お住まいの都道府県：①北海道、・・・⑩沖縄県
4. 参加種目：①登録、②一般、③車いす、④チャレンジラン
5. 参加申し込み：①個人、②ペア、③グループ、
6. 第1回大阪マラソンへの参加：①マラソン・ランナーとして参加した ②チャレンジラン・ランナーとして参加した ③ボランティアとして参加した ④観客として参加した ⑤テレビで見ていた ⑥ランナーとして申し込んだが抽選に外れた ⑦関心がなかった ⑧その他（ ）
7. 第2回大阪マラソンへの参加：①マラソン・ランナーとして参加した ②チャレンジラン・ランナーとして参加した ③ボランティアとして参加した ④観客として参加した ⑤テレビで見ていた ⑥ランナーとして申し込んだが抽選に外れた ⑦関心がなかった ⑧その他（ ）
8. 市民マラソン参加経験：①今回が初めて ②1～5回 ③6～10回 ④11～15回 ⑤16～20回 ⑥21回以上
9. フルマラソン参加経験：①今回が初めて ②1～5回 ③6～10回 ④11～15回 ⑤16～20回 ⑥21回以上
10. 今回のフルマラソンのタイム：①3時間未満 ②3時間～3時間30分未満 ③3時間30分～4時間未満 ④4時間～4時間30分未満 ⑤4時間30分～5時間未満 ⑥5時間～5時間30分未満 ⑦5時間30分～6時間未満 ⑧6時間～6時間30分未満 ⑨



6 時間 30 分～7 時間未満 ⑩未完走

11. 大阪マラソンをどのようにして知りましたか？

①テレビ、②ラジオ、③インターネット、④新聞、⑤雑誌、⑥府市広報、⑦ポスター・チラシ、⑧友人、⑨その他（ ）

12. 大阪には何日滞在しましたか？（大阪府在住以外の方のみ）

①当日（27 日）のみ、②前日（26 日）と当日（27 日）、③当日（27 日）と翌日（28 日）、④前日から翌日（26 日～28 日）、⑤前々日から当日（25 日～27 日）、⑥その他（ ）

13. 大阪滞在中に、大阪マラソン参加以外に何か活動をしましたか？（複数回答可）

①別にしなかった、②大阪市内観光、③大阪府下の観光、④近郊県（京都、奈良、兵庫など）の観光、⑤大阪名物を飲食した、⑥買い物（ショッピング）をした、⑦USJ などの娯楽（アミューズメント）施設に行った、⑧お笑いなどの演芸を見た、⑨文楽などの古典芸能を見た、⑩スポーツを見た、⑪美術館・博物館などの文化施設に行った、⑫その他（ ）

14. あなたは、大阪マラソンのために概算でどれだけの経費を使いましたか？（ウェア、シューズの購入など事前準備費用、宿泊交通費、食費、お土産など滞在期間中の費用一切。参加料は除く）

①5 万円未満 ②5 万円以上 10 万円未満 ③10 万円以上 15 万円未満 ④15 万円以上 20 万円未満 ⑤20 万円以上 30 万円未満 ⑥30 万円以上 50 万円未満 ⑦50 万円以上

15. 第 3 回大阪マラソンに満足しましたか？

① 大変満足した ② まあまあ満足した ③ どちらかというとな満足だった ④ 不満足だった

### <参加後の感想>

第 3 回大阪マラソンを走ってみて、次のような意見があります。それぞれについてどう思われますか？

次の項目について、（○まったくそう思う ○まあまあそう思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない）の 4 段階で評価してください。

①挑戦（完走、記録）してよかった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
②コース設定がよかった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない

③ 普段走れないところを走れてよかった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
④ 制限時間が7時間でよかった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
⑤ ペアやグループエントリーがあったのがよかった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
⑥ 大阪の観光地を走れたのがよかった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
⑦ 友人に勧めたいと思った。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
⑧ 参加人数が多い（規模が大きい）ところがよかった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
⑨ 一般の観客の応援が励みになった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
⑩ 7色応援スタイル（観客がチャリティカラー7色のいずれかのアイテムを持ってランナーを応援）が励みになった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
⑪ ランナー盛上げ隊！（沿道の音楽やダンスの応援パフォーマンス）がよかった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない

⑫メディア（新聞やテレビ）に取り上げられてよかった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
⑬大阪を盛り上げることができてよかった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
⑭チャリティに参加できてよかった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
⑮旅行気分を味わえてよかった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
⑯時期（10月27日）がよかった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない
⑰ボランティア等のサポート体制が充実していてよかった。	<input type="radio"/> まったくそう思う <input type="radio"/> まあまあそう思う <input type="radio"/> あまりそう思わない <input type="radio"/> まったくそう思わない

上記以外に参加後の感想があればお書きください。（自由記述）

#### <大会運営について>

大会運営について、どのように思われますか？ 次の項目について（○満足している ○まあまあ満足だ ○あまり満足ではない ○不満足である）の4段階で評価してください。また、「不満足である」とお答えの方は、差支えがなければその内容についてお書きください。

①大会公式ホームページや公式メルマガ、公式フェイスブックなど主催者からの情報発信はどうでしたか？	<input type="radio"/> 満足している。 <input type="radio"/> まあまあ満足している。 <input type="radio"/> どちらかというとな満足である。 <input type="radio"/> 不満足である。 ( )
②スタート前のアクセス（大阪マラソンEXPO会場でのナンバーカード受取り、当日のスタート会場での誘導等）はどうでしたか？	<input type="radio"/> 満足している。 <input type="radio"/> まあまあ満足している。 <input type="radio"/> どちらかというとな満足である。 <input type="radio"/> 不満足である。 ( )
③給水、給食はどうでしたか？	<input type="radio"/> 満足している。 <input type="radio"/> まあまあ満足している。 <input type="radio"/> どちらかというとな満足である。 <input type="radio"/> 不満足である。 ( )
④トイレの設置はどうでしたか？	<input type="radio"/> 満足している。 <input type="radio"/> まあまあ満足している。 <input type="radio"/> どちらかというとな満足である。 <input type="radio"/> 不満足である。 ( )
⑤救護についてはどうでしたか？	<input type="radio"/> 満足している。 <input type="radio"/> まあまあ満足している。 <input type="radio"/> どちらかというとな満足である。 <input type="radio"/> 不満足である。 ( )
⑥記念品（タオル、メダル等）はどうでしたか？	<input type="radio"/> 満足している。 <input type="radio"/> まあまあ満足している。 <input type="radio"/> どちらかというとな満足である。 <input type="radio"/> 不満足である。 ( )

上記以外に大会運営についてご意見があればお書きください。（自由記述）

<イベントや関連取り組みについて>

公式イベントや関連の取り組みに関して、どのように思われましたか？次の項目について5つの中から選んでください。

①～ケイ・オプティコム Presents～Osaka Summer Fun Run! 2013 (7月21日) について	<input type="radio"/> 参加して、大変良かった <input type="radio"/> 参加して、まあまあ良かった <input type="radio"/> 参加したが、あまり良くなかった <input type="radio"/> 参加したが、良くなかった <input type="radio"/> 参加しなかった
②第4回大阪ごちそうマラソン (10月20日) について	<input type="radio"/> 参加して、大変良かった <input type="radio"/> 参加して、まあまあ良かった <input type="radio"/> 参加したが、あまり良くなかった <input type="radio"/> 参加したが、良くなかった <input type="radio"/> 参加しなかった
③大阪マラソン PUSH 講習会 (8月31日、9月2日、7日、11日、14日、10月8日、15日、19日、26日) について	<input type="radio"/> 参加して、大変良かった <input type="radio"/> 参加して、まあまあ良かった <input type="radio"/> 参加したが、あまり良くなかった <input type="radio"/> 参加したが、良くなかった <input type="radio"/> 参加しなかった
④大阪マラソン EXPO2013 (10月25日～26日) について	<input type="radio"/> 参加して、大変良かった <input type="radio"/> 参加して、まあまあ良かった <input type="radio"/> 参加したが、あまり良くなかった <input type="radio"/> 参加したが、良くなかった <input type="radio"/> 参加しなかった

上記以外に大阪マラソンで取り組んで欲しいイベント等があればお書きください。(自由記述)

<チャリティについて>

大阪マラソンの一つの特徴としてチャリティがあります。大阪マラソンに参加して、チャリティのあり方についてどのように思いましたか？5つの中から選んでください。

①チャリティの趣旨について	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。 <input type="radio"/> よく分からない。
②チャリティカラーを設けていることについて	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。 <input type="radio"/> よく分からない。
③寄付先の目的や活動を明確にしていることについて	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。 <input type="radio"/> よく分からない。
④チャリティアンバサダー（本年より新設された、チャリティの趣旨に賛同し、PRに協力する各界著名人）を置くことについて	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。 <input type="radio"/> よく分からない。
⑤自分の選んだチャリティカラーのナンバーカードやオフィシャルループを身に付けて走ることについて	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。 <input type="radio"/> よく分からない。
⑥ジャストギビングを使ってチャリティに参加できることについて	<input type="radio"/> 良いと思った。 <input type="radio"/> まあまあ良いと思った。 <input type="radio"/> あまり良くないと思った。 <input type="radio"/> 良くないと思った。 <input type="radio"/> よく分からない。

チャリティについてのご意見があれば、ご自由にお書きください。

<大阪マラソンへの要望>

大会運営に関してご意見があれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

## 第3回大阪マラソン ボランティアの意識調査

読売新聞社と関西大学は、「大阪マラソン」がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同で意識調査を行っております。

調査結果は、読売新聞紙上のほか関連学会などで発表することになっています。また、大阪マラソン組織委員会にも報告し、今後の大会運営に生かしてもらおう予定にしています。ご協力をお願いします。

※今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、個々の内容を明かすことはありませんので、ありのままをお答えください。

<あなた自身について> 当てはまる番号に○をしてください。

◆年齢を教えてください: ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

◆性別を教えてください: ①男性 ②女性

◆ボランティアはどのように申し込まれましたか?: ①団体申し込み ②個人申し込み

◆第1回大阪マラソン(2011年)に参加しましたか?

- ①ボランティアとして参加した ②ランナーとして参加した ③スタッフ、役員として参加した  
④観客として参加した ⑤テレビで見ていた ⑥インターネットで見ていた ⑦関心がなかった  
⑧その他( )

◆第2回大阪マラソン(2012年)に参加しましたか?

- ①ボランティアとして参加した ②ランナーとして参加した ③スタッフ、役員として参加した  
④観客として参加した ⑤テレビで見ていた ⑥インターネットで見ていた ⑦関心がなかった  
⑧その他( )



<ボランティア活動について> 当てはまる番号に○をしてください。

1、大阪マラソン以外のボランティアをしたことがありますか？(複数回答可)

- ①したことはない ②他の市民マラソン ③スポーツイベント関連 ④スポーツクラブ・団体関連  
⑤福祉関連 ⑥災害関連 ⑦教育関連 ⑧観光関連 ⑨環境関連 ⑩その他( )

2、今回、大阪マラソンのボランティアをしようと思った一番の理由は何ですか？

- ①地域や社会の役に立ちたいから ②いろんな人に会えるから ③ボランティアの経験を深めたいから ④自分自身を高めたいから ⑤大阪を盛り上げたいから ⑥人に勧められたり、誘われたりしたから ⑦ランナーと触れ合いたいから ⑧楽しそうだったから ⑨その他( )

3、今回の大阪マラソンでは具体的にはどのようなボランティアをしましたか？

- ①ランナーの受付 ②ランナーへの給水・給食 ③コース(沿道)の整理 ④ランナーの救護  
⑤手荷物預かり・返却 ⑥完走メダル配布などスタート・フィニッシュ会場でのランナーサービス ⑦その他( )

4、今回、大阪マラソンのボランティアに参加してみて、満足されましたか？

次の項目について4段階で評価してください。

4-1 ボランティア活動の内容について

- ①大変満足した。 ②まあまあ満足した。 ③やや不満だった。 ④とても不満だった。

4-2 ボランティア同士の交流について

- ①大変満足した。 ②まあまあ満足した。 ③やや不満だった。 ④とても不満だった。

4-3 大会スタッフの対応について

- ①大変満足した。 ②まあまあ満足した。 ③やや不満だった。 ④とても不満だった。

4-4 ランナーとの関わりについて

- ①大変満足した。 ②まあまあ満足した。 ③やや不満だった。 ④とても不満だった。

4-5 観客の応援態度について

- ①大変満足した。 ②まあまあ満足した。 ③やや不満だった。 ④とても不満だった。

4-6 大会の運営について

- ①大変満足した。 ②まあまあ満足した。 ③やや不満だった。 ④とても不満だった。

**4-7 大会の盛り上がりについて**

①大変満足した。 ②まあまあ満足した。 ③やや不満だった。 ④とても不満だった。

**4-8 自分が大会の役に立ったという有用感について**

①大変満足した。 ②まあまあ満足した。 ③やや不満だった。 ④とても不満だった。

**4-9 活動に関する事前の説明(オリエンテーション等)について**

①大変満足した。 ②まあまあ満足した。 ③やや不満だった。 ④とても不満だった。

**5、あなたは何に最も感動しましたか？**

①一般ランナーの走り ②車いすランナーの走り ③トップランナーの走り ④有名人ランナーの走り  
⑤ボランティアの活動 ⑥観客の応援 ⑦盛り上げ隊の活動 ⑧その他  
( )

**6、来年も大阪マラソンに参加したいですか？**

①ボランティアとして参加したい ②ランナーとして参加したい ③スタッフ、役員として参加したい  
④観客として参加したい ⑤テレビで見たい ⑥インターネットで見たい ⑦参加したくない  
⑧その他( )

**7、今後、大阪マラソンのボランティアをしていくうえで、改善すべき点があれば、ご自由にお書きください。**

ご協力ありがとうございました。

読売新聞大阪本社・関西大学

### 第3回大阪マラソン 観客意識調査

読売新聞社と関西大学は、「大阪マラソン」がもたらす効果と影響について、大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、共同意識調査を行うことになりました。

今回は、コースの沿道で応援される観客の方々に、応援の仕方や応援についての意識に関する調査を行いたいと思います。

調査結果は、読売新聞紙上のほか関連学会などで発表することになっています。また、大阪マラソン組織委員会にも報告し、今後の大会運営に生かしてもらおう予定にしています。ご協力をお願いします。

※今回の意識調査でお答えいただいた内容については、統計的に処理され、個々の内容を明かすことはありません。

<あなた自身について> ※当てはまる番号に○をしてください。

◆年齢(年代):

- ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

◆性別: ①男性 ②女性

◆お住まいはどちらですか?

- ①マラソンコース付近 ②大阪市内 ③大阪府内 ④その他の都道府県  
( ) ⑤海外( )

◆テレビでマラソンの中継放送をご覧になりますか?

- ①よく見る ②見る ③あまり見ない ④見ない

◆これまで沿道でマラソンを応援したことがありますか?

- ①ない ②1, 2回ある ③3~9回ある ④10回以上ある

◆市民マラソンを走ったことはありますか?

- ①ない ②ある( )回程度

**<大阪マラソンについて>**

**1, 大阪マラソンについてどのようにして知りましたか？**

- ①家族 ②近所の人 ③友人・知人 ④新聞 ⑤テレビ ⑥広報誌  
⑦駅のポスター ⑧インターネット ⑨公式フェイスブック ⑩大会ガイドブック  
⑪大阪マラソン看板(交通規制など) ⑫その他( )

**2, 今日はどなたと、何人でお越しになりましたか？**

- ①ひとりで ②家族と( )人 ③友人・知人と( )人 ④会社などの同僚と  
( )人 ⑤マラソン仲間と( )人 ⑥その他( )と( )人

**3, 第1回および第2回の大阪マラソンには参加されましたか？(複数回答可)**

- ①マラソン・ランナーとして参加した ②チャレンジラン・ランナーとして参加した  
③ボランティアとして参加した ④観客として参加した ⑤テレビで見っていた  
⑥関心がなかった ⑦ランナーとして申し込んだが抽選に外れた ⑧その他( )

**4, 大阪マラソン関連のイベントに参加されましたか？(複数回答可)**

- ①～ケイ・オプティコム Presents～Osaka Summer Fun Run! 2013(7月21日)  
②大阪マラソン PUSH 講習会(8月31日、9月2日、7日、11日、14日、10月8日、15日、  
19日、26日)  
③第4回大阪ごちそうマラソン(10月20日)  
④大阪マラソン EXPO2013(10月25日～26日)  
⑤いずれも参加しなかった

**4-1 参加された方に伺います。参加したイベントはどうでしたか？**

- ①大変満足した ②まあまあ満足した ③やや不満だった ④不満だった

**5, 大阪での滞在日数はどのくらいですか？**

- ①当日(27日)のみ ②前日(26日)と当日(27日) ③当日(27日)と翌日(28日)  
④前日から翌日(26日～28日) ⑤前々日から当日(25日～27日) ⑥その他  
( )

**6, 大阪マラソン観戦以外に何か活動をしましたか、あるいは活動する予定ですか？(複数回答可)**

- ①別にしなかった ②大阪市内観光 ③大阪府下の観光 ④近郊県(京都、奈良、兵庫など)  
の観光 ⑤大阪名物の飲食 ⑥買い物(ショッピング) ⑦USJなどの娯楽(アミューズメント)  
施設 ⑧お笑いなどの演芸観賞 ⑨文楽などの古典芸能観賞 ⑩スポーツを観賞  
⑪美術館・博物館などの文化施設 ⑫その他( )

7, なぜ、この場所を選んだのですか？（複数回答可）

- ①すいていると思ったから ②知り合いがいるから ③来やすかったから ④観光スポットだから ⑤一番おもしろそうな場所と思ったから ⑥ここが良いとすすめられたから ⑦ランナーがよく見える場所だから ⑧なんとなく ⑨その他( )

8, 何箇所で応援しますか？ あるいはしましたか？

( )

8-1 複数の応援場所の場合は、その移動について教えてください。

( ) → ( ) →  
( ) → ( ) →  
( ) → ( )

<大阪マラソンの応援について>

9, あなたが大阪マラソンを応援しようと思われた理由は何ですか？

次の項目について、(①大いに関係ある、②関係ある、③関係ない、④まったく関係ない)の4段階で評価してください。

1) 出場している知人を応援したいから

- ①大いに関係ある ②関係ある ③関係ない ④まったく関係ない

2) 大阪を盛り上げたいから

- ①大いに関係ある ②関係ある ③関係ない ④まったく関係ない

3) ランナーから元気をもらいたいから

- ①大いに関係ある ②関係ある ③関係ない ④まったく関係ない

4) 人から勧められたり誘われたりしたから

- ①大いに関係ある ②関係ある ③関係ない ④まったく関係ない

5) 時間に余裕がある(あった)から

- ①大いに関係ある ②関係ある ③関係ない ④まったく関係ない

6) 話題になっていたから

- ①大いに関係ある ②関係ある ③関係ない ④まったく関係ない

7) 応援を楽しみたいから

- ①大いに関係ある ②関係ある ③関係ない ④まったく関係ない

8)ランナーとして参加できなかったから

- ①大いに関係ある ②関係ある ③関係ない ④まったく関係ない

9)テレビに映るかもしれないから

- ①大いに関係ある ②関係ある ③関係ない ④まったく関係ない

10)招待・ゲスト・チャリティランナーに会いたいから

- ①大いに関係ある ②関係ある ③関係ない ④まったく関係ない

11)思い出や記念になるから

- ①大いに関係ある ②関係ある ③関係ない ④まったく関係ない

その他、応援に来られた理由があればお書きください。

10. 大阪マラソンの応援をしてどのように感じられましたか？

次の項目について、(①大変満足した、②まあまあ満足した、③やや不満だった、④不満だった)の4段階で評価してください。不満だった方は、その理由もお書きください。

1) 応援の場所

- ①大変満足した ②まあまあ満足した ③やや不満だった ④不満だった  
( )

2) 応援のマナー

- ①大変満足した ②まあまあ満足した ③やや不満だった ④不満だった  
( )

3) ランナー盛上げ隊

- ①大変満足した ②まあまあ満足した ③やや不満だった ④不満だった  
( )

4) 係員やボランティアの対応

- ①大変満足した ②まあまあ満足した ③やや不満だった ④不満だった  
( )

5)ランナーの走り

- ①大変満足した ②まあまあ満足した ③やや不満だった ④不満だった  
( )

6)7色応援スタイル(チャリティカラーのアイテムを持って応援する)

- ①大変満足した ②まあまあ満足した ③やや不満だった ④不満だった  
( )

11, 第4回の大阪マラソンにはどのように参加したいと思いますか？

- ①マラソン・ランナーとして参加したい ②チャレンジラン・ランナーとして参加したい  
③ボランティアとして参加したい ④観客として参加したい ⑤テレビで見たい ⑥参加するつもりはない

**<これからの大阪マラソンへの期待>**

これからの大阪マラソンに期待することがあれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

調査地点： \_\_\_\_\_

調査時間： \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分





7. 大阪マラソンについて全体的にどのようなイメージを持っていますか？

- ①たいへん良い大会だと思う ②まあまあ良い大会だと思う  
③あまり良い大会だとは思わない ④まったく良い大会だとは思わない

＜大会運営について＞

これからの大会運営について次のような意見がありますが、あなたはどのように思われますか？

①大いにそう思う ②まあまあそう思う ③あまりそう思わない ④まったくそう思わない の4段階でお答えください。

◆エントリー、出走枠について

1. 参加機会を拡大するために、連続して落選している人を優先するのが良い。
2. 大阪マラソン関連の会員組織をつくり、そのメンバーに参加の優先権を与えるのが良い。
3. 全国の市民マラソンと連携して、そこからの参加枠を与えるのが良い。
4. ペアやグループのエントリーの数を増やすのが良い。
5. チャリティランナーを増やすのが良い。
6. エントリーの時期をもっと早くするのが良い。

◆コース、大会運営について

7. インテックスをスタートして、大阪城をゴールにするのが良い。
8. オリンピック代表選考マラソンなどトップアスリートが多く参加する大会をめざすのが良い。
9. 多くの市民ランナーが走れる大会をめざすのが良い。
10. 海外からの参加者が増える大会にするのが良い。
11. ダンス、太鼓、音楽、よさこいなどのパフォーマンスを行い、沿道で参加者を応援する「ランナー盛上げ隊！」(公募)をもっと増やすのが良い。
12. 皆でランナーを応援して楽しめるような工夫をするのが良い。
13. レース中に大阪らしいエイド(給食)を提供するのが良い。
14. 大阪らしい記念品を提供するのが良い。

◆大会広報について

15. ホームページを充実するのが良い。
16. 機関紙や定期刊行物を発行するのが良い。
17. テレビや新聞に広告を出すのが良い。

◆その他

18. 大阪マラソン指定のホテルなど、宿泊のあっせんをするのが良い。
19. ホームステイを取り入れるのが良い。

20. 一般市民も企画から関わるようにするのが良い。
21. 一年を通して活動するような大阪マラソンのボランティア団体を作るのが良い。

【自由記述】上記以外で、運営に関して、このようにしたほうがよいというアイデアを教えてください。

#### <イベント企画について>

これからの大会関連イベントについて次のような意見がありますが、あなたはどのように思われますか？

①大いにそう思う ②まあまあそう思う ③あまりそう思わない ④まったくそう思わない の4段階でお答えください。

1. ランニングのための講習会・研修会を増やした方がよい。
2. 市民マラソンを楽しむための講演・シンポジウム等を増やした方がよい。
3. 大阪マラソンを盛り上げる事前イベントをした方がよい。
4. ランナー同士が交流するイベントがあった方がよい。
5. ランナーとボランティアが交流するイベントを設けた方がよい。
6. ランナーとチャリティ団体との交流があった方がよい。
7. レースの前に、大会を盛り上げるイベントがあった方がよい。
8. レースが終わってからランナーやボランティアと親睦を深められるようなイベントがあった方がよい。
9. 商店街など地域の人によるイベントがあった方がよい。

【自由記述】上記以外で、イベントについて新しい企画があれば教えてください。

#### <チャリティについて>

1. 「大阪マラソン」は「チャリティマラソン」であることについてどの程度ご存知ですか？

- ① チャリティテーマやチャリティランナーの意味について理解している

- ② チャリティカラーなど具体的な内容を知っている
- ③ チャリティに賛同しないと、ランナーとして大会に出場できないことは知っている
- ④ チャリティマラソンであることは知っているが、具体的な内容まで知らない
- ⑤ まったく知らない

2. 第3回大会から「チャリティランナー」を募集しましたが、どの程度ご存知ですか？

- ① 「チャリティランナー」はどんなランナーか知っている
- ② 聞いたことはあるが、どんなランナーなのか知らない
- ③ まったく知らない

3. もっと多くの方にチャリティに参加してもらうにはどうしたらいいでしょうか？（3つ以内でお答えください）

- ① 寄付先団体の活動テーマや活動内容を明確にする
- ② 寄付先団体が積極的に寄付を呼びかける
- ③ 寄付を募るイベントなどを増やす
- ④ 寄付を募る機会を増やす、あるいは工夫する
- ⑤ 世界レベル、国内レベル、地域密着などチャリティテーマをもっと増やす
- ⑥ 寄付先団体数をもっと増やす
- ⑦ 大阪マラソンのチャリティ寄付サイトの使い方をわかりやすくする
- ⑧ チャリティ参加者と寄付先団体との交流の輪を広げる
- ⑨ チャリティグッズを販売する
- ⑩ チャリティランナーを増やす
- ⑪ チャリティマラソンのアピールをもっとする

【自由記述】上記以外に、チャリティを推進するアイデアを教えてください

【自由記述】大阪マラソンをもっと魅力ある大会にするにはどうしたらいいでしょうか？



## 調査研究スタッフ

### <関西大学スタッフ>

調査・報告書作成：人間健康学部 杉本厚夫及びゼミ生

調査協力：人間健康学部 西山哲郎及びゼミ生

### <読売新聞社スタッフ>

編集特集制作：読売新聞大阪本社 編集局

調査実施・調整：読売新聞大阪本社 広告局